brother®

ネットワーク取扱説明書

ご使用の前に

NC-8100ｈをMFCにお取り付けの際にMFCの液晶ディスプレイに「ﾌｧｰﾑｳｴｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ http://solutions.brother.co.jp」と表示される場合があります。
その場合は、ご使用の前に必ず、弊社ホームページ（http://solutions.brother.co.jp）から最新のファームウェアをダウンロードしてください。

Version A

商標について

Brotherロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。

HP、HP/UX、JetDirect、およびJetAdminはHewllet-Packard Companyの商標です。
DEC、DEC server、VMS、LATおよびULTRIXはDigital Equipment Corporationの登録商標です。
UNIXはUNIX Systems Laboratoriesの商標です。
EthernetはXerox Corporationの商標です。
PostscriptはAdobe Systems Incorporatedの商標です。
NetwareはNovell, Inc.の商標です。
Apple、Macintosh、LaserWriter、およびAppleTalkはApple Computer, Inc.の商標です。
IBM、LAN Server、およびAIXはInternational Business Machines Corporationの商標です。
LAN Manager、Windows、およびMS-DOSはMicrosoft Corporationの商標です。
VINESはBanyan Systems Inc.の商標です。

本書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

編集および出版について

本取扱説明書は、ブラザー工業株式会社の監修の下に、最新の製品の仕様と使用方法を説明するために編集および出版されたものです。
この取扱説明書の内容および製品の仕様は、予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は予告なく仕様を変更する権利を留保し、誤植や編集上の誤りによるものだけでなく、内容の誤りによるものを含め、本書に起因するあらゆる損害について一切の責任を負いません。

プリント サーバーの梱包について

このプリント サーバーを輸送する場合は、輸送中の損害を防ぐため、その梱包には細心の注意を払ってください。製品が梱包されていたパッケージを保存しておくことをお勧めします。また、適当な輸送保険にお入りください。

ご注意

このプリント サーバーを輸送する際には、損傷を防ぐために静電防止袋を使用してください。

サポートページ Brother Solutions Center（http://solutions.brother.co.jp）にアクセスすることができます。最新バージョンのプリンタドライバやソフトウェアをはじめ、Q&A、便利な機能紹介、その他プリンタをお使いいただく上で有益な情報をご用意しています。ぜひご利用ください。

お客様相談窓口　０５２－８２４－３３７８
本製品の取扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のダイヤルにお気軽にお申し付けください。
受付時間　　　９：００－１２：００　１３：００－１７：００
営業日　　　　月曜日－金曜日　（土・日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます）

本書をお読みになってから製品を使用してください。
プリンタ本体に同梱されているCD-ROMは、紛失しないように注意し、いつでも参照できるように保管してください。

第 1 章

TCP/IP の設定

TCP/IP 情報の割り当て

第 1 章

1

TCP/IP の設定

TCP/IP 情報の割り当て

概要

TCP/IP プロトコルを使用するには、ネットワーク上の各デバイスに固有の IP アドレスが必要です。 この章では IP アドレスの設定について説明します。

ブラザー プリント／ファックスサーバーのデフォルトの IP アドレスは 192.0.0.192 ですが、ネットワークでの IP アドレスの設定に合わせて変更できます。 IP アドレスの変更は、次のいずれかの方法で行ってください。

1. MFC のフロント パネル設定（プリンタに LCD フロント パネルが備えられている場合）
2. BRAdmin Professional（IPX/SPX または TCP/IP プロトコルを使用する Windows® 95/98/Me/NT® 4.0/2000 用）
3. ブラザーBRCONFIG NetWare ユーティリティ（Novell ネットワークサーバーが必須です）
4. DHCP、Reverse ARP (rarp)、または BOOTP
5. ARP コマンド

設定されている IP アドレスを変更する方法

1. MFC フロントパネルを使用する。
2. TELNET を使用する。
3. HTTP（ウェブ ブラウザ）を使用する。
4. その他の SNMP ベースの管理ユーティリティを使用する。

上記の設定方法について、以降のセクションで説明します。

プリント サーバーに割り当てる IP アドレスは、ホスト コンピュータと同じ論理ネットワーク上に存在する必要があります。 そうでない場合は、サブネット マスクとルーター（ゲートウェイ）を正しく設定しなければなりません。

プリンタのフロント パネルを使用してIPアドレスを割り当てる

MFC のフロント パネルを使用して、他の MFC パラメータの設定と同時に、IP アドレスの詳細をプログラムすることができます。

BRAdmin ProfessionalとTCP/IPプロトコルを使用してIPアドレスを設定する

コンピュータにインストールされているプロトコルが TCP/IP だけの場合は、次の手順を実行します。

1. メイン ウィンドウの左側のフレームで、TCP/IP フィルタを選択します。
2. [デバイス] メニューの [稼働中のデバイスの検索] をクリックします。

プリント／ファックス サーバーの設定が工場出荷時のデフォルト設定のままの場合は、BRAdmin Professional の画面に表示されません。 ただし、[稼働中のデバイスの検索] を実行すると、未設定デバイスとして表示されます。

3. [デバイス] メニューの [未設定デバイスの設定] をクリックします。
4. プリント／ファックス サーバーの MAC アドレスを選択し、[設定] ボタンをクリックします。

ノード名と MAC アドレスは、MFC の設定ページを印刷して調べることができます。

5. プリント／ファックス サーバーの IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ（必要な場合）を入力します。
6. [OK] をクリックし、[閉じる] をクリックします。
7. IP アドレスを正しく設定すると、デバイス リストにブラザー プリント／ファックス サーバーが表示されます。

BRAdmin ProfessionalとIPX/SPXプロトコルを使用してIPアドレスを設定する

コンピュータに Novell Netware Client ソフトウェアがインストールされ、IPX/SPX プロトコルを使用している場合は次の手順を実行します。

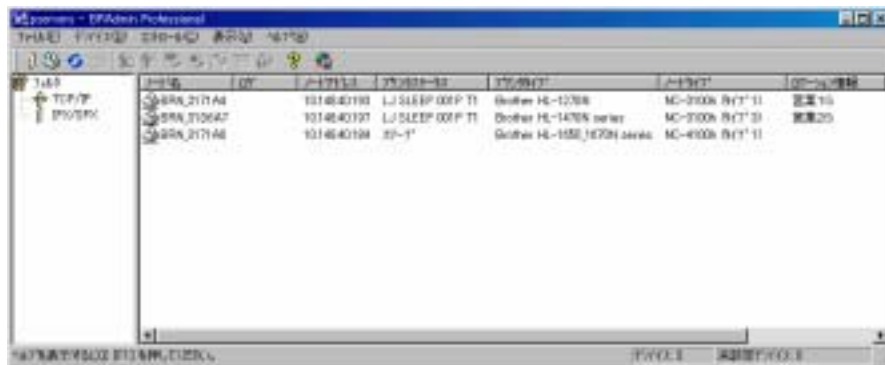
1. メイン ウィンドウの左側のフレームで、IPX/SPX フィルタを選択します。
2. プリント／ファックス サーバー名をチェックします。 デフォルトのノード名は BRN_xxxxxx です。 この xxxxxx は Ethernet アドレス（MAC アドレス）の最後の 6 桁です。

目的のプリント／ファックス サーバーの名前が表示されていない場合は、[デバイス] メニューの [稼働中のデバイスの検索] をクリックしてみてください（<F4>キーを押しても同じです）。

ノード名と MAC アドレスはプリンタの設定ページを印刷して調べることができます。 MFC サーバーの設定ページの印刷方法は、『クイックネットワークセットアップガイド』 をご参照ください。

3. 設定を行うプリント／ファックス サーバーをダブルクリックします。パスワードの入力が必要です。 デフォルトのパスワードは access です。
4. [TCP/IP] タブをクリックし、IP アドレスを設定します。 サブネットマスクとゲートウェイの設定も必要です。
5. [OK] をクリックします。

BRAdmin Professionalを使用してIPアドレスを変更する

BRAdmin Professional を開きます（Windows® 95/98/Me、NT® 4.0/2000 専用）。

BRAdmin Professional では、ブラザー プリント／ファックス サーバーとの通信に、IPX/SPX または TCP/IP プロトコルが使用できます。 ブラザー プリント／ファックス サーバーのデフォルトの IP アドレスは 192.0.0.192 です。 このアドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適合しないことがあります。 そのような場合には、BRAdmin Professional を使用して、次のいずれかの方法で IP アドレスを変更することができます。 ただし、DHCP、BOOTP、または RARP を使用していない場合に限ります。

1. IPX/SPX プロトコルを使用する。
2. TCP/IP プロトコルを使用し、BRAdmin Professional にブラザー プリント／ファックス サーバーを認識させる。IP アドレスを変更するプリント／ファックス サーバーをダブルクリックして、パスワードを入力します。
3. [TCP/IP] タブを選択して、必要に応じて IP アドレスを変更します。

DHCPを使用して自動的にIPアドレスを設定する

動的ホスト構成プロトコル（DHCP）は、IP アドレス自動割り当てメカニズムの 1 つです。 Unix、Windows® NT®/2000、Novell Netware などのネットワーク内に DHCP サーバーが存在する場合は、その DHCP サーバーからプリント／ファックス サーバーに自動的に IP アドレスが割り当てられ、RFC 1001 および 1002 準拠の動的名前サービスを使用して、その名前が登録されます。

DHCP、BOOTP、または RARP を使用してプリント サーバーまたはファックスの IP アドレスの設定を行わない場合は、[BOOT METHOD（ブート方式）] を [static（固定）] に設定し、プリント／ファックス サーバーが、これらのシステムから自動的に IP アドレスを取得しないようにしなければなりません。 BOOT METHOD（ブート方式）を変更するには、MFC のフロント パネル、TELNET（SET IP METHOD コマンドを使用）、ウェブ ブラウザ、または BRAdmin Professional を使用します。

ARPを使用してプリント／ファックスサーバーのIPアドレスを設定する

BRAdmin Professional、MFC のフロント パネル、および DHCP サーバーを使用することができない場合は、ARP コマンドを使用します。 ARP の使用は、プリント／ファックス サーバーの IP アドレスを設定する最も簡単な方法です。 Unix システムだけでなく、TCP/IP をインストールした Windows® システムでも ARP を使用することができます。 ARP を使用するには、コマンドプロンプトで、次のコマンドを入力します。

```
arp -s ipaddress ethernetaddress
```

ethernetaddress は、プリント／ファックス サーバーの Ethernet アドレス（MAC アドレス）で、ipaddress はプリント／ファックス サーバーの IP アドレスです。 例を次に示します。

Windows® システム

Windows® システムでは、Ethernet アドレスの各桁の間にコロン（:）が必要です。

```
Arp -s 192.189.207.2 00:80:77:31:01:07
```

Unix システム

通常、Unix システムでは Ethernet アドレスの各桁の間にダッシュ（-）が必要です。

```
arp -s 192.189.207.2 00-80-77-31-01-07
```

このコマンドは同一のセグメント上でなければ使用できません。 つまり、プリント／ファックス サーバーとオペレーティング システムの間にルーターが存在する場合は使用できません。
ルーターが存在する場合は、BOOTP またはこの章で説明する他の方法を使用して IP アドレスを入力します。
システム管理者が、BOOTP、DHCP、または RARP を使用して IP アドレスを割り当てるようにシステムを設定している場合は、ブラザー プリント／ファックス サーバーにはこれらのアドレス割り当てシステムから IP アドレスが自動的に割り当てられるため、ARP コマンドを使用する必要はありません。
また、ARP コマンドは 1 回しか使用できません。すなわち ARP コマンドを使用してブラザー プリント／ファックス サーバーの IP アドレスを設定した場合は、セキュリティのため、それ以上 ARP コマンドを使用して IP アドレスを変更することはできません。IP アドレスの変更が必要な場合は、ウェブブラウザ、TELNET（SET IP ADDRESS コマンドを使用）、MFC のフロントパネル（LCD パネル付きプリンタの場合）を使用します。ただ、プリント／ファックス サーバーを工場設定にリセットすると、再び ARP コマンドを使用することができます。
プリント／ファックス サーバーの設定および接続の検証を行うには、ping ipaddress コマンドを入力します。 ipaddress はプリント／ファックス サーバーの IP アドレスです。
例ーping 192.189.207.2

RARPを使用してIPアドレスを設定する

ホスト コンピュータで Reverse ARP（rarp）機能を使用し、ブラザー プリント／ファックス サーバーの IP アドレスを設定することができます。 この場合は、/etc/ethers ファイルを編集し、次のエントリを追加します（このファイルが存在しない場合は作成します）。

00:80:77:31:01:07　BRN_310107

最初のエントリは、プリント／ファックス サーバーの Ethernet アドレスで、2 番目のエントリはプリント／ファックス サーバーの名前です。 この名前は、/etc/hosts ファイル内の名前と同じでなければなりません。

rarp デーモンが実行されていない場合は実行します。 このコマンドは、使用しているシステムによって、 rarpd、rarpd -a、in.rarpd -a などと、少しずつ異なります。 詳細は、man rarpd と入力するか、ご使用のシステムのマニュアルをご参照ください。 Berkeley UNIX ベースのシステムで rarp デーモンが実行されているかどうかを調べるには、次のコマンドを入力します。

```
ps -ax | grep -v grep | grep rarpd
```

AT&T UNIX ベースのシステムの場合は、次のコマンドを入力します。

```
ps -ef | grep -v grep | grep rarpd
```

ブラザー プリント／ファックス サーバーの電源をオンにすると、rarp デーモンから IP アドレスが割り当てられます。

BOOTPを使用してIPアドレスを設定する

rarp の代わりに BOOTP を使用すると、サブネット マスクとゲートウェイの設定ができるメリットがあります。 BOOTP を使用して IP アドレスを設定するには、ホスト コンピュータに BOOTP がインストールされ、実行されている必要があります。 ホスト上の/etc/services ファイルに BOOTP がリアル サービスとして記述されていなければなりません。 man bootpd と入力するか、ご使用のシステムのマニュアルをご参照ください。 通常、BOOTP は /etc/inetd.conf ファイルを使用して起動されますから、このファイルの bootp エントリの行頭にある# を削除して、この行を有効にしておく必要があります。 一般的な/etc/inetd.conf ファイル内の bootp エントリを、次に示します。

```
#bootp dgram udp wait /usr/etc/bootpd bootpd -i
```

システムによって、このエントリには bootp ではなく bootps が使用されている場合があります。

BOOTP を有効にするには、エディタを使用して行頭の# を削除します。 # が無い場合は、BOOTP はすでに有効になっています。 次に、設定ファイル（通常は/etc/bootptab）を編集し、プリント／ファックス サーバーの名前、ネットワークの種類（Ethernet の場合は 1）、Ethernet アドレス、IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイを入力します。 残念なことに、この記述フォーマットは標準化されていないため、ご使用のシステムのマニュアルを参照して調べる必要があります。 多くの UNIX システムでは、bootptab ファイルのサンプル テンプレートが用意されていますから、それを参照することができます。 一般的な/etc/bootptab エントリの例を、次に示します。

```
BRN_310107 1  00:80:77:31:01:07 192.189.207.3
```

　　および

```
BRN_310107:ht=ethernet:ha=008077310107:\
ip=192.189.207.3:
```

BOOTP ホスト ソフトウェアの中には、ダウンロードするファイル名が設定ファイル内に含まれていないと、BOOTP リクエストに応答しないものがあります。 そのような場合には、ホスト上に null ファイルを作成し、このファイルの名前とパスを設定ファイル内で指定します。

rarp での設定の場合と同じように、プリント／ファックス サーバーの電源をオンにすると、BOOTP サーバーから IP アドレスが割り当てられます。

TELNETコンソールを使用してIPアドレスの設定を変更する

TELNET コマンドを使用して IP アドレスを変更することができます。
IP アドレスの変更に TELNET を使用するのは効率の良い方法ですが、その場合プリント サーバーに有効な IP アドレスが割り当てられている必要があります。

TELNET を使用するにはプリント／ファックス サーバーのパスワードの入力が必要です。 <RETURN>キーを押し、# プロンプトにパスワードを入力します。（デフォルトのパスワードは access です。）入力したパスワードは表示されません。

ユーザー名の入力では、プロンプトに対して任意の名前を入力します。

Local> プロンプトが表示されます。 コマンド SET IP ADDRESS ipaddress を入力します。 ipaddress はプリント／ファックス サーバーに割り当てる IP アドレスです。 使用する IP アドレスについては、ネットワーク管理者にお尋ねください。 例を次に示します。

Local> SET IP ADDRESS 192.189.207.3

次に、コマンド SET IP SUBNET subnet mask を入力し、サブネット マスクを設定します。 subnet mask はプリント／ファックス サーバーに割り当てるサブネット マスクです。 使用するサブネット マスクについては、ネットワーク管理者にお尋ねください。 例を次に示します。

Local> SET IP SUBNET 255.255.255.0

サブネット マスクを使用していない場合は、次のデフォルト サブネット マスクのいずれかを使用します。

255.255.255.0　クラス C ネットワーク用
255.255.0.0　クラス B ネットワーク用
255.0.0.0　クラス A ネットワーク用

IP アドレスの左端の数字で、ネットワークのタイプが識別できます。 この値は、クラス C ネットワークの場合は 192～255（192.189.207.3 など）、クラス B ネットワークの場合は 128～191（128.10.1.30 など）、クラス A ネットワークの場合は 1～127（13.27.7.1 など）です。

ゲートウェイ（ルーター）が存在する場合は、その IP アドレスをコマンド SET IP ROUTER routeraddress を使用して設定します。 routeraddress はプリント／ファックス サーバーに割り当てるゲートウェイの IP アドレスです。 例を次に示します。

Local> SET IP ROUTER 192.189.207.1

IP アドレスが正しく設定されているかどうかを調べるには、SHOW IP コマンドを使用します。

EXIT を入力するか、<CTR>+<D>キーを押し（<CTR>キーを押したまま<D>キーを押します）、リモート コンソール セッションを終了します。

第 2 章

操作パネルによる設定

第 2 章

操作パネルによる設定

2

LAN のメインメニュー

LAN の設定メニューを通じて Brother MFC のネットワーク設定やインターネットファクス機能の設定が可能です。[Menu/Set]キーを押し、数字キーで LAN を選択してください。このように LAN のメインメニューへ入ることができます。下記の 6 つの項目からそれぞれの設定画面に移ることができます。

1. TCP/IP 設定
2. インターネット設定
3. メール受信設定
4. メール送信設定
5. リレー配信設定
6. その他の設定
7. ネットワークスキャン

NOTE：一度ネットワーク上で有効な IP アドレスを NC-8100h に割り当てた後は、お使いのウェブブラウザからネットワークを通じて全ての設定項目を変更可能です。また、Windows®PC では MFC に同梱の CD-ROM に収録の BRAdmin Professional をご使用いただくことで同様に設定が可能です。

1-TCP/IP設定

このメニューは 8 つの項目で構成されています。

1-IP 取得方法
2-IP アドレス
3-サブネットマスク
4-ゲートウェイ
5-ホスト名
6-WINS 設定
7-WINS サーバー
8-DNS サーバー

1-IP 取得方法

1. [Menu/Set]キーを押し、選択メニューを表示します。
2. テンキーで LAN を選択してください。
3. [1]TCP/IP セッテイ、 [1]IP シュトクホウホウの順に押下してください。
4. ↑ 及び ↓ のキーで AUTO, STATIC, RARP, BOOTP または DHCP の選択ができます。
5. [Menu/Set] キーで決定です。
6. [停止/終了] キーで設定メニューから出ることができます。

STATIC モード
このモードでは MFC の IP アドレスは手動で設定いただく必要があります。一度割り当てられたアドレスはそのまま保持されます。

AUTO モード
このモードではネットワーク上の DHCP サーバーまたは BOOTP サーバーを検索し、それらのいずれかが存在し、かつ正しく設定されている場合はそのサーバーより IP アドレスを自動的に取得します。検索の優先順位は DHCP、BOOTP の順です。この処理には数分かかることがあります。

RARP モード
Brother プリント/FAX サーバーの IP アドレスはホストコンピュータのリバース ARP(RARP)によって割り当てることができます。これは/etc/ethers ファイルに次のエントリを追加することにより可能です（存在しなければ作成してください）。

00:80:77:31:01:07   BRN_310107

はじめのコロンで区切られている 12 桁は MAC アドレス（ネットワークカードの Ethernet アドレス）です。次の BRN 以下はそのプリント/FAX サーバーの名前です。（etc/hosts ファイルに記載されている名前と同じである必要があります。）

もしも RARP DAEMON が動作していない場合は起動してください（システムにより、 rarpd や rarpd –a , in.rarpd –a などの場合があります。詳しくは man rarpd と入力するか、システムの説明書をお読みください。） UNIX の Berkeley システム上で RARP DAEMON が動作しているかを確認するには、下記のコマンドを実行してください。

```
ps -ax | grep -v grep | grep rarpd
```

AT&T の UNIX システムでは、

```
ps -ef | grep -v grep | grep rarpd
```

Brother プリント/FAX サーバーは起動時に RARP DAEMON から IP アドレスを取得します。

BOOTP モード
BOOTP は IP アドレスの他にゲートウェイとサブネットマスクの設定ができるプロトコルです。BOOTP を IP アドレスの設定に使用するには、ホストシステム上で BOOTP がインストールされて動作している必要があります。（ホスト上の/etc/services ファイルに BOOTP がリアルサービスとして記述されている必要があります。“man bootpd”と入力するかシステムの説明書を参考にしてください。）

BOOTP は通常 etc/inetd.conf ファイルを使用して起動されます。このファイルの BOOTP の記述から“ # ”を削除することで BOOTP が有効になります。例えば、通常の BOOTP の/etc/inetd.conf ファイル内の記述は下記のようにします。

```
#bootp dgram udp wait /usr/etc/bootpd bootpd -i
```

システムによってはこの記述は“bootp”のかわりに“bootps”であることがあります。

BOOTP を有効にするため、通常は“#”を消すためにエディタを使います（もしも“#”がすでに削除されている場合は、既に BOOTP は有効になっています）。
次に BOOTP 設定ファイル（通常は/etc/bootptab）を編集し、プリント/FAX サーバーの名前とネットワークタイプ(1 は Ethernet です)、Ethernet アドレスと IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを書き込みます。この記述方法に関するフォーマットは明確にルール化されておらず、これらの情報の書き込み方法はシステムの説明書を参考にしていただく必要があります（多くの UNIX システムは bootptab ファイルの中にテンプレートの例を示していることがあります）。
例えば、下記のようになっています。

```
BRN_310107 1  00:80:77:31:01:07 192.189.207.3
```

また、

```
BRN_310107:ht=ethernet:ha=008077310107:\
ip=192.189.207.3:
```

BOOTP ホストソフトウエアの中には、設定ファイル内にダウンロードするファイル名を書き込まないと BOOTP のリクエストに対して応じないことがあります。その場合は、ホストに null ファイルを作成し、設定ファイル内でこのファイル名とパスを指定してください。

RARP と同様、プリント/FAX サーバーは起動時に BOOTP サーバーから IP アドレスを取得します。

DHCP モード
ダイナミック　ホスト　コンフィギュレーション　プロトコル (DHCP) は IP アドレス割り当ての自動化手段のひとつです。DHCP サーバーがネットワーク内（UNIX や Windows®NＴ®/2000、Novell Netware ネットワーク）に存在すれば、プリント/Fax サーバーは DHCP サーバーから自動的に IP アドレスを取得し、RFC1001 や 1002 準拠の動的ネームサービスを使用して、その名前を登録します。

DHCP、BOOTP、RARP によるプリント/FAX サーバーの自動設定を必要としない場合は、IP 取得方法を STATIC に設定してください。IP 取得方法を変更するには LCD パネルをもつ機種はフロントパネルから変更いただくか、ブラウザ、または BRAdmin をご使用ください。TELNET の SET IP コマンドも使用可能です。

2-IP アドレス

1. [Menu/Set]ボタンを押し、設定画面を表示する。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [1]TCP/IP セッテイ [2]IP アドレスの順に押す。.
4. [1]キーを押下し、IP アドレス変更へ、または[2]キーでメニューから抜けます。
5. IP アドレスを入力します。
6. [Menu/Set] キーで登録します。
7. [停止/終了]キーで設定メニューへ戻ります。

IP アドレス
このフィールドには MFC の現在の IP アドレスが表示されます。IP 取得方法に STATIC が選択されている場合、MFC に割り当てたい IP アドレスを入力する必要があります（出荷時既定の IP アドレスはネットワークで使用できない可能性が高いので、使うべき IP アドレスはネットワーク管理者にお問い合わせください）。STATIC 以外の IP 取得方法が選ばれている場合は、DHCP または BOOTP のプロトコルを使用して IP アドレスを自動的に取得します。

IP 取得方法が AUTO に設定されている場合、Windows®2000 の BOOTP サーバーから IP の取得ができないので、DHCP を使うようにしてください。

3-サブネットマスク

1. [Menu/Set] ボタンで設定メニューを表示します。
2. 数字キーで LAN を選択してください。
3. [1]TCP/IP セッテイ [3]サブネットマスクの順に選択してください。
4. [1]キーでサブネットマスク変更へ進むか[2]キーでこのメニューから抜けます。
5. サブネットマスクアドレスを入力します。
6. [Menu/Set] キーでアドレスを確定します。
7. [停止/終了] キーで設定メニューに戻ります。

サブネットマスク
この画面で MFC が使用する現在のサブネットマスクを表示します。DHCP または BOOTP を使用していない場合、サブネットマスクを手動で入力してください。使用すべきサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

4- ゲートウェイ

1. [Menu/Set]ボタンを押し、設定画面を表示する。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [1]TCP/IP セッテイ[4]ゲートウェイの順に押す。
4. [1]キーを押下し、ゲートウェイアドレス変更へ、または[2]キーでメニューから抜けます。
5. ゲートウェイアドレスを入力します。
6. [Menu/Set] キーで登録します。
7. [停止/終了]キーで設定メニューへ戻ります。

ゲートウェイ
この画面で MFC の現在のゲートウェイアドレスまたは MFC が使用しているルータのアドレスを表示します。DHCP や BOOTP を使用していない場合はアドレスを手動で指定する必要があります。ゲートウェイやルータを使用しない場合は空欄にしておいてください。アドレス等が不明な場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

5- ホスト名

1. [Menu/Set]ボタンを押し、設定画面を表示する。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [1]TCP/IP セッテイ[5]ホストメイの順に押す。
4. [1]キーを押下し、ホスト名変更へ、または[2]キーでメニューから抜けます。
5. ホスト名を入力します。
6. [Menu/Set] キーで登録します。
7. [停止/終了]キーで設定メニューへ戻ります。

ホストメイ
マシン名をネットワークに登録するために使用します（WINS サーバーに登録されている NetBIOS 名になります）。
Brother の推奨は BRN_XXXXXX（XXXXXX は Mac アドレスの最後の 6 桁）です（15 文字まで）。

6- WINS 設定

1. [Menu/Set]ボタンを押し、設定画面を表示する。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [1]TCP/IP セッテイ[6]WINS セッテイを選択。
4. ↑ 又は ↓キーで AUTO、STATIC、OFF が選択できます。
5. [Menu/Set] キーで登録します。
6. [停止/終了]キーで設定メニューへ戻ります。

WINS 設定
この項目で MFC が WINS の解決をどのように行うかを設定します。

AUTO
DHCP サーバーから自動的にプライマリー、セカンダリーの WINS サーバーアドレスを取得します。Boot Method が AUTO に設定されている必要があります。

STATIC
手動で WINS サーバーアドレスを設定します。

OFF
WINS の解決を行いません。

7-WINS サーバー

1. [Menu/Set]ボタンを押し、設定画面を表示する。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [1]TCP/IP セッテイ　[7]WINS サーバーの順に選択。
4. ↑ 又は ↓ でプライマリ、セカンタリの WINS サーバーを選択します。
5. [Menu/Set] キーで選択を決定します。
6. [1]キーを押下し、WINS サーバーアドレス変更へ、または[2]キーでメニューから抜けます。
7. WINS サーバーのアドレスを入力します。
8. [Menu/Set] キーで登録します。
9. [停止/終了]キーで設定メニューへ戻ります。

プライマリ WINS サーバーIP アドレス
この項目でプライマリ WINS(Windows® Internet Naming Service)サーバーの IP アドレスを登録します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS にホスト名を登録します。

セカンダリ WINS サーバーIP アドレス
この項目でセカンダリ WINS(Windows® Internet Naming Service)サーバーの IP アドレスを登録します。セカンダリ WINS サーバーはプライマリ WINS サーバーのバックアップで、プライマリサーバーが見つからないときに使用します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS にホスト名を登録します。ネットワーク内にセカンダリの WINS サーバーが存在しない場合はブランクで構いません。

8-DNS サーバー

1. [Menu/Set]ボタンを押し、設定画面を表示する。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [1]TCP/IP セッテイ　[8]DNS サーバーの順に選択。
4. ↑ 又は ↓キーでプライマリ又はセカンダリの DNS サーバーを選択します。
5. [Menu/Set] キーで選択実行。
6. [1]キーを押下し、DNS サーバーの IP アドレス変更へ、または[2]キーでメニューから抜けます。
7. DNS サーバーのアドレスを入力します。
8. [Menu/Set] キーで登録します。
9. [停止/終了]キーで設定メニューへ戻ります。

プライマリ DNS サーバー IP アドレス
この項目でプライマリ DNS(Domain Name Service)サーバーのアドレスを指定します。

セカンダリ DNS サーバー IP アドレス
この項目でセカンダリ DNS サーバーのアドレスを指定します。セカンダリ DNS サーバーはプライマリ DNS サーバーのバックアップで、プライマリサーバーが見つからない場合に機能します。

2-インターネット設定

このメニューは次の 5 つの項目で構成されています。
1-メールアドレス
2-SMTP サーバー
3-POP3 サーバー
4-メールボックス名（メール ID）
5-パスワード
設定にお使いのインターネットブラウザを使用されると非常に便利です。

1-メールアドレス

1. [Menu/Set]ボタンを押し、設定画面を表示する。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [2] インターネットセッテイ [1]メールアドレスの順に選択してください。

文字配列表										
キー	押す回数									
	1		3	4	5	6	7	8	9	10
1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ
2	カ	キ	ク	ケ	コ	A	B	C	2	
3	サ	シ	ス	セ	ソ	D	E	F	3	
4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	G	H	I	4
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	J	K	L	5	
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	M	N	O	6	
7	マ	ミ	ム	メ	モ	P	Q	R	S	7
8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ	T	U	V	8
9	ラ	リ	ル	レ	ロ	W	X	Y	Z	9
0	ワ	オ	ン	゛	゜	-	0			

記号と特殊文字	
＊	（スペース）！“＃＄％＆‘（）＊＋，－．／
＃	：；＜＝＞？@[]^_

アルファベットを小文字にするには:
メールアドレスを入力しているときのみ、[電話帳/短縮]と[３]を同時に押して小文字モードで入力できます。

カーソルの移動:
🡐または🡒キーをお使いください。

修正方法:
誤って入力した場合は、🡐を押して間違った文字にカーソルを合わせ、正しい文字を入力しなおしてください。

入力可能なメールアドレスは最大 60 文字です。MFC のメールアドレスはお使いのブラウザを使って設定することもできます。

1. [Menu/Set] キーで入力を決定します。
2. [停止/終了] キーでこの画面から抜けます。

2-SMTP サーバー

1. [Menu/Set]を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [2] インターネットセッテイ [2]SMTP サーバーの順に選択してください。
4. [1] キーで SMTP サーバーアドレスを変更する画面に入るか[2]キーでメニューから抜けます。

5. IP アドレス かサーバーメイ のどちらかを選択してください。
6. SMTP サーバー のアドレスを入力してください。
7. [Menu/Set] キーで入力を確定します。
8. [停止/終了] キーで設定画面から抜けます。

SMTP サーバーアドレス

この項目でネットワーク上の SMTP メールサーバー（送信用サーバー）の IP アドレス又はホスト名を指定します。
(例： mailhost.brothermail.net 又は 192.000.000.001)

3-POP3 サーバー

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [2] インターネットセッテイ [3]POP3 サーバーの順に選択してください。
4. [1] キーで POP3 サーバーアドレスを変更する画面に入るか[2]キーでメニューから抜けます。
5. IP アドレス かサーバーメイ のどちらかを選択してください。
6. POP3 SERVER のアドレスを入力してください。
7. [Menu/Set] キーで入力を確定します。
8. [停止/終了] キーで設定画面から抜けます。

POP3 サーバーアドレス

この項目でネットワーク上の POP3 サーバー（受信用サーバー）の IP アドレス又はホスト名を指定します。この項目はインターネット FAX 機能を使用する上で正しく入力されている必要があります。
(例： mailhost.brothermail.net 又は 192.000.000.001)

4-メールボックスメイ（メール ID）

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [2] インターネットセッテイ [4]メールボックスメイの順に選択してください。
4. MFC に割り当てられているメールアカウントの ID（POP3 にログインするときに必要）を入力してください。
5. [Menu/Set] キーで入力を確定します。
6. [停止/終了] キーで設定画面から抜けます。

5-メールボックス　パスワード

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [2] インターネットセッテイ [5]パスワードの順に選択してください。
4. [1]キーでメールボックスのパスワード設定画面に入るか、[2] キーでメニューから抜けます。
5. POP3 サーバーにログインするためのパスワードを入力します（大文字小文字は区別されます）。

6. [Menu/Set] キーで入力を確定します。
7. [停止/終了] キーで設定画面から抜けます。

3-メール受信設定

このメニューは 5 つの項目で構成されています。
1-自動受信（自動メールチェック機能）
2-ポーリング間隔（自動メールチェックの頻度）
3-ヘッダ印刷
4-エラーメール削除
5-受信確認

1-自動受信（自動メールチェック機能）

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [3] メールジュシンセッテイ [1]ジドウジュシンの順に選択してください。
4. ↑ 又は ↓ キーで ON か OFF を選択してください。
5. [Menu/Set] キーで登録します。
6. [停止/終了]キーで設定メニューから抜けます。

自動受信
ON に設定すると、MFC は定期的に POP3 サーバーにメールチェックに行きます。 もしもメールが無ければ「メールハアリマセンデシタ」と表示されます。

2-ポーリング間隔（自動メールチェックの頻度）

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [3] メールジュシンセッテイ [2]ポーリングカンカクの順に選択してください。
   メールボックスのチェック頻度を入力します（分単位）。
4. [Menu/Set] キーで登録します。
5. [停止/終了]キーで設定メニューから抜けます。

ポーリング間隔
POP3 サーバーに対し何分毎にメールチェックするかを指定します（既定値は 10 分）。

3-ヘッダ印刷

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [3] メールジュシンセッテイ [3]ヘッダインサツの順に選択してください。
4. ↑ 又は ↓ キーで スベテ、ヘッダノミ、またはナシより選択してください。
5. [Menu/Set] キーで登録します。
6. [停止/終了]キーで設定メニューから抜けます。

ヘッダ印刷
この項目でメールの内容のうちどの部分をプリントさせるかを指定します（既定値は何も印刷しない設定になっています）。

4-エラーメール削除

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [3] メールジュシンセッテイ [4]エラーメールサクジョの順に選択してください。
4. ↑ 又は ↓キーで ON か OFF を選択してください。
5. [Menu/Set] キーで登録します。
6. [停止/終了]キーで設定メニューから抜けます。

エラーメール削除
ON に設定することで MFC がメールボックスチェック時に POP サーバーから取得できなかったメールを削除することができます。

5-受信確認

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [3] メールジュシンセッテイ [5]ジュシンカクニンの順に選択してください。
4. ↑ 又は ↓キーで ON、MDN か OFF を選択してください。
5. [Menu/Set] キーで登録します。
6. [停止/終了]キーで設定メニューから抜けます。

受信確認
この機能により、インターネットファクス（I-FAX）機能による受信を送信者に通知することができます。
ON：全ての I-FAX メッセージに対して送信元に受信確認を送付します。
MDN：MDN（受信確認リクエスト）機能を使用して送られてきた I-FAX メッセージの送信元に対してのみ受信確認を送付します。
OFF：受信確認の送付を一切行いません。

4-メール送信設定

このメニューは 3 つの項目で構成されています。
1-メールタイトル
2-サイズ制限
3-着信確認要求

1-メールタイトル

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [4] メールソウシンセッテイ[1]メールタイトルの順に選択してください。
4. [1]キーでメールタイトル変更画面に入る、又は[2]キーでこのメニューから抜けます。
5. 送信メールに記載するタイトル（SUBJECT、件名）情報を入力します。
6. [Menu/Set] キーで登録します
7. [停止/終了]キーで設定メニューから抜けます。

メールタイトル
PC などへの送信時に件名として表示されるテキスト (既定は 「Internet FAX Job」)

2-サイズ制限

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [4] メールソウシンセッテイ [2]サイズセイゲンの順に選択してください。
4. ↑ 又は ↓キーで ON か OFF を選択してください。
5. [Menu/Set] キーで登録します。
6. [停止/終了]キーで設定メニューから抜けます。

サイズ制限
E-mail サーバーよっては大きな容量のメール送信に対し、制限が設けられていることがあります。サイズ制限を ON にしておくと、1M バイトを超えるサイズのメールを送信しようとしたとき「メモリーガイッパイデス」と表示され、メールは送信されず、エラーレポートが出力されます。この設定下ではページを分割して送るなどしてひとつのメールを制限容量以下に抑える必要があります。

3-着信確認要求

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [4] メールソウシンセッテイ [3]ジュシンカクニンヨウキュウの順に選択してください。
4. ↑ 又は ↓キーで ON か OFF を選択してください。
5. [Menu/Set] キーで登録します。
6. [停止/終了]キーで設定メニューから抜けます。

この機能を ON にすることで、インターネット FAX 送信時に受信確認要求の情報をあわせて送信します。受信側の機器では MDN（受信確認機能）の設定が有効になっている必要があります。

5-リレー配信設定

このメニューは 3 つの項目から構成されています。
1-リレー配信許可
2-許可ドメイン
3-リレー配信レポート
リレー配信機能の詳細については第 3 章（ウェブマネジメント）または第 4 章インターネットファクス)をご覧ください。

1-リレー配信許可

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [5] リレーセッテイ [1]リレーキョカの順に選択してください。
4. ↑ 又は ↓キーで ON か OFF を選択してください。
5. [Menu/Set] キーで登録します。
6. [停止/終了]キーで設定メニューから抜けます。

リレー配信許可
この機能によりインターネット経由で受け取ったドキュメントを通常の電話回線を使用して他の FAX 機器に転送することができます。

2-許可ドメイン

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [5] リレーセッテイ [2]キョカドメインの順に選択してください。
4. ↑ 又は ↓キーで経由を許可するドメインを登録するバンク(01 – 10) を選択します。
5. [Menu/Set] キーで選択決定します。
6. この MFC を経由することを許可するドメイン名を入力してください。
7. [Menu/Set] キーで登録します。
8. [停止/終了]キーで設定メニューから抜けます。

許可ドメイン
最大 10 個までのこの MFC を経由した転送を許可する信頼できるドメイン名を登録しておくことができます。ここに登録されていないドメインからのインターネットファクスは転送できません。

1. 3-リレー配信レポート
2. 1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
3. 数字キーで LAN を選択。
4. [5] リレーセッテイ [3]リレーレポートの順に選択してください
5. ↑ 又は ↓キーで ON か OFF を選択してください。
6. [Menu/Set] キーで登録します。

転送レポートは MFC を経由して転送が行われたときに出力されます。また、このレポートはネットワーク PC FAX 機能を使用した MFC からのドキュメントの送信確認の際にも出力されます。
ドメイン名とは…
一般的に、例えばtaro@brother.co.jp というメールアドレスの場合、@以下の brother.co.jp がドメイン名ということになります。

6-その他の設定

1-NETWARE

NETWARE を使用するかを設定できます。フレームタイプは下記（2 番）の NET FRAME にて設定できます。

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [6] ソノタセッテイ [1] NETWARE の順に選択してください。
4. ↑ 又は ↓キーで ON か OFF を選択してください。
5. [Menu/Set] キーで登録します。

2- NET FRAME

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [6] ソノタセッテイ [2] NET FRAME の順に選択してください。
4. 🡐 又は 🡒 キーで AUTO/802.3/ENET/802.2/SNAP から選択してください。
5. [Menu/Set] キーで登録します。

AUTO：NetWare サーバーに使用されているフレームタイプを自動的に適用します（推奨設定）。
802.3：Ethernet 802.3
ENET：Ethernet II
802.2： Ethernet 802.2
SNAP：Ethernet SNAP
* この設定は上記（1 番）の NETWARE が ON に設定されている時のみ有効です。

3-APPLETALK®

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [6] ソノタセッテイ [3] APPLETALK の順に選択してください。
4. ↑ 又は ↓キーで ON か OFF を選択してください。
5. [Menu/Set] キーで登録します。

AppleTalk®プロトコル Macintosh®ネットワークで使用されます。Macintosh®ネットワーク内で MFC を使用されるときは ON にしてください。

4- DLC/LLC

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [6] ソノタセッテイ [4] DLC/LLC の順に選択してください。
4. ↑ 又は ↓キーで ON か OFF を選択してください。
5. [Menu/Set] キーで登録します。

5- NETBIOS/IP

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [6] ソノタセッテイ [5] NETBIOS/IP の順に選択してください。
4. ↑ 又は ↓キーで ON か OFF を選択してください。
5. [Menu/Set] キーで登録します。

NC-8100h プリント/FAX サーバーは TCP/IP 上（NetBIOS 経由）で SMB(Server Message Block)をサポートしています。これにより、ネットワークの検索時に通常の Windows® PC のように MFC を表示させることができます。このように NetBIOS を使用した場合、Microsoft® Network に接続している PC の DOS アプリケーションから MFC を見ることができます。

6- イーサネット

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [6]ソノタセッテイ [6] イーサネットの順に選択してください。
4. ↑ 又は ↓キーで AUTO/100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD の中から選択してください。
5. [Menu/Set] キーで登録します。

Ethernet リンクモード
AUTO： 100BaseTX （全二重/半二重）、10BaseT （半二重）モードを自動接続により選択します。
100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：それぞれのリンクモードに固定されます。
この設定に対する変更を有効にするためには MFC を一度リセットする必要があります。
注意: 誤った設定をした場合、プリントサーバーにアクセスできなくなることがあります。

7 タイムゾーン

1. [Menu/Set] を押して設定画面を表示します。
2. 数字キーで LAN を選択。
3. [6] Setup Misc. [7] タイムゾーンの順に選択してください。
4. ↑ 又は ↓キーでタイムゾーンを設定してください。
5. [Menu/Set] キーで登録します。
6. [停止/終了]キーで設定メニューから抜けます。

タイムゾーン
お住まいの国のタイムゾーンを設定します。ここで設定される値は、グリニッジ標準時間との時差になります。（例：日本　GMT+9:00）
ここで設定したタイムゾーンは、インターネット経由で送信したドキュメントに使用されます。

ユーザ設定リストの出力

1. [Menu/Set] キーを押します。
2. 数字キーでレポートインサツを選択します。
3. [Menu/Set] キーを押します。
4. セッテイナイヨウリストを選択します。
5. [Menu/Set] キーを押します。

この機能を使うことで、現在の設定を全てプリントアウトすることができます。NC-8100h プリント / FAX サーバーの設定はこのレポートの 2 ページ目となっています。

第 3 章

ウェブブラウザでの管理

ウェブマネジメントユーティリティの使い方

第 3 章

ウェブブラウザでの管理

ウェブマネジメント
ユーティリティの使い方

概要

ウェブマネジメントユーティリティは設定管理を簡単にし、容易に MFC のステータスを確認するためのツールです。

一般的なウェブブラウザ（ネットスケープナビゲータ 4 以上、マイクロソフト®インターネットエクスプローラ 4 以上）を使用すれば HTTP (Hyper-Text Transfer Protocol)を使用して MFC の設定を管理することができます

ユーティリティの特徴

1. フォトメディアキャプチャーにアクセスできます。（MFC のメディアスロットにセットされているメディアカードにアクセスしてインデックスを閲覧したり、TIFF/JPEG/PDF フォーマットファイルを閲覧したりできます。）
2. MFC のステータス情報の表示
3. 多くの設定（ワンタッチダイヤルやリモートファクス）の変更が容易に行えます。
4. TCP/IP やインターネット FAX のアドレスなどの設定を変更することも可能です。

注意： MFC には予めそのネットワーク上で使用可能な IP アドレスが付与されている必要があります。

ブラウザを使用したアクセス方法

お使いのブラウザのアドレス入力欄に MFC に付与した IP アドレスを入力します(例：http://192.189.207.3)
MFC に付与した NetBIOS 名（ホスト名）を使用してもアクセス可能ですが、その場合は Microsoft Windows のドメイン/ワークグループ環境である必要があります。

ブラウザの言語設定によっては日本語以外の言語による表示も可能です。

パスワードについて

重要な情報：
ログイン名（ユーザーID）は固定です。
ログイン名とパスワードは大文字、小文字で区別されます。

ウェブマネジメントユーティリティにアクセスするためのパスワードは 2 種類用意されており、それぞれレベルが違います。

ユーザレベル
ID/パスワード（既定値）： user / access
基本設定、FAX 設定、インターネット FAX 設定、にアクセス可能です。
（リストとレポートはパスワード不要。）

管理者レベル
ID/パスワード（既定値）： admin / access
全ての設定項目にアクセス可能です。

第 4 章

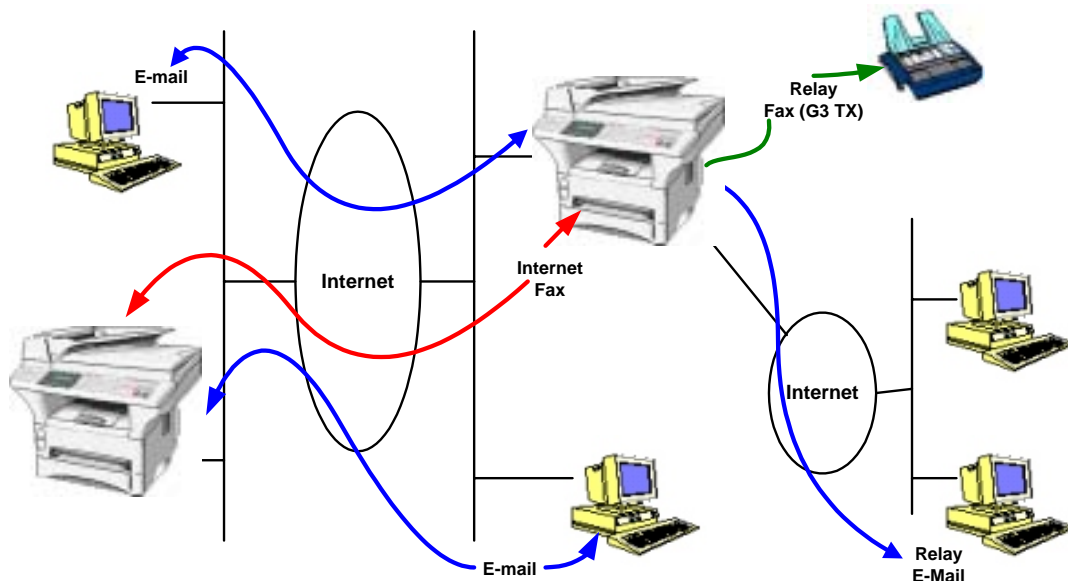
インターネットファクスと E-Mail ネットワークスキャナ機能

第 4 章

インターネットファクスと E-Mail ネットワークスキャナ機能

4-1 インターネットファクス

概要

インターネットファクス (I-FAX)はインターネットを使ったファクスメッセージの送受信を可能にします。MFC から I-FAX 送信されたメッセージは TIFF-F 形式の添付ファイルとして E メール（MIME 形式）で通信されます。PC を使って受信する場合、Windows®ユーザの方は TIFF-F を閲覧するためビューワとして Microsoft® Imaging などをお使いください。また、その他のビューワとしましては、「インターネット FAX ビューア」が A.I. SOFT（http://www.aisoft.co.jp/より配布されています(A.I. SOFT 社の使用許諾契約の範囲での使用に限られます）。Macintosh®ユーザの方も TIFF-F が閲覧可能なビューワが別途必要となります。

接続設定

インターネットファクス（I-FAX）をご使用いただく前に、MFC のネットワーク及びメールサーバの設定を完了する必要があります。
IP アドレスが正しく設定できている
メールアドレスが付与されているか
メールサーバーアドレス
メールボックス名（メール ID）及びパスワード
これらが正しく MFC に設定されているかを確認してください。設定がわからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。
これらの設定方法は第 2 章（操作パネルによる設定）または第 3 章（ウェブブラウザでの管理）をご覧ください。

操作パネルのキーについて

[電話帳/短縮] + [1]
入力モードを切り替えます。ダイヤルパッドを使ってカタカナ、アルファベットの入力ができます。

数字キー
カタカナ、アルファベット、記号（@ . space ! “ # % & ‘ () + / : ; < > = ? [ ] ^ – $, *, _ ）と数字の入力ができます。

[電話帳/短縮] + [3]
大文字、小文字を切り替える場合に使用します。

← / →
LCD 内でカーソルを移動するときに使用します。

[Menu/Set]
複数の送付先を入力又は選択する場合、ひとつの送付先を入力する毎に続けて押下します。

[ファクススタート]
ドキュメントの送信を開始します。

[停止/終了]
入力した送付先の削除、スキャニングや送信を止めるときに押下します。

電話帳 / 短縮 / グループダイヤル など
通常のファクス送信のキー操作と同じです。

[電話帳/短縮] + [ファクススタート]
手動で POP3 サーバーのメールをチェックさせる時に使用します。

インターネットファクスの送信

方法１：通常のファクス送信と同じ手順で送信する

短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルボタンに予めインターネットファクス送付先のアドレスが登録されている場合は、通常のファクス送信の手順で送信できます。
画質は操作パネルの[ファクス画質]キーで選択できます。カラーでは送信できません。

注意：上記の「接続設定」が正しく設定されている必要があります。

方法 2：ネットワークスキャン機能を使って送信する

1. MFC に送信したい書類をセットしてください。
2. ネットワークスキャンというメニューが MFC のディスプレイに表示されるまで[スキャン]キーを押します。
3. [Menu/Set]キーを押します。
4. ガシツヘンコウを選択します。
5. [Menu/Set]キーを押します。

6. 解像度と形式のサブメニューが表示されます。矢印キーでスクロールできます。

   1. モノ　スタンダード　(200 × 100dpi モノクロ　TIFF ﾌｫｰﾏｯﾄ)
   2. モノ　ファイン　(200 × 200dpi モノクロ　TIFF ﾌｫｰﾏｯﾄ)
   3. カラー　スタンダード (150 × 150dpi カラー　JPEG/PDF)
   4. カラー　ファイン　(300 × 300dpi カラー　JPEG/PDF)
   5. カラー　スーパーファイン　(600 × 600dpi カラー JPEG/PDF)

   注意：[ファクス画質]ボタンで設定した画質設定は適用されません。1 と 2 は TIFF-F で送信、3～5 は JPEG もしくは PDF 形式で送信されます。　カラーのファイル形式は LAN メニューの中のネットワークスキャンの中で選択できます。

   メニューより選択し、[Menu/Set]キーを押下し、決定してください。

7. スキャン　スタートを選びます。
8. [Menu/Set]キーを押します。
9. 送付先アドレスがすでに短縮ダイヤルに入っている場合はそれらを使用して選択したあと、[ファクススタート]を押下して送信してください。
   その場で送付先アドレスを入力する場合は下記の手順に従ってください。

文字入力

［電話帳/短縮］と[1]キーを同時に押し、ダイヤルパッドを文字入力モードに切り替えてください。

ダイヤルパッドを使用してメールアドレスの入力ができます。下記の表を参照ください。ダイヤルパッドを表にある回数押すことで、そのキーに割り当てられた文字を入力することができます。[*]と[0]と[#]には記号が割り当てられています。

ダイヤルパッド文字対応表																
ボタン／回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	1					
2	カ	キ	ク	ケ	コ	A	B	C	2							
3	サ	シ	ス	セ	ソ	D	E	F	3							
4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	G	H	I	4						
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	J	K	L	5							
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	M	N	O	6							
7	マ	ミ	ム	メ	モ	P	Q	R	S	7						
8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ	T	U	V	8						
9	ラ	リ	ル	レ	ロ	W	X	Y	Z	9						
0	ワ	ヲ	ン	゛	゜	ー	0									
*	ｽﾍﾟｰｽ	!	”	#	$	%	&	’	(	)	＊	+	,	-	.	/
#	:	;	<	=	>	?	@	[	]	^	_					

カーソルの移動:
🡐または🡒キーをお使いください。

修正方法:
誤って入力した場合は、🡐を押して間違った文字にカーソルを合わせ、正しい文字を入力しなおしてください。

入力可能なメールアドレスは最大 60 文字です。MFC のメールアドレスはお使いのブラウザを使って設定することもできます。

10. [ファクススタート]キーで送信します。

原稿が読み取られた後、SMTP サーバーを通って送信が完了し、通常の待機状態に戻ります。
なお、読み取り終了までに[停止/終了]キーを押下することで送信をキャンセルすることができます。

サイズ制限
E-mail サーバーよっては大きな容量のメール送信に対し、制限が設けられていることがあります。サイズ制限を ON にしておくと、1M バイトを超えるサイズのメールを送信しようとしたとき「メモリーガイッパイデス」と表示され、メールは送信されず、エラーレポートが出力されます。この設定下ではページを分割して送るなどしてひとつのメールを制

限値以下に抑える必要があります。この設定はウェブマネジメントユーティリティや操作パネル設定項目の LAN メニューから可能です。

E メールやインターネットファクスを受信する

E メールメッセージを受信するには二つの方法があります。

- POP3 に対し、ポーリング設定による定期的メール確認
- 手動による POP3 サーバーへのメール確認

メッセージを受信し、印刷するため、MFC は POP3 サーバーに対してメール確認をします。操作パネルの LAN メニューや、ウェブマネジメントユーティリティを使用してポーリング設定を行った場合、その間隔でメールの確認を行います。また、[電話帳/短縮]+[ファクススタート]ボタンの操作で手動でメールの確認を行わせることができます。

メールの受信がはじまると LCD に[ジュシンチュウ]と表示され、受信が完了すると受信したメールの数が表示されます。また、メール確認の結果、POP3 サーバーにメールが存在しない場合は[メールハアリマセンデシタ]と表示されます。

このようにデータを受信し、印刷開始の時点でトレーやシートフィーダに紙が無い場合、受信されたデータは MFC 内のメモリに保存されます。このデータは紙を補充することで自動的に印刷されます（メモリ受信が ON に設定されている必要があります）。

受信されたメールがプレーンテキスト形式でない場合や、添付ファイルが TIFF 形式や JPEG 形式でない場合は[サポートシテイナイ　データケイシキファイルメイ:XXXXXX.doc]のようなエラーメッセージが印刷されます。受信されたメールのファイルサイズが大きすぎる場合、[E メール　ノ　サイズガ　オオキスギマス]というメッセージが印刷されます。また、もしも操作パネルの LAN メニューやウェブマネジメントシューティリティでエラーメール削除機能が ON に設定されている時は、これらのメールはサーバーより削除されます。

PCでインターネットファクスを受信する

PC がインターネットファクスで送信した文書を受信した場合も、本文に送られた文書がインターネットファクス文書であることが記載されています。

送付先のＰＣが TIFF-F ビューワをインストールしていない場合、添付ファイルとして送られたメッセージを読むには FITT-F ビューワをインストールする必要があります。Windows®ユーザの方は Microsoft®イメージングや A.I. SOFT（http://www.aisoft.co.jp/）より配布されております「インターネット FAX ビューア」などをお使いください（A.I. SOFT 社の使用許諾契約の範囲の使用に限られます）。Macintosh®ユーザの方も TIFF-F が閲覧可能なビューワが別途必要となります。

受信したEメールとファクスの転送

MFC で受信した E メールやファクス文書は他の E メールアドレス（PC や I-FAX 機）やファクスに自動転送することが可能です。（機種によりこの機能はサポートしていません。本体取扱説明書をお読みください。）

ウェブマネジメントユーティリティや操作パネルから転送の設定が可能です。設定方法は本体取扱説明書のファクス転送の説明をお読みください。

リレー配信機能

リレー配信機能を使用すると、インターネットを経由して受けた文書を、通常の電話線を使用して他の FAX 機器にリレー送信することができます。

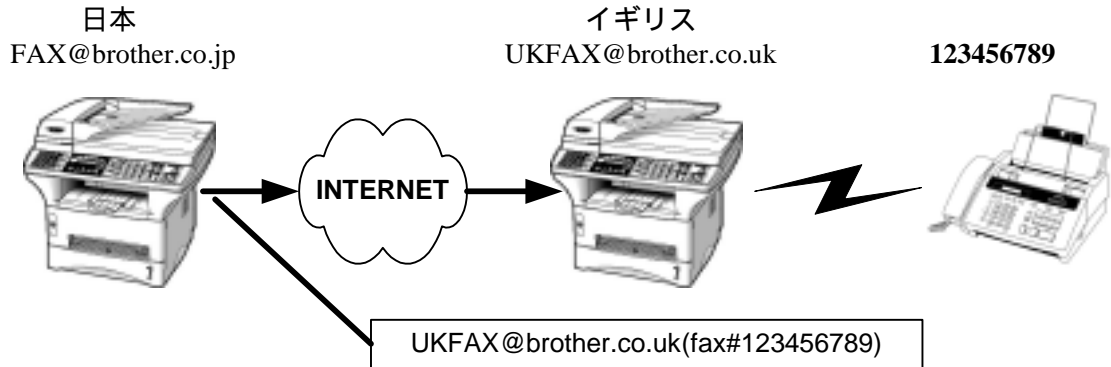
お持ちの MFC をリレー配信機能の中継点として使用するには、MFC を経由することを許可しても良いドメイン名を予め登録しておく必要があります。

ドメイン名
メールアドレスの[@]以下の部分です。
例えば taro@brother.co.jp ならドメイン名は brother.co.jp となります。

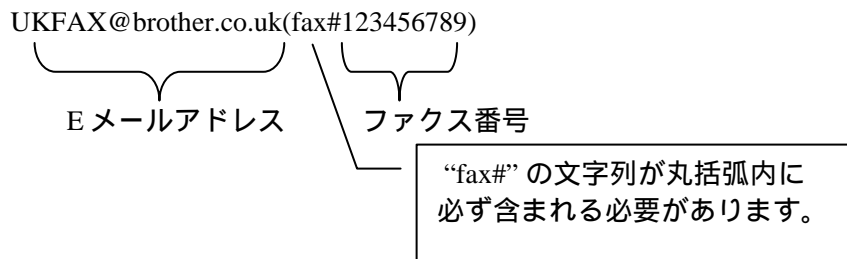
リレー配信機能として中継を許可できるドメイン名を最大 10 まで登録可能です。操作パネルの LAN メニューや、ウェブマネジメントユーティリティから登録ができます。許可されていないドメインに対して本機能は有効ではありません。

中継した後の FAX の送り先として最大 48 台の FAX 機器を同報指定できます。

この機能をサポートしていない機種がありますのでご注意ください。

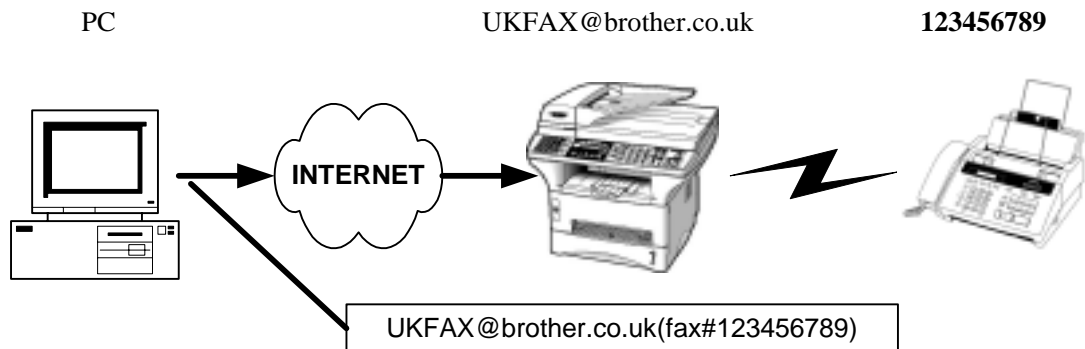
MFC からリレー配信を行う

お手持ちの MFC のメールアドレスを FAX@brother.co.jp と想定して、日本からイギリスにある（例えば支店などの）別の MFC（アドレスを UKFAX.brother.co.uk）を経由して現地の取り引き先などの通常の FAX 機器にファクス送信したいような場合、リレー配信機能をお使いいただくと便利です。

その際、イギリスにある MFC には予め brother.co.jp を転送を許可するドメイン（許可ドメイン）として登録しておく必要があります。登録がない場合はリレー配信の要求には応えられません。

日本からリレーメールを送信するためには、下記の例に従ってメールアドレスの後に転送先のファクスナンバーを入力します。

複数の人に送信する場合は下記の手順をご参考ください。

1. 1台目のリレー配信先を含めたメールアドレスを入力（またはワンタッチダイヤルにも登録しておけます）します。
   UKFAX@brother.co.uk(Fax#123).
2. [Menu/Set]キーを押します。
3. 2台目のリレー配信先を含めたメールアドレスを同様に入力します。
   UKFAX@brother.co.uk(Fax#456).
4. 1～3の操作を繰り返して複数台数を登録します。
5. [ファクススタート]キーを押して送信します。

PC からリレー配信を行う

PC　　　　　　　　　　　　UKFAX@brother.co.uk　　　　　　**123456789**

お持ちの PC から E メールをイギリスにある MFC に送信し、リレー配信機能を使用することもできます。リレー配信先のファクス番号を入力する方法は、お使いのメールソフトにより若干異なります。また、ソフトウエアやそのバージョンによっては転送先のファクス番号を含んだメールアドレスの送信/同報に対応していない場合があります。

Outlook Express
Netscape Communicator 4.5
Eudora Ver 4.x
Outlook 97/98/2000

上記のメールソフトについては、送信先アドレスの欄やアドレス帳のメンバ作成時のアドレス欄に下記のようにご入力ください。

UKFAX@brother.co.uk(fax#123456789)

（メールソフトによっては上記のとおり入力して[ENTER]キーを押すと“fax#123456789”となってしまうことがありますが、正しく送信できます）

ヒント：リレー配信機能はネットワーク PC-FAX からも可能です。
(Windows®のみ)

インターネットファクス受信確認機能

MFC からメールを送信する場合
送信時に受信確認要求(MDN：Mail Disposition Notification)の情報をあわせて送信すると、受信側のインターネットファクスやメールソフトが受信確認機能に対応している、又はその機能が有効になっている場合、所定の受信確認レポートを自動的に返信します。
これにより正しくメールが届けられたかを知ることができます。

この機能を使用するには
- 受信確認を要求する：MFC の LAN メニュー内、「送信設定」の「受信確認要求」を ON に設定してください。
  受信側が MDN に対応している場合に確認レポートが送付されてきます。
  OFF の場合は受信確認要求を行いません。
- 受信確認要求に応じる：MFC の LAN メニュー内、「受信設定」の「受信確認」を ON（要求が無くてもレポートを送信）または MDN（受信確認要求が受信メールに含まれていた場合のみレポートを返信します）に設定してください。
  OFF の場合は確認要求に応じません。

エラーメール

エラーによりインターネットファクスが正しく配信されなかった場合、メールサーバーはエラーメッセージを MFC に返信し、MFC はそれをプリントアウトします。受信時になにか問題があった場合も、エラーメッセージを出力します。
例：「ジュシンデータ　エラー　：　TIFF-F ケイシキ　デハ　アリマセンデシタ」

インターネットファクスに関する重要な情報

インターネットファクス送受信は一般的な電話を使用したファクス通信とは下記の点で異なります。

- 受信者の場所、LAN の構造やネットワークの込み具合によりエラーメールが返される時に通常より時間がかかる事があります（通常は 20～30 秒）。
- 重要機密などの情報の送信についてはインターネットを通じたファクス文書のやり取りよりも一般電話回線を使用したファクス通信おすすめします。
- 受信側のメールシステムが MIME に対応していない場合はインターネットファクス文書を受信できません。その場合のサーバーメッセージの返信も無いことがありますのでご注意ください。
- 送信文書のサイズが大きすぎる場合、通信が正常に終了しないことがあります。

4-2 E-Mail ネットワークスキャナ機能（スキャナ機能搭載機種のみ）

概要

E-Mail ネットワークスキャナ機能を使用してスキャンされたデータは電子メール（MIME 形式）を使用して、モノクロデータは TIFF-F 形式の添付ファイルとして、カラーデータ（カラー対応機種のみ）は JPEG または PDF 形式の添付ファイルとして、PC へ送信されます。Windows® ユーザの方は TIFF-F および JPEG ファイルを閲覧するためビューワとして Microsoft® Imaging などをお使いください。また、TIFF-F 専用のビューワとしましては、「インターネット FAX ビューア」が A.I. SOFT（http://www.aisoft.co.jp/より配布されています(A.I. SOFT 社の使用許諾契約の範囲での使用に限られます)。Macintosh® ユーザの方もビューワが別途必要となります。

接続設定

E-Mail ネットワークスキャナ機能をご使用いただく前に、MFC のネットワーク及びメールサーバーの設定を完了する必要があります。
IP アドレスが正しく設定できている
メールアドレスが付与されているか
メールサーバーアドレス
メールボックス名（メール ID）及びパスワード
これらが正しく MFC に設定されているかを確認してください。設定がわからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

これらの設定方法は第 2 章（操作パネルによる設定）または第 3 章（ウェブブラウザでの管理）をご覧ください。

使用方法

1. MFC に送信したい書類をセットしてください。
2. ネットワークスキャンというメニューが MFC のディスプレイに表示されるまで[スキャン]キーを押します。
3. [Menu/Set]キーを押します。
4. ガシツヘンコウを選択します。
5. [Menu/Set]キーを押します。

6. 解像度と形式のサブメニューが表示されます。矢印キーでスクロールできます。
   モノ　スタンダード　(200 × 100dpi モノクロ　TIFF ﾌｫｰﾏｯﾄ)
   モノ　ファイン　(200 × 200dpi モノクロ　TIFF ﾌｫｰﾏｯﾄ)
   カラー　スタンダード (150 × 150dpi カラー　JPEG/PDF)
   カラー　ファイン　(300 × 300dpi カラー　JPEG/PDF)
   カラー　スーパーファイン　(600 × 600dpi カラー　JPEG/PDF)

注意：[ファクス画質]ボタンで設定した画質設定は適用されません。
1 と 2 は TIFF-F で送信、3〜5 は JPEG もしくは PDF 形式で送信されます。　カラーのファイル形式は LAN メニューの中のネットワークスキャンの中で選択できます。

メニューより選択し、[Menu/Set]キーを押下し、決定してください。

7. スキャン　スタートを選びます。
8. [Menu/Set]キーを押します。

9. 送付先アドレスがすでに短縮ダイヤルに入っている場合はそれらを使用して選択したあと、[ファクススタート]を押下して送信してください。
その場で送付先アドレスを入力する場合は下記の手順に従ってください。

文字入力

［電話帳/短縮］と[1]キーを同時に押し、ダイヤルパッドを文字入力モードに切り替えてください。

ダイヤルパッドを使用してメールアドレスの入力ができます。下記の表を参照ください。ダイヤルパッドを表にある回数押すことで、そのキーに割り当てられた文字を入力することができます。[*]と[0]と[#]には記号が割り当てられています。

ダイヤルパッド文字対応表

ボタン＼回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	1					
2	カ	キ	ク	ケ	コ	A	B	C	2							
3	サ	シ	ス	セ	ソ	D	E	F	3							
4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	G	H	I	4						
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	J	K	L	5							
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	M	N	O	6							
7	マ	ミ	ム	メ	モ	P	Q	R	S	7						
8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ	T	U	V	8						
9	ラ	リ	ル	レ	ロ	W	X	Y	Z	9						
0	ワ	ヲ	ン	゛	゜	ー	0									
*	ｽﾍﾟｰｽ	!	”	#	$	%	&	’	(	)	＊	+	,	-	.	/
#	:	;	<	=	>	?	@	[	]	^	_					

カーソルの移動:
🡐または🡒キーをお使いください。

修正方法:
誤って入力した場合は、🡐を押して間違った文字にカーソルを合わせ、正しい文字を入力しなおしてください。

入力可能なメールアドレスは最大 60 文字です。MFC のメールアドレスはお使いのブラウザを使って設定することもできます。

10. [ファクススタート]キーで送信します。

原稿が読み取られた後、SMTP サーバーを通って送信が完了し、通常の待機状態に戻ります。
なお、読み取り終了までに[停止/終了]キーを押下することで送信をキャンセルすることができます。

サイズ制限
E-mail サーバーよっては大きな容量のメール送信に対し、制限が設けられていることがあります。サイズ制限を ON にしておくと、1M バイトを超えるサイズのメールを送信しようとしたとき「メモリーガイッパイデス」と表示され、メールは送信されず、エラーレポートが出力されます。この設定下ではページを分割して送るなどしてひとつのメールを制限値以下に抑える必要があります。この設定はウェブマネジメントユーティリティや操作パネル設定項目の LAN メニューから可能です。

第 5 章

TCP/IP での印刷

Windows® NT®、Windows®2000 および LAN Server、Warp Server からの印刷

第 5 章

TCP/IP での印刷

Windows® NT®、Windows®2000 および LAN Server、Warp Server からの印刷

概要

Windows® NT®では、TCP/IP プロトコルを使用して、ネットワーク対応ブラザー製プリンタで直接印刷することができます。この場合は、Microsoft Windows® NT® 3.5x および NT® 4.0 への TCP/IP 印刷プロトコルのインストールが必要です。Windows® 2000 の場合は、直接プリント・ジョブをプリンタに送ることができ、ソフトウェアの追加インストールは一切不要です。

すぐ使用する場合

1. ブラザー プリント／ファックス サーバーのデフォルトの IP アドレスは 192.0.0.192 です。 このアドレスを変更するには、MFC のコントロールパネルまたは BRAdmin Professional を使用するか、DHCP サーバー等を使用してプリンタにアドレスを割り当てます。
2. MFC で IP アドレスの設定方法はユーザー ガイドの第 1 章を参照してください。
3. ブラザー プリント／ファックス サーバーのデフォルト パスワードは、access です。
4. Windows® NT® 3.51 および Windows® NT® 4.0 の場合は、Microsoft TCP/IP 印刷プロトコルをインストールする必要があります。
5. Windows® 2000 の場合は、Widows® 2000 の標準ネットワーク印刷ソフトウェアあるいは IPP プロトコルを使用し、TCP/IP で直接印刷することができます。
6. Windows® 95/98/Me ユーザーは IPP プロトコルを使用し、Windows® 2000 コンピュータを経由して印刷ジョブを送信できます。その為には、Microsoft Internet Print Services ソフトウェアがクライアント PC にインストールされていること、Windows® 2000 上に IIS をインストールして稼働していること、クライアント PC が Microsoft Internet Explorer のバージョン 4 以上を使用していることが必要です。
7. ブラザー プリント／ファックス サーバーのデフォルト名は BRN_xxxxxx です (xxxxxx は、このプリント／ファックス サーバーの Ethernet アドレスの最後の 6 桁です)。

Windows® NT® 3.5x/NT® 4.0/2000 (TCP/IP) の設定

Windows® NT®システムに TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合はまず TCP/IP プロトコルをインストールして下さい。Windows® NT®システムの [コントロールパネル] の [ネットワーク] メニューを使用します。 NT® 3.5x システムでは、[コントロールパネル] は [メイン] ウィンドウにあります。NT® 4.0 の場合は [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [コントロールパネル] をクリックします。Windows® 2000 の場合は標準で TCP/IP プロトコルがインストールされています。詳細はこの章のそれぞれのセクションをご参照ください。

Windows® 2000での印刷 (プリンタ・ドライバ未インストール)

Windows® 2000 システムの場合は、印刷に必要なソフトウェアは、すべて標準でインストールされています。このセクションでは、標準 TCP/IP ポート印刷の、最も一般的に使用される 2 種類の設定について説明します。すでにプリンタ ドライバのインストールが済んでいる場合は、「プリンタ ドライバ インストール済」のセクションに進んでください。

標準 TCP/IP ポート印刷

1. [プリンタ] フォルダの [プリンタの追加] をクリックすると、[プリンタの追加] ウィザードが開きます。[次へ] をクリックします。
2. [ローカル プリンタ] を選択し、[プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする] チェック ボックスをオフにします。
3. [次へ] をクリックします。
4. ネットワーク印刷ポートを選択します。システムに標準でインストールされている [Standard TCP/IP Port] を選択してください。
5. [次へ] をクリックします。
6. [標準 TCP/IP プリンタポートの追加] ウィザードが開きます。[次へ] をクリックします。
7. 設定するプリンタの IP アドレスまたはプリンタ名を入力します。ポート名はウィザードによって自動的に入力されます。
8. [次へ] をクリックします。
9. Windows® 2000 から指定したプリンタへの接続が行われます。指定したアドレスまたはプリンタ名が正しく入力されていないと、エラーメッセージが表示されます。
10. [完了] をクリックし、ウィザードを終了します。
11. ポートの設定が終わったら、使用するプリンタ ドライバを指定します。プリンタのリストから、必要なプリンタドライバを選択します。CD-ROM に保存されているプリンタドライバを使用する場合は、[ディスク使用] をクリックし、CD-ROM ディスク上の保存場所を参照します。また、[Windows Update] ボタンをクリックし、Microsoft のウェブ サイトから直接プリンタ ドライバをダウンロードすることもできます。
12. ドライバのインストールが終了したら、[次へ] をクリックします。
13. 名前を入力し、[次へ] をクリックします。
14. このプリンタを共有するかどうかを指定し、必要な場合は共有名を入力して [次へ] をクリックします。
15. ウィザードでの設定が終わったら [完了] をクリックします。

Windows® 2000 クライアントからの IPP 印刷

IPP プロトコルを使用して印刷する場合は、次の手順を実行します。

1. 「プリンタ フォルダ」から [プリンタの追加] を選択して、[プリンタの追加ウィザード] を開始します。[次へ] をクリックします。
2. [ネットワーク プリンタ] を選択します。
3. [インターネットまたはインターネット上のプリンタに接続します] のオプションをクリックします。
4. ここで URL 名を入力する必要があります。IPP プロトコルをサポートするプリンタの URL 名の一般的な例は、「http://ip_address:631/ipp (ip_address は、プリント/ファックス サーバーの IP アドレス、NetBIOS 名、または DNS 名)」です。
5. [次へ] ボタンをクリックします。
6. Windows® 2000 は指定したデバイスに接続され、プリンタのモデル番号を決定します。適切なドライバがパソコンにインストールされている場合は使用され、インストールされていない場合はプリンタに付属しているドライバのディスクを挿入するよう指示が表示されます。
7. ウィザードの指示に従ってインストールを完了します。
8. [完了] ボタンをクリックして、ウィザードを完了します。

Windows® 95/98/Me クライアントからの IPP 印刷

Windows® 95/98/Me クライアント パソコンが Windows® 2000 に接続してリソースにアクセスできる場合、このクライアント パソコンから IPP 印刷ジョブを送信することもできます。
Microsoft のウェブ サイト (www.microsoft.com) にアクセスして、Windows® システムに Windows® Internet Print Services サポート ソフトウェアをダウンロードしてください。

インストール後、このソフトウェアを使用すると、IIS も実行している Windows® 2000 システムに接続し、IPP プロトコルを使用して印刷ジョブを送信できるようになります。

Microsoft の IPP ソフトウェアを使用すると、IPP プロトコルに対応しない別のプリンタにジョブを送信することもできます。

Windows® 2000での印刷 (プリンタ ドライバ インストール済)

既にプリンタ ドライバがインストールされている場合は、次の手順を実行して、ネットワーク印刷の設定を行います。

1. 設定するプリンタ ドライバをダブルクリックします。
2. [プリンタ] メニューの [プロパティ] をクリックします。
3. [ポート] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。
4. [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] をクリックします。
5. [標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加] ウィザードが開きます。「Windows® 2000 での印刷 (プリンタ・ドライバ未インストール)」のセクションの、手順 6～10 を実行します。

Windows® NT® 4.0での印刷

Windows® NT® 4.0 システム (ワークステーションまたはサーバー) のインストール時に、TCP/IP プロトコルまたは Microsoft TCP/IP 印刷プロトコルをインストールしていない場合は、次の手順を実行します。 TCP/IP プロトコルを使用してネットワーク印刷を行うには、Microsoft TCP/IP 印刷プロトコルをインストールする必要があります。 TCP/IP プロトコルおよび Microsoft TCP/IP 印刷プロトコルがインストールされている場合は、ステップ 2 に進みます。

ステップ 1: ネットワーク アプレットを実行して、[プロトコル] タブをクリックします。

1. [コントロール パネル] の [ネットワーク] をダブルクリックし、[プロトコル] タブをクリックします。
2. [追加] を選択し、[TCP/IP プロトコル] をダブルクリックします。
3. 必要なファイルをコピーするため、指示に従ってディスクまたは CD-ROM を挿入します。
4. [サービス] タブをクリックし、[追加] をクリックして、[Microsoft TCP/IP 印刷] をダブルクリックします。
5. もう一度、指示に従ってディスクまたは CD-ROM を挿入します。
6. ファイルのコピーが終了したら、[プロトコル] タブをクリックします。
7. [TCP/IP プロトコル] をダブルクリックし、ホスト IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ アドレスを追加します。 入力する情報が分からない場合は、システム管理者にお尋ねください。
8. [OK] を 2 回クリックして設定を終了します。 NT サーバーの再起動が必要です。

Windows® NT® 4.0での印刷 (プリンタドライバ未インストール)

1. [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] をクリックします。[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックすると、[プリンタの追加] ウィザードが開きます。[このコンピュータ] を選択し、[次へ] をクリックします。 このとき、[ネットワーク プリンタ サーバー] を選択しないように注意します。
2. [ポートの追加] を選択し、[利用可能なプリンタ ポート] のリストから [LPR port] を選択して、[新しいポート] をクリックします。 前述の Microsoft TCP/IP 印刷プロトコルをインストールしていないと [LPR port] は表示されません。
3. [lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス:] ボックスに、このプリント／ファックス サーバーの IP アドレスを入力します。 HOSTS ファイルを編集した場合、またはドメイン ネーム サービスを使用している場合は、IP アドレスではなく、プリント／ファックス サーバーに割り当てた名前を入力します。 このプリント／ファックス サーバーは、DNS 名と NetBIOS 名をサポートしているため、プリント／ファックス サーバーの NetBIOS 名を入力することもできます。NetBIOS 名は印刷設定シートに表示されます。 デフォルトの NetBIOS 名は BRN_xxxxxx で、xxxxxx は Ethernet アドレスの最後の 6 桁です。
4. [サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名:] ボックスに、プリント／ファックス サーバー サービス名を入力します。サービス名が分からない場合は、BINARY_P1 と入力して [OK] をクリックします。

注意
＊サービスの使用についての詳細は、付録 B をご参照ください。

5. [閉じる] をクリックします。 [利用可能なプリンタ ポート] のリストに、プリント／ファックス サーバーの IP アドレスが反転表示されます。 [次へ] をクリックします。
6. 該当するプリンタを選択します。該当するプリンタが表示されていない場合は、[ディスク使用] をクリックし、ドライバが保存されているディスクまたは CD-ROM を挿入します。
7. 既存のドライバがある場合は、[現在のドライバを使う (推奨)] を選択し、[次へ] をクリックします。 既存のドライバがない場合は、このダイアログ ボックスは表示されません。
8. 必要に応じてプリンタ名を変更し、[次へ] をクリックします。
9. 必要に応じ、他のユーザーが使用できるようにプリンタの共有を設定し、そのコンピュータのオペレーティング システムを選択します。 [次へ] をクリックします。
10. 「テスト ページを印刷しますか」の問いに対し [はい] を選択します。 [完了] をクリックしてインストールを完了します。 これで、ローカル プリンタと同じように使用することができます。

Windows® NT® 4.0での印刷 (プリンタ ドライバ インストール済)

プリンタ ドライバのインストールが済んでいる場合は、次の手順を実行します。

1. [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] をクリックすると、インストールされているプリンタ ドライバが表示されます。
2. 設定を行うプリンタ ドライバをダブルクリックし、[プリンタ] メニューの [プロパティ] をクリックします。
3. [ポート] タブをクリックし、[ポート追加] をクリックします。
4. [利用可能なプリンタ ポート] のリストから [LPR port] を選択して、[新しいポート] をクリックします。 前述の Microsoft TCP/IP 印刷プロトコルをインストールしていないと [LPR port] は表示されません。
5. [lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス:] ボックスに、このプリント／ファックス サーバーに割り当てた IP アドレスを入力します。 HOSTS ファイルを編集した場合、またはドメイン ネーム サービスを使用している場合は、IP アドレスではなく、プリント／ファックス サーバーに割り当てた名称を入力します。 このプリント／ファックス サーバーは、DNS 名と NetBIOS 名をサポートしているため、プリント／ファックス サーバーの NetBIOS 名を入力することもできます。 NetBIOS 名は、印刷設定シートに表示されます。デフォルトの NetBIOS 名は BRN_xxxxxx で、xxxxxx は Ethernet アドレスの最後の 6 桁です。
6. [サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名:] ボックスに、プリント／ファックス サーバー サービス名を入力します。サービス名が分からない場合は、BINARY_P1 と入力して [OK] をクリックします。
7. [閉じる] をクリックします。
8. これで、指定した IP アドレスまたは名称のプリンタに対して印刷を行うことができます。
9. このプリンタを共有する場合は、[共有] タブで共有の設定を行います。

Windows® NT® 3.5xでの印刷

1. [コントロール パネル] で [ネットワーク] をダブルクリックします。
2. [ソフトウェアの追加] を選択し、TCP/IP プロトコルと関連コンポーネントを選択します。
3. [TCP/IP ネットワーク印刷サポート] チェック ボックスをオンにします。次に、[続行] をクリックします。 (すでに TCP/IP ネットワーク印刷サポートがインストールされている場合は、このオプションは選択できません)。
4. 必要なファイルをコピーするため、指示に従ってディスクを挿入します。 ファイルのコピーが終了したら NT サーバーを再起動する必要があります。

Windows® NT® 3.5xでの印刷 (プリンタ・ドライバ未インストール)

Windows® NT® 3.5 または 3.51 を使用している場合は、次の手順を実行し、プリント／ファックス サーバーの設定を行います。

1. [メイン] ウィンドウの [印刷マネージャ] アイコンをクリックします。
2. [プリンタ] を選択します。
3. [新しいプリンタ] を選択します。
4. プリンタ名を入力します。
5. [ドライバ] を選択します。 必要なドライバを選択します。
6. [説明] を選択します。 必要に応じてプリンタの説明を入力します。
7. [印刷先] を選択し、[その他] を選択します。
8. [LPR ポート] を選択します。
9. [LPD を提供しているホスト サーバーの名前またはアドレス:] ボックスに、このプリント／ファックス サーバーに割り当てた IP アドレスを入力します。 HOSTS ファイルを編集した場合、またはドメイン ネーム サービスを使用している場合は、IP アドレスではなく、プリント／ファックス サーバーに割り当てた名称を入力します。
10. [サーバーのプリンタ名] ボックスに、プリント／ファックス サーバー サービス名を入力します。 サービス名が分からない場合は、BINARY_P1 と入力して [OK] をクリックします。

注意

＊サービスの使用についての詳細は、付録 B をご参照ください。

＊必要に応じてプリンタを共有します。

その他の情報ソース

1. プリンタの IP アドレスの設定方法は、この取扱説明書の第 1 章をご参照ください。

第 6 章

TCP/IP ピアツーピア 印刷

Windows® 95/98/Me ピア ツー ピア ネットワークでの印刷方法

第 6 章

TCP/IP ピアツーピア印刷

6

Windows® 95/98/Me ピア ツーピア ネットワークでの印刷方法

概要

Microsoft の Windows® 95/98/Me オペレーティング システムは、内蔵のネットワーク機能を特徴としています。これらの機能により Windows® パソコンを、ファイル サーバー ベースのネットワーク環境でクライアント ワークステーションとして設定できます。

小規模ネットワークの場合、Windows® 95/98/Me ではピア ツー ピア モードでも稼働できます。このモードでは、パソコンはネットワークの他のパソコンと、ファイル サーバーをおかずにリソースを共有できます。

すぐ使用する場合

1. ブラザー プリント／ファックス サーバーのデフォルトの IP アドレスは 192.0.0.192 です。 このアドレスを変更するには、MFC のフロントパネル または BRAdmin Professional を使用するか、DHCP サーバーを使用してプリンタにアドレスを割り当てます。
2. ご使用のコンピュータでの IP アドレスの設定方法は、第 1 章を参照ください。
3. ブラザー プリント／ファックス サーバーのデフォルト パスワードは access です。
4. Windows® 95/98/Me ユーザーは IPP プロトコルを使用して Windows® 2000 コンピュータ経由で印刷ジョブを送信できます。このためには、Microsoft Internet Print Services ソフトウェアがクライアント パソコンにインストールされていること、Windows® 2000 上に IIS をインストールして稼動していること、クライアント パソコンが Microsoft Internet Explorer のバージョン 4 以上を使用していることが必要です。
5. ブラザー プリンタは HP JetDirect ソフトウェアとも互換性があります。つまり HP ユーティリティを使用して操作することやブラザー プリンタに出力することができるというわけです。

TCP/IPでの印刷

ピアツーピア印刷を使用するには、印刷する Windows® コンピュータ側に TCP/IP プロトコルのインストールと、プリンタ側の IP アドレスの設定が必要です。ご使用の Windows® への TCP/IP プロトコルのインストール方法は、Windows® のマニュアルをご参照ください。
MFC の IP アドレスの設定が済んでいない場合は設定してください。 IP アドレスの設定については、この取扱説明書の第 1 章を参照して下さい。

ブラザー ピアツーピアソフトウェアのインストール

1. CD-ROM (MFC に付属) のインストール メニュー プログラムを『クイック セットアップ ガイド』に従って開始し、[ソフトウェアのインストール]を選択します。
2. [ネットワーク アプリケーション] メニューから、[ソフトウェアのインストール]を選択します。
3. [ネットワーク プリント ソフトウェアの『インストール』]をクリックします。
4. 最初の案内画面で [次へ] をクリックします。
5. [ブラザー ピアツーピア 印刷(LPR)] を選択します。
6. ファイルをインストールするディレクトリを選択します。 指定したディレクトリがディスク上に存在しない場合は、新たに作成されます。
7. 使用するポート名を入力し、[OK] をクリックします。 デフォルトのポート名は BLP1 です。 別のポート名を使用する場合は、必ず BLPx で（x は任意の名称）にしてください。
8. [IP アドレス] に、印刷したいプリンタの IP アドレスを入力します。 hosts ファイルを編集している場合やドメイン ネーム サービスを使用している場合は、プリンタの名前を[ノード名]で入力することも可能です。 このプリント／ファックス サーバーは、DNS 名と NetBIOS 名をサポートしているため、プリント／ファックス サーバーの NetBIOS 名を入力することもできます。 NetBIOS 名は、印刷設定シートに表示されます。 デフォルトの NetBIOS 名は BRN_xxxxxx で、xxxxxx は Ethernet アドレスの最後の 6 桁です。

Windows® 95/98/Me の hosts ファイルは、Windows® ディレクトリに保存されています。Windows® の hosts ファイルのデフォルト名は hosts.sam です。 このファイルを使用する場合は、ファイル名から拡張子を削除してください。この拡張子 “ .sam ” はサンプルであることを示すものです。

9. [OK] をクリックし、 コンピュータを再起動します。

プリンタへの関連付け

Windows® のプリンタ設定手順を使用して、Windows® システム上にプリンタを作成する必要があります。

1. [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] を選択します。
2. [プリンタの追加] をダブルクリックし、プリンタのインストールを開始します。
3. [プリンタの追加ウィザード] 起動後、[次へ] をクリックします。
4. [ローカル プリンタ] をオンにし、[次へ] をクリックします。
5. インストールするプリンタドライバを選択し、[次へ] をクリックします。
6. 既使用のドライバを選択した場合は、既存のドライバを使用（推奨）するか、新しいドライバと変更するかを選択できます。 どちらかを選択し、[次へ] をクリックします。
7. 「ブラザー ピアツーピア印刷 (LPR)のインストール」セクションの手順 4 作成したポート（例 BLP1）を選択し、[次へ] をクリックします。
8. プリンタ名を入力し、[次へ] をクリックします。 たとえば、「ブラザー ネットワーク プリンタ」などの名前をつけることができます。
9. テスト ページの印刷を行うかどうかを指定する画面で [はい] を選択し、[完了] をクリックします。

これで、ブラザー ピアツーピア印刷（LPR）のインストールは完了です。

ブラザーLPRポートの追加

ブラザーLPR ポートの追加するにはインストール プログラムの再実行は不要です。 [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] をクリックします。 設定するプリンタのアイコンをダブルクリックし、[プリンタ] メニューの [プロパティ] をクリックします。 [詳細] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。 [ポートの追加] ダイアログ ボックスの [その他] をオンにし、[Brother LPR Port] を選択します。 [OK] をクリックし、ポート名を入力します。 デフォルトのポート名は BLP1 です。 既に使用されている場合は、BLP2 など他の名称を使用してください。 ポート名を入力したら、[OK] をクリックします。 [ポートの設定] ダイアログ ボックスが開きます。

プリンタの IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。 ここで作成したポートは、プリンタ ドライバの「印刷先のポート」で表示されます。

第 7 章

NetBIOS ピアツーピア 印刷

Windows® 95/98/Me/NT®/2000 からの NetBIOS 印刷

第 7 章

NetBIOS ピアツーピア印刷

Windows® 95/98/Me/NT®/2000 からの NetBIOS 印刷

概要

ブラザー プリント／ファックス サーバーは、NetBIOS インターフェイスでの、TCP/IP プロトコル上の SMB（サーバー メッセージ ブロック）をサポートしています。 そのため、ブラザー製プリンタは、「近くのコンピュータ」として、通常の Windows® コンピュータと同じように表示され、NetBIOS プロトコルを使用して印刷することができます。NetBIOS での印刷の最大のメリットは、Microsoft ネットワークに接続されているコンピュータ上で実行されている、従来の DOS アプリケーションから印刷を実行できることです。

すぐ使用する場合

1. ブラザー プリント／ファックス サーバーのデフォルトの IP アドレスは 192.0.0.192 です。 このアドレスを変更するには、プリンタのフロント パネルまたは BRAdmin Professional を使用するか、DHCP サーバーなどを使用してプリンタにアドレスを割り当てます。
2. ご使用のコンピュータでの IP アドレスの設定方法は、第 1 章をご参照ください。
3. デフォルトのログイン名は、ユーザーの場合は user、管理者の場合は admin で、ブラザー プリント／ファックス サーバーのデフォルト パスワードは access です。
4. このプリント／ファックス サーバーのデフォルトのドメイン名は WORKGROUP です。 この名前を変更するには、BRAdmin Professional またはウェブ ブラウザを使用します。

プリント／ファックス サーバーの設定

この機能を使用するには、ドメイン名またはワークグループ名をご使用のネットワーク環境に合わせた名称に変更する必要があります。 名称を正しく設定すると、プリント／ファックス サーバーが「ネットワークコンピュータ」として自動的に認識され、このプリンタに直接印刷することができます。 この機能を使用するのに特別なソフトウェアをインストールする必要はありません。 ただ、Windows® 95/98/Me および Windows® NT® 4.0/2000 上で複数のコンピュータから同時に印刷を行おうとすると、「プリンタが利用できません」のエラー メッセージが表示されることがあります。「ブラザー ピアツーピア印刷(NetBIOS)ポート モニタ」ソフトウェアを使用すれば、使用中、電源が入っていない、用紙切れなどの場合にも、印刷ジョブのスプールを続行することができます。 ポート モニタによって、プリンタが利用できるようになるまで、印刷ジョブが PC 上に保留され、エラーメッセージは表示されません。
Windows® 95/98/Me インストール時の所属先ワークグループの指定では、Windows® 95/98/Me のデフォルト ワークグループ名は WORKGROUP ですが、任意の名前に変更できます。 Windows® NT® の場合は、「ドメイン」の概念が導入されています。 ドメインの場合は集中セキュリティ管理、ワークグループの場合は分散セキュリティ管理が使用されます。 このプリント／ファックス サーバーでは、ネットワークの構成がワークグループでもドメインでも問題はありませんが、ワークグループまたはドメインの名称を正しく指定しなければなりません。 ブラザー プリント／ファックス サーバーのデフォルトのドメイン/ワークグループ名は WORKGROUP です。別の名称を使用している場合は、 プリント／ファックス サーバーに対しても、同様の設定を行います。その方法は、次の 4 種類があります。（ドメイン名やワークグループ名がわからない場合は、ネットワーク アプレットの [識別情報] タブを調べます。）

- BRAdmin Professional を使用する。 このユーティリティは、TCP/IP または IPX/SPX で動作します。（Netware ファイルサーバーは不要です。）
- ウェブ ブラウザを使用して IP アドレスを設定する。 プリント／ファックス サーバーとコンピュータが TCP/IP で通信できることが必要です。
- TELNET を使用する。 プリント／ファックス サーバーとコンピュータが TCP/IP で通信できることが必要です。
- DOS 用 BRCONFIG を使用する。 このユーティリティを使用するには、Netware ファイル サーバーと IPX プロトコルが必要です。

Microsoft ネットワークの仕様により、プリント／ファックス サーバーがネットワークの「ネットワークコンピュータ」（Windows® 2000/Me の場合は「マイネットワーク」）として表示されるまでに、数分かかる場合があります。また、プリンタの電源をオフにした場合も、プリント／ファックス サーバーがネットワークの「ネットワークコンピュータ」から削除されるまでに、数分かかる場合があります。 これは Microsoft のワークグループまたはドメインをベースにしたネットワークの仕様です。

TELNET、BRCONFIG またはウェブブラウザを使用して、ワークグループ名/ドメイン名を変更する

BRAdmin Professional を使用することができない場合は、TELNET または BRCONFIG リモート コンソール プログラムを使用します（BRCONFIG を使用するには、コンピュータへの IPX/SPX プロトコルのインストールが必要です）。

プリント／ファックス サーバーへの接続時に、# プロンプトに対しデフォルト パスワード access を入力します。 Enter username> プロンプトで任意の名前を入力すると、プロンプトが Local>に 変わります。

次のコマンドを入力します。

SET NETBIOS DOMAIN domainname
EXIT

domainname は、現在ログオンしているドメインまたはワークグループの名前です。

ドメイン名やワークグループ名がわからない場合は、Windows®
95/98/Me/NT® 4.0 ネットワーク アプレットの [識別情報] タブを調べます。

また、一般的な WWW ブラウザを使用して NetBIOS 名を変更することもできます。 その場合は IP アドレスを URL に入力してプリント／ファックス サーバーに接続します。プリント／ファックス サーバーの設定画面で [ネットワーク設定] の [NetBIOS の設定] ページを選択し、[ドメイン名] ボックスにワークグループ名またはドメイン名を入力します。 必ず OK を押して変更を反映させます。

Windows® 95/98/Me、NT® 4.0/2000 用 NetBIOS ポート モニター

このソフトウェアを使用するには、Windows® 95/98/Me、NT® 4.0/2000 コンピュータへ TCP/IP プロトコルのインストールが必要です。 このプロトコルのインストール方法については Windows® のマニュアルをご参照ください。
TCP/IP プロトコルを使用する場合は、ブラザー プリント／ファックス サーバーと Windows® の両方に IP アドレスが正しく設定されている必要があります。

ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）のインストール

1. CD-ROM (MFC に付属) のインストール メニュー プログラムを『クイック セットアップ ガイド』に従って開始し、[ソフトウェアのインストール]を選択します。
2. [ネットワーク アプリケーション] メニューから、[ソフトウェアのインストール]を選択します。
3. [ネットワーク プリント ソフトウェアの『インストール』]をクリックします。
4. [次へ] をクリックします。
5. [ブラザーピアツーピア 印刷（NetBIOS）のインストール] を選択します。
6. ブラザーピアツーピア 印刷（NetBIOS）をインストールするディレクトリを選択します。
7. 使用するポート名を入力します。 デフォルトポート名は、BNT1 です。別のポート名を使用する場合は、必ず BNPx で始まる名前（x は任意の名称）にしてください。 [OK] をクリックします。
8. [印刷先の検出] ボタンを使用してプリント／ファックス サーバーを探すことができます。 その場合は、ドメイン/ワークグループ名を選択すると、プリンタが表示されます。 リストに表示されない場合は、ドメインが正しく設定されているかどうかを確認してください。 ドメイン名の設定に誤りがなければ、手動で入力してください。 入力する名称は、\\NodeName\ServiceName などのように、UNC（Universal Name Convention）に準拠している必要があります。

   この例の場合の NodeName はブラザー プリント／ファックス サーバーの NetBIOS 名で（デフォルト名は BRN_xxxxxx、この xxxxxx は Ethernet アドレスの最後の 6 桁です）、ServiceName は、このプリント／ファックス サーバーの NetBIOS のサービス名で、デフォルトでは BINARY_P1 です。 次の例を参照してください。

   \\BRN_310107\BINARY_P1

MFC 設定ページをプリントアウトすると、NetBIOS 名と MAC アドレスがわかります。プリント/ファックス サーバーでこの設定ページを印刷する方法については、『ユーザーズ ガイド』を参照してください。

9. [OK] をクリックします。
10. [完了] をクリックし、コンピュータの再起動をします。

プリンタのへ関連付け

1. Windows®のプリンタ設定手順を使って、Windows® 95/98/Me、NT®4.0/2000 システム上にプリンタを設定する必要があります。 [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] を選択します。

Windows® 95/98/Me の場合

2. [プリンタの追加] を選択し、プリンタのインストールを開始します。
3. [プリンタの追加ウィザード] が表示されたら、[次へ] をクリックします。(Windows® 2000 のみ)
4. [ローカル プリンタ] をオンにし、[次へ] をクリックします。
5. インストールするプリンタドライバを選択し、 [次へ] をクリックします。
6. 既使用のドライバを選択した場合は、既存のドライバを使用（推奨）するか、新しいドライバと変更するかを選択します。 どちらかを選択し、[次へ] をクリックします。
7. 「ブラザー ピアツーピア 印刷（NetBIOS）のインストール」セクションの手順 7 で作成したポートを選択し、[次へ] をクリックします。
8. このプリンタの名称を入力し、[次へ] をクリックします。 例えば、「ブラザー ネットワーク プリンタ」などの名前を付けることができます。
9. テスト ページの印刷を行うかどうかを指定する画面で [はい] を選択し、[完了] をクリックします。

これで印刷の準備は完了です。 必要に応じ、このプリンタの共有を設定し、すべての印刷ジョブを、このコンピュータを通じて転送するようにします。

Windows® NT® 4.0/2000 の場合

2. [プリンタの追加] を選択し、プリンタのインストールを開始します。
3. [プリンタの追加ウィザード] が表示されたら、[次へ] をクリックします。(Windows® 2000 のみ)
4. [このコンピュータ]を選択肢、[次へ] をクリックします。
5. 「ブラザー ピアツーピア 印刷（NetBIOS）のインストール」セクションの手順 6 で作成したポートを選択し、[次へ] をクリックします。
6. インストールするプリンタドライバを選択し、[次へ] をクリックします。
7. 既使用のドライバを選択した場合は、既存のドライバを使用（推奨）するか、新しいドライバと変更するかを選択します。 どちらかを選択し、[次へ] をクリックします。
8. このプリンタの名称を入力し、[次へ] をクリックします。 たとえば、「ブラザー ネットワーク プリンタ」などの名前を付けることができます。
9. [プリンタの共有]の有無 を選択し、[次へ] をクリックします。
10. テスト ページの印刷を行うかどうかを指定する画面で [はい] を選択し、[完了] をクリックします。

これで印刷の準備は完了です。必要に応じ、このプリンタの共有を設定し、すべての印刷ジョブを、このコンピュータを通じて転送するようにします。

ポートの追加

1. ポートを追加するのに、インストール プログラムを再実行する必要はありません。 [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] を選択します。 設定するプリンタのアイコンをクリックし、[プリンタ] メニューの [プロパティ] をダブルクリックします。

Windows® 95/98/Me の場合

2. [詳細] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。 [ポートの追加] ダイアログ ボックスの [その他] をオンにし、[BrotherNetBIOS Port] を反転表示にします。 [OK] をクリックし、ポート名を入力します。 デフォルトのポート名は BNT1 です。 この名称がすでに使用されている場合は、BNT2 などの名前を使用します。 ポート名を入力したら、[OK] をクリックします。 [ポートの設定] ダイアログ ボックスが開きます。 プリント／ファックス サーバー名とサービス名を入力し、[OK] をクリックします。 ここで作成したポートは、プリンタ ドライバの「印刷先のポート」の設定で表示されます。

Windows® NT® 4.0/2000 の場合

2. [ポート] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。 [利用可能なポートの種類] ボックスで、「BrotherNetBIOS Port」を反転表示にします。 [新しいポート] をクリックし、ポート名を入力します。 デフォルトのポート名は BNT1 です。 この名称が既に使用されている場合は、BNT2 などの名前を使用します。 ポート名を入力したら、[OK] をクリックします。 [ポートの設定] ダイアログ ボックスが開きます。 プリント／ファックス サーバー名とプリンタのポート名を入力し、[OK] をクリックします。 ここで作成したポートは、プリンタ ドライバの「印刷するポート」の設定で表示されます。

その他の情報ソース

プリンタの IP アドレスの設定方法は、この取扱説明書の第 1 章をご参照ください。

第 8 章

インターネット印刷

Windows® 95/98/Me および NT® 4.0/Windows® 2000 からのインターネット印刷

第 8 章

8

インターネット印刷

Windows® 95/98/Me および NT® 4.0/Windows® 2000 からのインターネット印刷

概要

Windows® 95/98/Me/NT® 4.0 用ブラザー インターネット印刷ソフトウェアを使用すると、インターネットを通じてプリンタに印刷ジョブを送ることができます。 たとえば、東京にあるコンピュータ上の Microsoft Excel アプリケーション プログラムから、大阪にあるプリンタで直接ドキュメントを印刷することができます。

Windows® 2000 の場合もこのソフトウェアを使用することができますが、標準サポートされている IPP プロトコルを使用することをお勧めします。詳細はこの章の「Windows® 2000 での IPP 印刷」をご参照ください。

すぐ使用する場合

1. ブラザー プリント／ファックス サーバーのデフォルトの IP アドレスは 192.0.0.192 です。 このアドレスを変更するには、プリンタのコントロール パネル (パネルがある場合) または BRAdmin Professional を使用するか、DHCP サーバーを使用してプリンタにアドレスを割り当てます。
2. ご使用のコンピュータでの IP アドレスの設定方法は、この取扱説明書の第 1 章をご参照ください。
3. ブラザー プリント／ファックス サーバーのデフォルト パスワードは access です。
4. Windows® 2000 の場合は標準の IPP プロトコルを使用し、インターネット印刷ができます。
5. Windows® 95/98/Me の場合は、IPP プロトコルを使用して、Windows® 2000 コンピュータを通じて印刷ジョブをプリンタに送ることができます。 ただし、Windows® 2000 コンピュータで IIS が実行され、クライアント コンピュータに Microsoft Internet Print Services ソフトウェアがインストールされ、Microsoft Internet Explorer のバージョン 4 以降を使用する必要があります。

ブラザー インターネット印刷

ブラザーインターネット印刷ソフトウェアは、Windows® 95/98/Me/NT® 4.0 の標準インストール ウィザードを使用してインストールします。 このソフトウェアを使用すると、Windows® 95/98/Me/NT® 4.0 コンピュータ上に、アプリケーションから標準プリンタ ポートとして取り扱うことのできる仮想ポートが作成されます。 Windows® 95/98/Me/NT® 4.0 の印刷マネージャを使用して、Windows® 95/98/Me/NT® 4.0 互換プリンタの場合と同じように、このポートを使用するプリンタを作成できます。 Windows® 95/98/Me/NT® 4.0 の任意のアプリケーション プログラムから、このプリンタ（つまり、この仮想ポート）に印刷ジョブを出力することができます。 操作手順の変更は一切不要です。

印刷ジョブが仮想ポートに出力されると、電子メール メッセージにデータが変換され、電子メールサーバーを使用して、リモート環境のブラザー プリント／ファックス サーバーに送信されます。 つまり、ブラザーインターネット印刷は一般的な電子メールソフトウェア パッケージと互換性があります。ブラザーインターネット印刷を使用するには電子メール サーバーから、インターネット上に電子メール メッセージを送信できる必要があります。

次に、もう少し詳細に、その動作を説明します。

- ローカル エリア ネットワーク（LAN）に接続している場合は、電子メール メッセージはメール サーバーに送信され、SMTP プロトコル（Simple Mail Transport Protocol）を使用して、インターネットを通じ、ブラザー プリント／ファックス サーバーに転送されます。

- モデムを使用して直接インターネット サービス プロバイダ（ISP）に接続している場合は、この電子メールのブラザー プリント／ファックス サーバーへの転送は ISP で処理されます。

- 受信先ではメールサーバーから受け取ったメールを POP3 (Post Office Protocol 3)を使用してダウンロードし，添付ファイルを印刷します。

プリントサーバーはブラザーインターネット印刷以外のメールを受信した場合、テキストとしてプリンタに出力します。

プリント／ファックス サーバーの設定

このプリント／ファックス サーバーは、BRAdmin Professional のほか、ウェブ ブラウザまたは TELNET コマンドを使用して設定することができます。

プリント／ファックス サーバーの設定チェック リスト

プリント／ファックス サーバーでのブラザーインターネット印刷ジョブの受信設定を行う前に、受信側のメール サーバーで、POP3 プロトコルと SMTP プロトコルの設定を行う必要があります。

1. 受信側のメール サーバーに、メールアカウントを追加します。
   ブラザープリントサーバーにメールアカウントとアカウントのパスワードを設定します。

2. プリント／ファックス サーバーの POP3/SMTP が使用できること、有効な IP アドレスが割り当てられていることを確認します。

ほとんどのネットワークでは、メール サーバーへのアクセスには制限があるため、メールサーバー管理者にアカウント設定の依頼をする必要があります。

BRAdmin Professionalを使用してプリント／ファックス サーバーの設定する

プリント／ファックス サーバーの設定に TELNET コマンドまたはウェブ ブラウザを使用する場合は、このセクションを飛ばしてください。

BRAdmin Professional は、TCP/IP プロトコルまたは IPX プロトコルを使用してプリントサーバーの各種設定をすることができます。

Windows® 95/98/Me/NT® 4.0 コンピュータから送信された印刷ジョブを、プリント／ファックス サーバーで受信するように設定するには、次の手順を実行します。

1. BRAdmin Professional を起動します。
2. 設定を行うプリント／ファックス サーバーをリストから選択し、ダブルクリックします。デフォルトのパスワードは access です。

プリンタの設定ページを印刷して、ノード名と MAC アドレスを調べることができます。 プリント／ファックス サーバーの設定ページの印刷方法は、『クイックネットワークセットアップ ガイド』 をご参照ください。

3. [POP3/SMTP] タブをクリックします。
4. POP3 サーバーの IP アドレスを入力します。 アドレスが分からない場合はメールサーバー管理者にお尋ねください。
5. [POP3 アカウント]の[名前]に受信側 プリント／ファックス サーバーのアカウント名を入力します。 メール アドレスの@以前の部分がアカウント名になっていることが多いです。 たとえば、メール アドレスが emailprinter@xyz.com の場合は、アカウント名は emailprinter です。詳しくはメールサーバー管理者にお問い合わせください。
6. 必要に応じて、アカウント用のパスワードがあれば入力します。
7. プリント／ファックス サーバーは、デフォルトでは 30 秒間隔でメールサーバーへの印刷ジョブの到着を確認するように設定されます。この設定は必要に応じて変更できます。
8. 印刷結果通知機能を使用する場合は、SMTP サーバーの IP アドレスを入力します。 アドレスが不明の場合はメールサーバー管理者にお尋ねください。
9. [OK] をクリックし、設定した内容を保存します。 BRAdmin Professional を終了します。 これで、プリント／ファックス サーバーで印刷ジョブを受信、印刷することができます。

ウェブブラウザを使用してプリント／ファックス サーバーの設定する

1. ウェブ ブラウザを使用して、URL に IP アドレスを入力してプリント／ファックス サーバーに接続します。
2. [ネットワーク設定]をクリックします。デフォルト パスワードは access です。
3. [POP3/SMTP] を選択し、必要な情報を入力します。プリント／ファックス サーバーの設定については前の項目の「BRAdmin Professional を使用してプリントサーバーを設定する」をご参照ください。
4. [セグメント メッセージ タイムアウト] オプションが表示されるはずです。BIP の電子メール部分印刷機能を使用して印刷ジョブが複数の電子メール メッセージに分割される場合、この値はメッセージのすべてのセグメントが届くまでのプリント／ファックス サーバーの待ち時間を示します。

TELNETを使用してプリント／ファックス サーバーの設定する

プリント／ファックス サーバーの設定に BRAdmin Professional またはウェブブラウザを使用する場合は、このセクションを飛ばしてください。

BRAdmin Professional を使用する代わりに、プリント／ファックス サーバーリモート コンソールを使用して、プリント／ファックス サーバーの設定を行うことができます。 このコンソールには TELNET を使用してアクセスします。 このユーティリティを使用しているプリント／ファックス サーバーにアクセスするには、パスワードが必要です。 デフォルトのパスワードは access です。

1. コンソールに接続した後の Local> プロンプトで、次のコマンドを入力します。
   SET POP3
   ipaddressはPOP3サーバーのIPアドレスです。 このアドレスが不明の場合はネットワーク管理者にお尋ねください。
2. 次のコマンドを入力します。
   SET POP3 NAME mailboxname
   SET POP3 PASSWORD emailpassword
   mailboxnameは受信側プリント／ファックス サーバーのアカウント名、emailpasswordはそのアカウントに対するパスワードです。 通常は、メールボックス名は定義済みの電子メール アドレスの最初の部分と同じです。 たとえば、電子メール アドレスがemailprinter@xyz.comの場合は、メールボックス名はemailprinterです。詳しくはネットワーク管理者にお尋ねください。
3. プリント／ファックス サーバーは、デフォルトでは 30 秒間隔でサーバーへの印刷ジョブの到着を確認するように設定されます。 この値を変更するには、次のコマンドを入力します。
   SET POP3 POLLING rate
   rateは秒単位のポーリング間隔です。
   EXITとタイプしてコンソールを終了し、設定した内容を保存します。 これでプリント／ファックス サーバーの設定は完了です。

Windows® 95/98/Me/NT® 4.0へのブラザー インターネット印刷ソフトウェアの インストール

Windows® 95/98/Me/NT® 4.0 コンピュータにブラザーインターネット印刷ソフトウェアをインストールするには、次の手順を実行します。

- コンピュータで実行されている電子メールソフト（メーラー）が、電子メールを送信できることを確認します（Microsoft Outlook など）。
- メール サーバーからインターネットを通じて電子メールを送信できることを確認して下さい。

CD-ROM からのインストール

1. CD-ROM (MFC に付属) のインストール メニュー プログラムを『クイック セットアップ ガイド』に従って開始し、[ソフトウェアのインストール]を選択します。
2. [ネットワーク アプリケーション] メニューから、[ソフトウェアのインストール]を選択します。
3. [ネットワーク プリント ソフトウェアの『インストール』]をクリックします。
4. 最初の案内画面で [次へ] をクリックします。
5. [ブラザー インターネット印刷] を選択します。
6. ブラザーインターネット印刷プログラムのインストール先ディレクトリを選択し、[次へ] をクリックします。 指定したディレクトリが存在しない場合は、自動的に作成されます。
7. ポート名の入力が必要です。 ポート名を入力します。 ポート名は、BIP1 のように BIP で始まる番号で終わります。
8. 電子メール部分印刷に関するメッセージが表示されます。電子メール部分印刷は、ブラザー インターネット印刷ソフトウェアの電子メール印刷ジョブを小さく分割して、サーバーのメールのファイル サイズ制限の問題を防ぐための機能です。
9. [OK] をクリックして作業を続行します。
10. 次に、リモートプリント サーバーのポートの設定を行います。
    リモート プリント サーバーのインターネット電子メール アドレスを入力します（emailprinter@xyz.com など）。 インターネット電子メール アドレスには、スペース文字などを使用することはできません。
    [SMTP サーバー名または IP アドレス]と[印刷者の電子メールアドレス]を入力します。 このアドレスが分からない場合はネットワーク管理者にお尋ねください。
11. [OK] をクリックし、コンピュータを再起動します。

12. 再起動後、Windows® 95/98/Me/NT® 4.0 の標準プリンタ設定手順を使用して、Windows® 95/98/Me/NT® 4.0 システム上にプリンタを作成する必要があります。（既にプリンタドライバをインストールしてある場合は必要ありません）[スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] をクリックします。
13. [プリンタの追加] をダブルクリックし、プリンタのインストールを開始します。
14. プリンタの追加ウィザードが表示されたら、[次へ] をクリックします（Windows® 95/98/Me のみ）。

< Windows® 95/98/Me の場合>

15. プリンタの接続先の選択では、[ローカル プリンタ]（Windows® 95/98/Me）、または[このコンピュータ]（Windows® NT® 4.0）を選択し、[次へ] をクリックします。

< Windows® NT® 4.0/2000 の場合>

15. [ローカル プリンタ] を選択して、[プラグ アンド プレイ] チェックボックスのチェック マークをはずします。

< Windows® 95/98/Me の場合>

15. リモート プリンタのモデル名（ブラザーHL シリーズなど）を選択します。 必要に応じ、[ディスク使用] をクリックして、CD-ROM からプリンタドライバをインストールします。 プリンタドライバを選択したら、[次へ] をクリックします。
16. 既使用のプリンタドライバを選択した場合は、既存のプリンタドライバを使用（推奨）するか、新しいプリンタドライバと交換するかを選択します。 どちらかを選択し、[次へ] をクリックします。
17. 手順 6 で作成したポートを選択し、[次へ] をクリックします。

< Windows® NT® 4.0/2000 の場合>

15. 手順 6 で作成したポートを選択し、[次へ] をクリックします。
16. リモート プリンタのモデル名（ブラザーHL シリーズなど）を選択します。 必要に応じ、[ディスク使用] をクリックして、CD-ROM からプリンタドライバをインストールします。 プリンタドライバを選択したら、[次へ] をクリックします。
17. 既使用のドライバを選択した場合は、既存のプリンタドライバを使用（推奨）するか、新しいプリンタドライバと交換するかを選択します。どちらかを選択し、[次へ] をクリックします。
18. リモート プリンタの名前を入力し、[次へ] をクリックします。 この名称は、手順 6 で指定したポート名、または手順 9 で指定した電子メール アドレスと、特に一致している必要はありません。
19. テスト ページの印刷の選択では、リモート ブラザープリント サーバーで印刷ジョブの受信を行う設定が済んでいる場合を除き、[いいえ] を選択します。

これで、ソフトウェアのインストールは完了です。 ほかにもリモート ブラザープリント／ファックス サーバーを設定する必要がある場合は、次の「ポートの追加」をご参照ください。

ポートの追加

ポートを追加するのに、インストール プログラムを再実行する必要はありません。 [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] をクリックします。設定するプリンタのアイコンをダブルクリックし、[プリンタ] メニューの [プロパティ] をクリックします。 [詳細]（Windows® NT® の場合は [ポート]）タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。

[ポートの追加] ダイアログ ボックスの [その他] をオンにし（Windows® 95/98/Me のみ）、[Brother Internet Port] をクリックします。 [OK]（Windows® NT® の場合は [新しいポート]）をクリックし、[ポート名] の入力に移ります。BIP で始まる他のポートと重ならない名前を入力します。

Windows® 2000でのインターネット印刷

Windows® 2000 の IPP 印刷機能を使用するには、次の手順を実行します。

1. プリンタの追加ウィザードを開き、「プリンタの追加ウィザードの開始」画面の [次へ] をクリックします。
2. この画面では、[ローカル プリンタ] または [ネットワーク プリンタ] の選択を行うことができます。 [ネットワーク プリンタ] を選択します。
3. [プリンタの検索] 画面が表示されます。
4. [インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します] ラジオボタンをオンにし、[URL:] ボックスに次の URL を入力します。
   http://printer_ip_address:631/ipp
   printer_ip_address はプリンタの IP アドレスまたは DNS 名です。
5. [次へ] をクリックすると、指定した URL に接続されます。

必要なプリンタ ドライバがインストールされている場合

適合するドライバがコンピュータにインストールされている場合は、そのドライバが自動的に使用されます。 この場合は、そのドライバをデフォルト ドライバにするかどうかを選択すると、ドライバ インストール ウィザードが閉じます。 これで印刷の準備は完了です。

必要なプリンタ ドライバがインストールされていない場合

IPP 印刷プロトコルのメリットの 1 つは、通信先のプリンタのモデル名が自動的に確定されることです。 プリンタとの通信が確立すると、自動的にプリンタのモデル名が表示されるため、使用するプリンタ ドライバの種類を Windows® 2000 に対して指定する必要はありません。

6. [OK] をクリックすると、プリンタ追加ウィザードのプリンタ選択画面が表示されます。
7. 使用するプリンタがサポートされているプリンタのリストにない場合は、[ディスク使用] をクリックします。 ドライバ ディスクを挿入する画面が表示されます。
8. [参照] をクリックし、目的のブラザー プリンタ ドライバが格納されている、CD-ROM、ネットワーク共有、またはフロッピー ディスクを選択します。
9. プリンタのモダル名を指定します。
10. インストールするプリンタ ドライバにデジタル署名がない場合は、警告メッセージが表示されます。 [はい] をクリックして、インストールを続行します。 これで、プリンタ追加ウィザードでの作業は終わりです。
11. [完了] をクリックします。 プリンタの印刷準備が完了しました。 プリンタとの接続をテストするために、テスト ページを印刷します。

別のURLを指定する

[URL] ボックスには、次の何種類かのエントリが可能です。
http://printer_ip_address:631/ipp
デフォルトの URL です。 この URL の使用をお勧めします。

http://printer_ip_address:631/
URL の詳細を忘れた場合は、このテキストだけでもプリンタに受け付けられ、データが処理されます。

ブラザープリントサーバーに内蔵されているサービス名を使用する場合は、次の URL も使用できます。 ただし、「詳細」をクリックしてもプリンタのデータは表示されません。

http://printer_ip_address : 631/brn_xxxxxx_p1
http://printer_ip_address : 631/binary_p1
http://printer_ip_address : 631/text_p1
http://printer_ip_address : 631/postscript_p1
http://printer_ip_address : 631/pcl_p1
http://printer_ip_address : 631/brn_xxxxxx_p1_at

printer_ip_address はプリンタの IP アドレスです。

その他の情報ソース

1. Windows® 95/98/Me/NT® 4.0 用 Microsoft インターネット印刷サービスが必要な場合は、Microsoft のウェブ サイトをご参照ください。
2. プリンタの IP アドレスの設定方法は、この取扱説明書の第 1 章をご参照ください。

第 9 章

Novell NetWare での印刷

Novell NetWare からの印刷の 設定方法

第 9 章

9

Novell NetWare での印刷

Novell NetWare からの印刷の設定方法

概要

ブラザー プリント／ファックス サーバーを使用すると、TCP/IP 環境下等で使用しているプリンタに、NetWare クライアント コンピュータから印刷ジョブを出力することができます。 NetWare での印刷ジョブは、すべて Novell サーバーにスプールされ、プリンタが印字可能になるとプリンタに送られます。

1. ブラザー プリント サーバーのデフォルトの IP アドレスは 192.0.0.192 です。 このアドレスを変更するには、プリンタのフロント パネル (使用できる場合) または BRAdmin Professional を使用するか、DHCP サーバーを使用してプリンタにアドレスを割り当てます。
2. ブラザー プリント サーバーのデフォルト パスワードは access です。

一般的事項

ブラザー プリント／ファックス サーバーを NetWare ネットワークで使用するには、このプリント／ファックス サーバーからサービスを行うことのできる印刷キューを、ファイル サーバー上に設定する必要があります。 印刷ジョブはファイル サーバーの印刷キューに送られ、直接、または、リモート プリント／ファックス サーバーの場合は中間プリント／ファックス サーバーを通じて、ブラザー プリント／ファックス サーバーにスプールされます。

システム管理者は、BRAdmin Professional を使用して、ネットワーク環境下に Bindery （NetWare 3）または NDS（NeWare 4 および NetWare 5）ベースのキューを作成できます。 アプリケーションの切り替えは必要ありません。NetWare 5 で NDPS プリンタを設定する場合は、NetWare 5 に付属の NWADMIN アプリケーションを使用する必要があります。 BRAdmin Professional を使用して、IPX BINDERY または NDS ベースのキューを NetWare 5 システム上に作成することはできません。

BRAdmin Professional を使用して NetWare サーバー上にキュー情報を作成するには、Novell NetWare Client 32 のインストールが必要です。

BRAdmin Professional が使用できない場合は、NetWare PCONSOLE ユーティリティ、または NWADMIN ユーティリティを使用してキューを作成できますが、ブラザーBRCONFIG ユーティリティ、TELNET、または WWW ブラウザを使用してプリント／ファックス サーバーの設定を行う必要があります。これについては後述します。

ブラザー プリント／ファックス サーバーは、最大 16 のファイル サーバーと 32 のキューに対してサービスを行うことができます。

NetWare5用NWADMINを使用してNDPSプリンタを作成する

Novell NetWare 5 で、Novell 分散印刷（NDPS）と呼ばれる新しい印刷システムがリリースされました。 ブラザー プリント／ファックス サーバーの設定を行う前に、NetWare 5 サーバーへの NDPS のインストールと、サーバー上での NDPS マネージャの設定が必要です。
プリンタと印刷についての詳細は、この章の「その他の情報ソース」をご参照ください。

NDPSマネージャ

このセクションでは、NDPS マネージャの作成方法を説明します。
サーバー ベースの印刷エージェントを作成する前に、NDS ツリー内に NDPS マネージャを作成する必要があります。 サーバーに直接接続されているプリンタを NDPS マネージャで制御する場合は、プリンタの接続されているサーバーにマネージャをロードしなければなりません。

1. NetWare アドミニストレータで、NDPS マネージャをロードするエリアに移動します。[オブジェクト]、[作成]、[NDPS マネージャ] の順に選択し [OK] をクリックします。
2. NDPS マネージャ名を入力します。
3. NDPS マネージャをインストールするサーバー（NDPS はインストール済みで NDPS マネージャは未インストール）を探し、NDPS マネージャ データベースを割り当てるボリュームを指定します。 [作成] をクリックします。

NDPSブローカー

NDPS をインストールすると、NDPS ブローカーがネットワーク上にロードされます。 ブローカーサービスの 1 つのリソース管理サービスにより、プリンタ エージェントで使用するプリンタ ドライバをサーバー上にインストールすることができます。

プリンタ ドライバをブローカーに追加するには

4. リソース管理サービスが有効になっていることを確認します。
5. NetWare アドミニストレータで、ブローカー オブジェクトのメインウィンドウを開きます。
6. [リソース管理ビュー] を選択します。
7. [リソース管理] ダイアログ内の [リソースの追加] をクリックします。
8. [リソース管理] ダイアログが表示されたら、追加するプリンタドライバのタイプを表しているアイコンをクリックします。 NetWare 5 用の、3.1x、95/98/Me、または NT® 4.0 ドライバがあります。 NetWare 4.x で NDPS バージョン 1 を使用している場合は、3.1x と 95/98/Me しか使用できません。 NetWare 4.x 用 NDPS バージョン 2 では NT ドライバの自動ダウンロードがサポートされます。
9. 選択したタイプの、現在ロードされているすべてのリソースのリストが、[現在のリソース] ウィンドウに表示されます。 [追加] をクリックします。
10. [<リソース タイプ>の追加] ダイアログが表示されます。 この画面に表示されたリソースが現在インストールされています。
11. [参照] をクリックし、このリストに追加するドライバを探します。 ドライバ リストに複数のプリンタが表示されることがあります。 これは多言語をサポートするドライバですが、INF ファイルから必要な言語を選択することはできません。 また、どの言語がどれかも識別できません。

プリンタ エージェントの作成

1. アドミニストレータで、[オブジェクト]、[作成]、[NDPS プリンタ] の順に選択します。 NDPS プリンタ名を入力します。

プリンタと印刷についての詳細は、この章の「その他の情報ソース」をご参照ください。

2. 新しいプリンタの場合は、[新しいプリンタ エージェント] を選択します。
3. 既存の NDS プリンタを NDPS を使用するようにアップグレードする場合は、[既存の NDS プリンタ オブジェクト] を選択します。 アップグレードするプリンタ オブジェクトを選択します。
4. このプリンタ エージェントを参照する名前を入力し、NDPS マネージャの名前をクリックするかラジオボタンをオンにして、NDPS マネージャを選択します。 このプリンタ エージェント用のポートのタイプを選択して、[OK] をクリックします。
5. 次に、使用する接続のタイプを指定します。 選択可能なオプションは 4 つありますが、[IP 上の LPR] を選択します。
6. プリンタの関連情報を入力します。 プリンタ名として Binary_P1 の使用をお勧めします。 [完了] をクリックして、しばらくお待ちください。 クライアント オペレーティング システム用プリンタ ドライバを選択します。

これで印刷の準備は完了です。

Netware 3およびNetWare 4システムの設定

BRAdmin Professional は、NetWare PCONSOLE（NetWare 4.1x 以降では NWADMIN）ユーティリティと同じような機能を備えた Windows® ベースのアプリケーションです。 BRAdmin Professional を使用して NetWare 上のブラザー プリント／ファックス サーバーの設定を行うには、SUPERVISOR（NetWare 2.xx、3.xx）または ADMIN（NetWare 4.1x 以降）としてログインし、以降のページに説明する適切な手順を実行する必要があります。

BRAdmin Professional を使用して NetWare サーバー上にキュー情報を作成するには、Novell NetWare Client 32 のインストールが必要です。

ブラザー プリント／ファックス サーバー（エミュレーション モードでのキュー サーバー モード）の設定にBRAdmin Professionalを使用する

1. SUPERVISOR（NetWare 2.xx、3.xx）または ADMIN（NetWare 4.1x 以降）でサーバーにログインします。
2. BRAdmin Professional を起動します。
3. リストに 1 つ以上のプリント／ファックス サーバーが表示されます。デフォルトのノード名は BRN_xxxxxx_P1 で、xxxxxx は Ethernet アドレス（MAC アドレス）の最後の 6 桁です。

プリンタの設定ページを印刷して、ノード名と MAC アドレスを調べることができます。 プリント／ファックス サーバーの設定ページの印刷方法は、『クイックネットワークセットアップ ガイド』 をご参照ください。

4. 設定を行うプリント／ファックス サーバーをダブルクリックします。パスワードの入力が必要です。 デフォルトのパスワードは access です。
5. [NetWare] タブを選択します。

必要に応じ、[プリント／ファックス サーバー名] を変更します。 デフォルトの NetWare プリント／ファックス サーバー名は BRN_xxxxxx_P1 で、xxxxxx はプリント／ファックス サーバーの Ethernet アドレスです。 この名前を変更すると、プリント／ファックス サーバー サービス名が変更されるため、他のプロトコルの設定に影響を与える可能性がありますので注意して下さい。

a. まだ [キュー サーバー] を選択していない場合は選択します。
b. [バインダリキューの変更] をクリックします。
c. 設定を行う NetWare サーバーを選択します。
d. [作成] をクリックし、作成するキューの名前を入力します。
e. 作成するキューの名前が反転表示されます。 [追加] をクリックします。
f. [閉じる] をクリックし、[OK] をクリックします。

BRAdmin Professional を終了します。 これで印刷の準備は完了です。

ブラザー プリント／ファックス サーバー（NDSモードでのキュー サーバー モード）の設定にBRAdmin Professionalを使用する

1. NDS モードの ADMIN としてログインします。
2. BRAdmin Professional を起動します。
3. プリンタのリストに 1 つ以上のプリント／ファックス サーバー サービスが表示されます。 デフォルトのノード名は BRN_xxxxxx_P1 で、xxxxxx は Ethernet アドレス（MAC アドレス）の最後の 6 桁です。

プリンタの設定ページを印刷して、ノード名と MAC アドレスを調べることができます。 プリント／ファックス サーバーの設定ページの印刷方法は、『クイックネットワークセットアップ ガイド』 をご参照ください。

4. 設定を行うプリンタをダブルクリックします。 パスワードの入力が必要です。 デフォルトのパスワードは access です。
5. [NetWare] タブを選択します。

   a. まだ [キュー サーバー] を選択していない場合は選択します。
   b. 正しい NDS ツリーと NDS コンテキストを選択します。 この情報を手動で入力するか、NDS ツリーのそばにある下向き矢印をクリックし、NDS コンテキストのそばにある [変更] をクリックすると、自動的に入力されます。 この情報を入力したら、[NDS キューの変更] をクリックします。
   c. [Netware プリントキュー] の画面で、適切なツリーとコンテキストを選択し、[作成] をクリックします。
   d. キュー名を入力し、ボリューム名を指定します。 ボリューム名が分からない場合は [参照] をクリックし、NetWare ボリュームを探します。 入力した情報に誤りがなければ、[OK] をクリックします。
   e. 作成したキュー名が、指定したツリーとコンテキストに表示されます。 このキューを選択し、[追加] をクリックします。 このキュー名が [サービス印刷キュー] ウィンドウに移動します。 キュー名情報に加えてツリーとコンテキストの情報も、このウィンドウに表示されます。
   f. [閉じる] をクリックします。 これで、ブラザー プリント／ファックス サーバーは、適切な NetWare サーバーにログインします。

BRAdmin Professional を終了します。 これで印刷の準備は完了です。

ブラザー プリント／ファックス サーバー（NDSモードでのキュー サーバー モード）の設定に、Novell NWADMINとBRAdmin Professionalを使用する

NetWare ファイル サーバーの設定に、BRAdmin Professional と NWADMIN アプリケーションを併用する場合は、次の手順を実行します。

1. NetWare 4.1x 以降のファイル サーバーに、NDS モードの ADMIN としてログインし、NWADMIN アプリケーションを起動します。
2. 目的のプリンタが含まれているコンテキストを選択し、[オブジェクト] メニューの [作成] をクリックします。 [新しいオブジェクト] メニューで [プリンタ] を選択し、[OK] をクリックします。
3. プリンタ名を入力し、[作成] を選択します。
4. デフォルトの印刷キューが含まれている目的のコンテキストを選択し、[オブジェクト]、 [作成]をクリックして [新しいオブジェクト] メニューにアクセスします。
5. [印刷キュー] を選択し、[OK] をクリックします。 [ディレクトリ サービス キュー] を選択し、デフォルト印刷キューの名前を入力します。
6. 印刷キュー ボリュームを選択するボタンをクリックします。 必要に応じてディレクトリ コンテキストを変更し、[使用可能なオブジェクト] から目的のボリュームを選択し、[OK] をクリックします。 [作成] をクリックし、印刷キューを作成します。
7. 必要に応じてコンテキストを変更し、手順 3 で作成したプリンタ名をダブルクリックします。
8. [割り当て] をクリックし、[追加] をクリックします。

必要に応じてコンテキストを変更し、手順 5 で作成した印刷キューを選択します。

9. [設定] をクリックし、[プリンタの種類] を「その他/不明」に設定します。 [OK] をクリックし、もう一度 [OK] をクリックします。
10. 必要に応じてコンテキストを変更し、[オブジェクト] メニューの [作成] をクリックします。 [新しいオブジェクト] メニューで [プリント／ファックス サーバー] を選択し、[OK] をクリックします。
11. プリント／ファックス サーバー名を入力し、[作成] を選択します。

プリント／ファックス サーバーの NetWare プリント／ファックス サーバー名を、BRAdmin Professional の [NetWare] タブに表示されるとおりに入力します。 名前を変更していなければ、通常は、デフォルトのサービス名 BRN_xxxxxx_P1 です。

プリンタの設定ページを印刷して、現在のサービス名と MAC アドレスを調べることができます。 プリント／ファックス サーバーの設定ページの印刷方法は、『クイックネットワークセットアップ ガイド』 をご参照ください。

重要事項
プリント／ファックス サーバーにパスワードを設定しないでください。 設定するとログインできなくなります。

12. プリント／ファックス サーバーの名前をダブルクリックします。 [割り当て] をクリックし、[追加] をクリックします。
13. 必要に応じディレクトリ コンテキストを変更します。 手順 3 で作成したプリンタを選択し、[OK] をクリックし、もう一度 [OK] をクリックします。
14. NWADMIN を終了します。
15. BRAdmin Professional を起動し、リストからプリント／ファックス サーバーの名称を選択します。 デフォルトのノード名は BRN_xxxxxx_P1 です。

設定を行うブラザー プリント／ファックス サーバーをダブルクリックします。 デフォルトのパスワードは access です。 次に、[NetWare] タブを選択します。

16. 動作モードとして [キュー サーバー] を選択します。

NetWare サーバー名によって割り当てられる同一のサービスを、キュー サーバー モードとリモート プリンタ モードの両方で使用することはできません。

デフォルトの NetWare サービスではないサービスでキュー サーバー機能を使用する場合は、NetWare と目的のポートで使用可能なサービスを新たに定義しなければなりません。 詳しい方法は、このマニュアルの「付録」をご参照ください。

17. NDS ツリー名を入力します。 プリント／ファックス サーバーは、NDS キューとバインダリ キューの両方に対してサービスを行うことができます。
18. プリント／ファックス サーバーをロードするコンテキスト名を入力します。
19. 設定した内容を保存したことを確認して、BRAdmin Professional を終了します。 これで印刷の準備は完了です。

ブラザー プリント／ファックス サーバー（NDSモードでのリモート サーバー モード）の設定に、Novell NWAdminとBRAdmin Professionalを使用する

NWADMIN（NetWare 管理ユーティリティ）と BRAdmin Professional を使用して、ブラザー プリント／ファックス サーバーをリモート プリンタ モードに設定するには、次の手順を実行します。

1. NetWare 4.1x ファイル サーバーに PSERVER NLM（NetWare Loadable Module）がロードされていることを確認し、ファイル サーバーに NDS モードで ADMIN としてログインします。
2. [NWADMIN] アイコンをダブルクリックして起動します。 新しいプリンタが含まれているコンテキストを選択します。
3. [オブジェクト] メニューの [作成] を選択します。 [新しいオブジェクト] メニューで [プリンタ] を選択し、[OK] をクリックします。
4. プリンタ名を入力し、[作成] を選択します。
5. PSERVER NLM のプリント／ファックス サーバーの名前をダブルクリックします。 [割り当て] をクリックし、[追加] をクリックします。
6. 必要に応じディレクトリ コンテキストを変更します。 作成したプリンタを選択し、[OK] をクリックします。 後で必要になるためプリンタ番号をメモに記録し、[OK] をクリックします。
7. デフォルトの印刷キューが含まれているコンテキストを選択し、[オブジェクト]、 [作成]をクリックして [新しいオブジェクト] メニューにアクセスします。
8. [印刷キュー] を選択し、[OK] をクリックします。 [ディレクトリ サービス キュー] を選択し、デフォルト印刷キューの名称を入力します。
9. 印刷キュー ボリュームを選択するボタンをクリックします。 必要に応じてディレクトリ コンテキストを変更し、ボリューム（オブジェクト）を選択して、[OK] をクリックします。 [作成] をクリックし、印刷キューを作成します。
10. 必要に応じてコンテキストを変更し、前の手順作成したプリンタ名をダブルクリックします。
11. [割り当て] をクリックし、[追加] をクリックします。
12. 必要に応じてコンテキストを変更し、作成した印刷キューを選択します。 [OK] をクリックし、もう一度 [OK] をクリックして、NWADMIN を終了します。
13. BRAdmin Professional を起動し、設定するプリンタを正しく選択します。 デフォルトのノード名は BRN_xxxxxx_P1 です。

プリンタの設定ページを印刷して、NetWare サーバー名と MAC アドレスを調べることができます。プリント／ファックス サーバーの設定ページの印刷方法は、『クイックネットワークセットアップ ガイド』 をご参照ください。

14. プリント／ファックス サーバーをダブルクリックします。 デフォルトのパスワードは access です。
15. 次に、[NetWare] タブを選択します。
16. [動作モード] として [リモート プリンタ] を、[プリントサーバー] として [PSERVER NLM] を、[プリンタ番号] として手順 6 で記録したプリンタ番号を選択します。

NetWare プリント／ファックス サーバーによって割り当てられる同一のサービスを、キュー サーバー モードとリモート プリンタ モードの両方で使用することはできません。 デフォルトの NetWare サービスではないサービスでリモート プリンタ機能を使用する場合は、NetWare と目的のポートで使用可能なサービスを新たに定義しなければなりません。 詳しい方法は、このマニュアルの「付録 B」をご参照ください。

17. [OK] をクリックし、 BRAdmin Professional を終了します。

ここで、いったんファイル サーバー コンソールから PSERVER NLM をアンロードし、設定した内容を反映するために再ロードする必要があります。

ブラザーの BRAdmin Professional や Novell NWADMIN アプリケーションではなく、ブラザーの BRCONFIG プログラムと標準の Novell PCONSOLE ユーティリティを併用して印刷キューの設定を行うこともできます。 BRCONFIG プログラムは BRAdmin Professional のインストール時に同時にインストールされ、[スタート] をクリックし、[プログラム] をポイントして [ブラザー BRAdmin Professional ユーティリティ] をクリックし、[BRCONFIG]をクリックすると起動できます。 また、製品に同梱されている CD-ROM からも起動できます。 必要に応じ、BRCONFIG ユーティリティではなく、WWW ブラウザや TELNET ユーティリティも使用できます。

ブラザー プリント／ファックス サーバー（Binderyエミュレーション モードでのキュー サーバー モード）の設定にPCONSOLEとBRCONFIGを使用する

1. Supervisor（NetWare 3.xx）または ADMIN（NetWare 4.1x 以降、バインダリ モードの場合は/b オプションの指定が必要）としてログインします。
2. Windows® のメニューまたはプリント／ファックス サーバー設定ユーティリティ ディスケットをドライブ A に挿入し、DOS プロンプトで次のコマンドを入力して、BRCONFIG を実行します。

   A:BRCONFIG または A:BRCONFIG PrintServerName

   PrintServerName は、ブラザー プリント／ファックス サーバーの NetWare 印刷サービス名です。 デフォルト名は BRN_xxxxxx_P1 で、xxxxxx は Ethernet アドレス（MAC アドレス）の最後の 6 桁です。

プリンタの設定ページを印刷して、NetWare 印刷サービス名と MAC アドレスを調べることができます。MFC のサーバーの設定ページの印刷方法は、『クイックネットワークセットアップ ガイド』 をご参照ください。

3. BRCONFIG コマンドでプリント／ファックス サーバー名を指定しなかった場合は、プリント／ファックス サーバーのリストで対応するサーバー名を選択します。
4. プリント／ファックス サーバーへの接続メッセージが表示されたら、# プロンプトに対してデフォルトのパスワード access を入力し（入力したパスワードは表示されません）、Enter Username> プロンプトに対し何も入力せずに<ENTER>キーを押します。
5. Local> プロンプトに対し、次のコマンドを入力します。

   SET NETWARE SERVER servername ENABLED

   servername は、印刷キューを作成するファイル サーバーの名前です。複数のファイル サーバーから印刷を行う場合は、このコマンドを必要なだけ繰り返します。

6. EXIT と入力し、設定した内容を保存して BRCONFIG リモート コンソール プログラムを終了し、次に Novell PCONSOLE ユーティリティを起動します。
7. [使用可能オプション] メニューで、[プリント／ファックス サーバー情報]（NetWare 3.xx）または [プリント／ファックス サーバー]（NetWare 4.1x、警告メッセージを無視します）を選択します。

8. 現在のプリント／ファックス サーバーのリストが表示されます。 新しいエントリを作成するために<INSERT>キーを押し、NetWare プリント／ファックス サーバー名を入力して（デフォルトでは BRN_xxxxxx_P1 で xxxxxx は Ethernet アドレスの最後の 6 桁）、<ENTER>キーを押します。 <ESCAPE>キーを押し、元の [使用可能オプション] メニューに戻ります。
9. [印刷キュー情報]（NetWare 3.xx）または [印刷キュー]（NetWare 4.1x）を選択し、設定済み印刷キューのリストを表示します。
10. 新しいキューを作成するために<INSERT>キーを押し、作成するキューの名称を入力して<ENTER>キーを押します。 この名称はプリント／ファックス サーバー リソースと関連のない名称でもかまいませんが、簡潔で短く覚えやすい名前を使用します。
11. 新しいキュー名が反転表示されていることを確認し、このキューの設定を行うために<ENTER>キーを押します。
12. [キュー サーバー]（NetWare 4.1x の場合は [プリント／ファックス サーバー]）を選択して<ENTER>キーを押し、この印刷キューから印刷ジョブを出力するネットワーク プリント／ファックス サーバーを指定します。 新しいキューの場合は、関連付けられているプリント／ファックス サーバーはありませんから、このリストには何も表示されません。
13. <INSERT>キーを押して選択可能なキュー サーバーのリストを表示し、手順 11 のサーバー サービス名を選択して<ENTER>キーを押します。
    <ESCAPE>キーを数回押して、元の [使用可能オプション] メニューに戻ります
14. プリント／ファックス サーバーに印刷ジョブ用ファイル サーバーの再スキャンを実行させます。プリンタの電源を入れなおすか、PCONSOLE を使用して、次の方法でプリント／ファックス サーバーをダウンさせます。

- [使用可能オプション] メニューで [サーバー情報] を反転表示にし、<ENTER>キーを押します。

- プリント／ファックス サーバー名を選択し、<ENTER>キーを押します。 NetWare4.1x の場合は、[情報とステータス] を反転表示にして<ENTER>キーを押し、次の手順に飛びます。

  NetWare 3.xx または 2.xx の場合は
  ー[プリント／ファックス サーバー ステータス/制御] を反転表示にして<ENTER>キーを押します。
  ー[サーバー情報] を反転表示にして<ENTER>キーを押します。

- <ENTER>キーを押し、[ダウン] を選択して、もう一度<ENTER>キーを押します。 これで、新しいキュー エントリで使用することのできるファイル サーバーの再スキャンを、プリント／ファックス サーバーに実行させることができます。

- また、BRCONFIG または TELNET の SET NETWARE RESCAN コマンドを使用し、プリント／ファックス サーバーにファイル サーバーの再スキャンを実行させることもできます。

ブラザー プリント／ファックス サーバー（NDSモードでのキュー サーバー モード）の設定にPCONSOLEとBRCONFIGを使用する

1. NetWare 4.1x ファイル サーバーに、NDS モードの ADMIN としてログインします。
2. ワークステーションから PCONSOLE ユーティリティを実行します。
3. [使用可能なオプション] メニューの [プリント／ファックス サーバー] を選択します。
4. <INSERT>キーを押し、プリント／ファックス サーバー名を入力します。

プリント／ファックス サーバーの NetWare プリント サービス名を、プリンタ設定ページに表示されるとおりに入力します。 名前を変更していなければ、デフォルト名は BRN_xxxxxx_P1 で、xxxxxx は Ethernet アドレス（MAC アドレス）の最後の 6 桁です。

プリンタの設定ページを印刷して、NetWare 印刷サービス名と MAC アドレスを調べることができます。 プリント／ファックス サーバーの設定ページの印刷方法は、『クイックネットワークセットアップガイド』 をご参照ください。

重要事項
プリント／ファックス サーバーにパスワードを設定しないでください。 設定するとログインできなくなります。

5. <ESCAPE>キーを押し、元の [使用可能オプション] メニューに戻ります。
6. [印刷キュー] を選択します。
7. <INSERT>キーを押し、印刷キュー名を入力します。 ボリューム名の入力も必要です。 <INSERT>キーを押し、適切なボリューム名を選択します。 <ESCAPE>キーを押し、メイン メニューに戻ります。
8. 新しいキュー名が反転表示されていることを確認し、<ENTER>キーを押します。
9. [プリント／ファックス サーバー] を選択し、この印刷キューから印刷ジョブを出力するネットワーク プリント／ファックス サーバーを指定するために<ENTER>キーを押します。 プリント／ファックス サーバーの指定は初めてのため、リストには何も表示されません。
10. <INSERT>キーを押すと、使用可能なキュー サーバーのリストが表示されます。 このリストで手順 4 のプリント／ファックス サーバー名を選択すると、リストに追加されます。<ENTER>キーを押します。

11. [使用可能なオプション] メニューの [プリンタ] を選択します。
12. <INSERT>キーを押し、プリンタ名を入力します。
13. <ESCAPE>キーを押し、[使用可能オプション] メニューに戻ります。
14. [プリント サーバー] を選択し、手順 4 で入力したプリント サーバー名を選択します。
15. [プリント／ファックス サーバー情報] メニューの [プリンタ] オプションを反転表示にします。
16. <INSERT>キーを押し、手順 12 で入力したプリンタ名を選択します。
17. <ESCAPE>キーを押し、DOS に戻ります。
18. BRCONFIG を Windows® メニューから実行するか MFC に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入して、X:BRCONFIG（X は CD-ROM ドライブのドライブ名）を入力します。
    プリント サーバーのリストでプリント サーバーを選択します。 プリント サーバーへの接続メッセージが表示されたら<ENTER>キーを押し、# プロンプトに対してデフォルトのパスワード access を入力します（入力したパスワードは表示されません）。 次に、Enter Username> プロンプトに対し何も入力せずに<ENTER>キーを押します。 Local> プロンプトに対し、次のコマンドを入力します。

    SET SERVICE service TREE tree
    SET SERVICE service CONTEXT Context

    - tree は NDS ツリー名です。
    - Context はプリント／ファックス サーバーをロードするコンテキスト名です。
    - service は、NetWare プリント／ファックス サーバー名によって割り当てられるサービスの名前です。 プリントサーバーのデフォルトサービス名は BRN_xxxxxx_P1 で、xxxxxx は Ethernet アドレス（MAC アドレス）の最後の 6 桁です。
    - ウェブ ブラウザで TCP/IP プロトコルを使用してブラザー プリント／ファックス サーバーに接続し、NetWare プロトコル設定を選択して、TREE 名および CONTEXT 名を入力することもできます。

19. BRCONFIG または TELNET の SET NETWARE RESCAN コマンドを使用してプリント／ファックス サーバーにファイル サーバーの再スキャンを実行させるか、プリンタの電源を入れなおします。

NetWare プリント／ファックス サーバーによって割り当てられる同一のサービスを、キュー サーバー モードとリモート プリンタ モードの両方で使用することはできません。

デフォルトの NetWare サービスではないサービスでリモート プリンタ機能を使用する場合は、NetWare と目的のポートで使用可能なサービスを新たに定義しなければなりません。 詳しい方法は、このマニュアルの「付録 B」をご参照ください。

ブラザー プリント／ファックス サーバー（リモート プリンタ モード）の設定に PCONSOLEとBRCONFIGを使用する

1. ファイル サーバーに PSERVER NLM（NetWare Loadable Module）がロードされていることを確認します。
2. NetWare 4.1x を使用している場合は、ワークステーションから ADMIN としてファイル サーバーにログインします（NDS サポートが必要な場合は、バインダリ モードでログインしてはいけません）。NetWare 2.xx または 3.xx を使用している場合は、SUPERVISOR としてログインします。
3. ワークステーションから PCONSOLE ユーティリティを実行します。
4. 新しい印刷キューを作成する場合は、[使用可能なオプション] メニューで [印刷キュー情報]（NetWare 3.xx）または [印刷キュー]（NetWare 4.1x）を選択します。
5. <INSERT>キーを押し、印刷キュー名を入力します（NetWare 4.1x の場合はボリューム名の入力も必要です。 <INSERT>キーを押し、適切なボリューム名を選択します）。 <ESCAPE>キーを押し、メイン メニューに戻ります。

NetWare 4.1x システムでの、NDS をサポートしたリモート プリンタの設定を行うには、次の手順を実行します。

6.
   a. PCONSOLE のメニューで [プリント／ファックス サーバー] を選択し、ホスト コンピュータ上の PSERVER NLM の名称を選択します。
   b. [Printers] を選択します。
   c. <INSERT>キーを押し、[オブジェクト] の [クラス] メニューを表示します。
   d. <INSERT>キーを押し、プリンタ名を入力します。
   e. このプリンタ名を反転表示にし、<ENTER >キーを 2 回押して、[プリンタの設定] メニューを表示します。
   f. PCONSOLE によってプリンタ番号が割り当てられています。後で必要になるため、この番号をメモしておきます。
   g. [割り当てられている印刷キュー] を反転表示にして<ENTER >キーを押し、<INSERT>キーを押して使用可能なキューのリストを表示します。
   h. リモート プリンタに割り当てる印刷キューの名前を反転表示にし、<ENTER>キーを押します。
   i. メニューの他の項目の設定は必要ありません。 <ESCAPE>キーを数回押して PCONSOLE を終了します。
   j. 後述の、リモート プリンタ名とプリンタ番号のセクションの手順を実行します。

NetWare 3.xx システムでのリモート プリンタの設定を行うには、次の手順を実行します。

6.
   a. PCONSOLE のメイン メニューで [プリント／ファックス サーバー情報] を選択し、PSERVER NLM の名称を選択します。
   b. [プリント／ファックス サーバーの設定] を選択し、次に、[プリンタの設定] を選択します。 任意の「未インストール」プリンタを選択し、<ENTER>キーを押します。 このプリンタの番号が後の手順で必要になりますから、メモしておきます。
   c. 必要に応じ、プリンタの名称を新たに入力します。
   d. [種類] を選択して<ENTER>キーを押し、[リモートその他/不明] を反転表示にして、もう一度<ENTER>キーを押します。 メニューの他の項目の設定は必要ありません。
   e. <ESCAPE>キーを押し、設定した内容を保存します。
   f. <ESCAPE>キーを押し、[プリンタがサービスを行うキュー] を選択します。
   g. 今設定したプリンタの名前を反転表示にし、<ENTER>キーを押します。
   h. <INSERT>キーを押して目的の印刷キューを選択し、<ENTER>キーを押します（デフォルトの優先順位を選択します）。
   i. <ESCAPE>キーを数回押して、PCONSOLE を終了します。

BRCONFIG を使用して、リモート プリンタ名とプリンタ番号を割り当てる

7.

a. BRCONFIG を Windows® メニューから実行するか、ブラザー プリント/ファックス サーバー ソフトウェアのディスクをパソコンのドライブ A: に挿入して、A:BRCONFIG と入力します。

b. プリント／ファックス サーバーのリストでブラザー プリント／ファックス サーバーを選択します。 プリント／ファックス サーバーへの接続メッセージが表示されたら<ENTER>キーを押し、# プロンプトに対してデフォルトのパスワード access を入力します（入力したパスワードは表示されません）。 次に、Enter Username> プロンプトに対し何も入力せずに <ENTER>キーを押します。 Local> プロンプトに対し、次のコマンドを入力します。

```
SET NETWARE NPRINTER nlm number ON service
SET NETWARE RESCAN
EXIT
```

- nlm は、ファイル サーバー上の PSERVER NLM の名前です。
- number はプリンタ番号です。 この番号は、前の手順の PCONSOLE での設定で選択したプリンタ番号と一致していなければなりません。
- service は、NetWare プリント／ファックス サーバー名によって割り当てられるサービスの名前です。 プリントサーバーのデフォルトのサービス名は BRN_xxxxxx_P1 で、xxxxxx は Ethernet アドレス（MAC アドレス）の最後の 6 桁です。

たとえば、BROTHER1PS という名称の PSERVER NLM を使用しているプリント サーバーBRN_310107_P1 を使用するブラザー プリント／ファックス サーバーに、「プリンタ番号 3」を設定するには次のコマンドを入力します。

```
SET NETWARE NPRINTER BROTHER1PS 3 ON BRN_310107_P1
SET NETWARE RESCAN
EXIT
```

- ウェブ ブラウザから TCP/IP プロトコルを使用してプリント／ファックス サーバーに接続し、NetWare プロトコル設定を選択して、リモート プリンタ名を入力することもできます。

NetWare プリント／ファックス サーバー名によって割り当てられる同一のサービスを、キュー サーバーモードとリモート プリンタ モードの両方で使用することはできません。

ここで、いったんファイル サーバー コンソールから PSERVER NLM をアンロードし、設定した内容を反映するために再ロードする必要があります。

その他の情報ソース

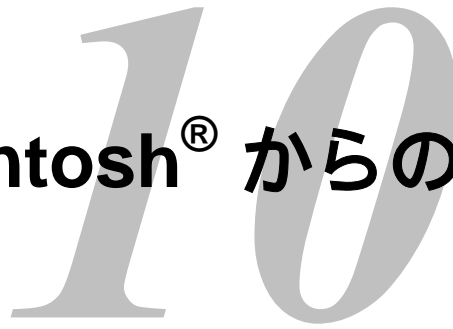
1. プリンタの IP アドレスの設定方法は、この取扱説明書の第 1 章をご参照ください。

第 10 章

Macintosh® からの印刷

第 10 章

Macintosh® からの印刷

10

必要システム

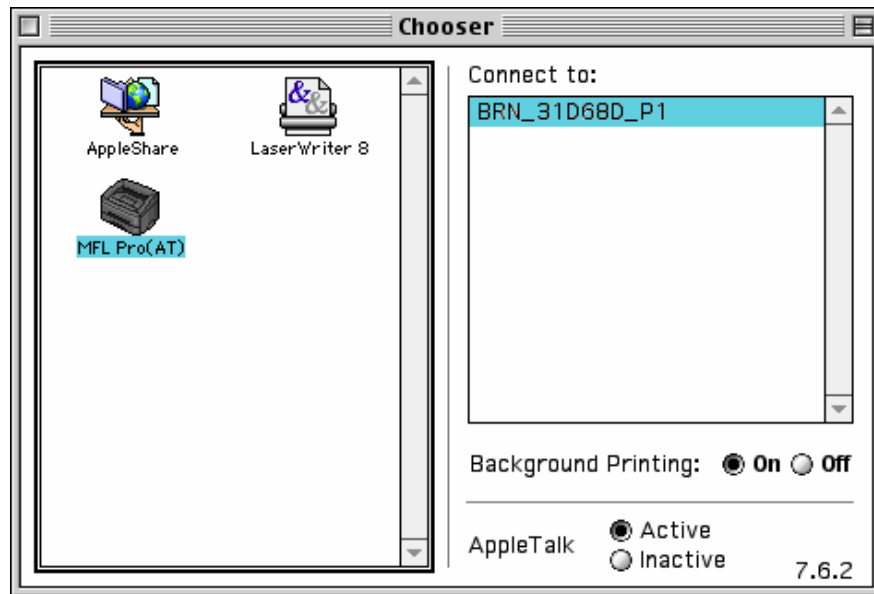
AppleTalk® 接続	
コンピュータ	Ethernet ポート標準搭載の Power Macintosh®
RAM	32MB 以上 (64MB 以上を推奨)
OS	Mac OS 8.6 - 9.2
	Open Transport 1.3 以上

プリンタドライバのインストール

1. Macintosh®起動後、MFC に同梱の CD-ROM を CD ドライブに挿入してください。
2. "MFL ProJ Installer"のアイコンをダブルクリックしてください。
3. 画面に表示される指示に従ってインストールを開始してください。

プリンタドライバの選択

プリンタドライバのインストールが終了したら、下記の手順に従いプリンタドライバを選択してください。プリンタドライバが選択されなければ、アプリケーションからの印刷は出来ません。

プリンタの電源を入れます。
Macintosh®が立ち上がったら、アップルメニューからセレクタを選んでください。
接続形式に合致したプリンタドライバのアイコンを選択してください。
AppleTalk®接続の場合は MFL Pro (AT)です。

1. 右のウインドウからプリンタの接続先を選んでください。

AppleTalk®で接続するためには、接続先リストボックスにプリンタの AppleTalk®サービス名が表示されている必要があります。 出荷時の設定は、BRN_XXXXXXP1 です。XXXXXX はプリンタのネットワークカードの MAC アドレス（Ethernet アドレス）の下 6 桁です。

（設定内容リストをプリントアウトすることで、MAC アドレスを調べることができます。詳しくは、ネットワークのクイックセットアップガイドをご覧ください。）

2. 左上のボタンをクリックしてこのダイヤログボックスを閉じてください。

第 11 章

DLC での印刷

Windows® NT®、Windows® 2000 からの印刷

第 11 章

DLC での印刷

Windows® NT®、Windows® 2000 からの印刷

概要

DLC は、Windows® NT® および Windows® 2000 に標準でサポートされているプロトコルです。HewlettPackard の JetDirect カードをサポートするベンダー支給のソフトウェアを付加することにより、別のオペレーティング システム（Windows® 3.x など）で使用することができます。

すぐ使用する場合

1. ネットワーク設定のすべてが記載された設定ページを印刷することができます。 プリント／ファックス サーバーの設定ページの印刷方法は、『クイックネットワークセットアップガイド』 をご参照ください。

DLC プロトコルにはルーティング機能がないため、印刷ジョブを出力するコンピュータとプリント／ファックス サーバー間にルーターを使用することはできません。

Windows® NT®/2000でのDLCの設定

Windows® NT®で DLC を使用するには、まず、DLC プロトコルをインストールする必要があります。

1. Windows® NT® に管理者権限でログインします。 [コントロール パネル] の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。 Windows® 2000 の場合は [ローカル エリア接続] の [プロパティ] を選択します。
2. Windows® NT® 3.5x システムの場合は、[ソフトウェアの追加] を選択します。 Windows® NT® 4.0 システムの場合は [プロトコル] タブをクリックし、[追加] をクリックします。 Windows® 2000 の場合は、[全般] タブの [インストール] をクリックします。
3. [プロトコル] を選択し [OK] を、Windows® 2000 の場合は [追加] をクリックします。 インストールに必要なファイルの格納場所の指定が必要な場合もあります。 Intel ベースのコンピュータの場合は、Windows® NT® CD-ROM の i386 ディレクトリに必要なファイルが格納されています。 Intel ベースのコンピュータでない場合は、Windows® NT® CD-ROM の該当するディレクトリを指定します。 [続行]（3.5x システム）または [閉じる]（4.0 システム）をクリックします。
4. 変更した内容を反映させるため、システムを再起動します。 Windows® 2000 の場合は再起動は不要です。

Windows® 2000でのプリンタ設定

1. Windows® 2000 に管理者権限でログインします。 [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] をクリックします。
2. [プリンタの追加] をクリックします。プリンタ ドライバのインストールが済んでいる場合は、設定を行うプリンタ ドライバをダブルクリックし、[プリンタ] メニューの [プロパティ] をクリックします。次に、[ポート] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックして、手順 6 からの作業を続行し（手順 11～14 を無視）、正しいドライバをインストールします。
3. [次へ] をクリックします。
4. [ローカル プリンタ] を選択します。 [プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする] がオフになっていることを確認します。
5. [次へ] をクリックします。
6. [新しいポートの作成] を選択し、[Hewlett-Packard Network Port] を反転表示にします。
7. [次へ] をクリックします。
8. 使用可能なプリント／ファックス サーバーの MAC アドレス（Ethernet アドレス）のリストが、[カード アドレス] の下の大きなボックスに表示されます。 目的のプリント／ファックス サーバーのアドレスを選択します。 このアドレスは、プリンタの設定ページに記載されています。

プリンタの設定ページを印刷して、ノード名と MAC アドレスを調べることができます。 プリント／ファックス サーバーの設定ページの印刷方法は、『クイックネットワークセットアップガイド』 をご参照ください。

9. 選択したプリント／ファックス サーバーのアドレスが、[カード アドレス] の下の小さなボックスに表示されます。
10. 目的のポートの名称を入力し [OK] をクリックします（この名称は、LPT1 などの既存のポートまたは DOS デバイスであってはなりません）。 次に、[プリンタ ポート] の画面で [次へ] をクリックします。
11. 必要なドライバを選択し、[次へ] をクリックします。
12. プリンタの名称を入力し、DOS アプリケーションから印刷するかどうかを指定します。 [次へ] をクリックします。
13. このプリンタを共有する場合は、共有名を指定します。
14. 場所とコメントを入力し、「プリンタの追加ウィザードを完了しています」の画面が表示されるまで、[次へ] をクリックします。
15. [完了] をクリックします。

Windows® NT® 4.0でのプリンタの設定

Windows® NT® に管理者権限でログインします。[スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] をクリックします。

1. [プリンタの追加] をクリックします。プリンタ ドライバのインストールが済んでいる場合は、設定を行うプリンタ ドライバをダブルクリックし、[プリンタ] メニューの [プロパティ] をクリックします。次に、[ポート] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックして、手順 4 からの作業を続行し（手順 9～11 を無視）、正しいドライバをインストールします。
2. [このコンピュータ] を選択し、[次へ] をクリックします。
3. [ポートの追加] をクリックします。
4. [Hewlett-Packard Network Port] を選択し、[新しいポート] をクリックします。
5. 使用可能なプリント／ファックス サーバーの MAC アドレス（Ethernet アドレス）のリストが、[カード アドレス] の下の大きなボックスに表示されます。 目的のプリント／ファックス サーバーのアドレスを選択します。 このアドレスは、プリンタの設定ページに記載されています。

プリンタの設定ページを印刷して、ノード名と MAC アドレスを調べることができます。 プリント／ファックス サーバーの設定ページの印刷方法は、『クイックネットワークセットアップガイド』 をご参照ください。

6. 選択したプリント／ファックス サーバーのアドレスが、[カード アドレス] の下の小さなボックスに表示されます。
7. 目的のポートの名称を入力し [OK] をクリックします（この名称は、LPT1 などの既存のポートまたは DOS デバイスであってはなりません）。 次に、[プリンタ ポート] の画面で [閉じる] をクリックします。
8. 上の手順で選択した名称が、使用可能ポートのリストにチェックの印付きで表示されます。 [次へ] をクリックします。
9. 必要なドライバを選択し、[次へ] をクリックします。
10. プリンタの名称を入力します。 必要に応じ、このプリンタを通常使うプリンタに設定します。
11. [共有する] または [共有しない] を選択します。 共有する場合は、共有名と使用するオペレーティング システムを指定します。
12. テスト ページを印刷するかどうかを選択し、[完了] をクリックします。

Windows® NT® 3.5x での設定

1. Windows® NT® の [メイン] グループで、[印刷マネージャ] アイコンをダブルクリックします。
2. [プリンタ] メニューの [プリンタの作成] をクリックします。
3. [プリンタ名] ボックスにプリンタ名を入力します。
4. [ドライバ] メニューで、目的のプリンタのモデルを選択します。
5. [印刷先] メニューで [その他] を選択します。 V3.1 システムの場合は [ネットワーク プリンタ] を選択します。
6. [Hewlett-Packard Network Port] をクリックします。
7. ポート名を入力します。 この名称は LPT1 などの既存のポートまたは DOS デバイスであってはなりません。
8. [カード アドレス] メニューに、使用可能なプリント／ファックス サーバーの MAC アドレス（Ethernet アドレス）が表示されます。 目的のアドレスを選択します（この Ethernet アドレスは、プリンタ設定ページに記載されています）。

プリンタの設定ページを印刷して、ノード名と MAC アドレスを調べることができます。 プリント／ファックス サーバーの設定ページの印刷方法は、『クイックネットワークセットアップガイド』 をご参照ください。

9. [OK] をクリックします。
10. このプリンタを共有する場合は、[ネットワークでプリンタを共有する] をクリックします。
11. [OK] をクリックします。
12. 必要なプリンタ オプションを選択し、[OK] をクリックします。

他のシステムでのDLCの設定

他のネットワーク システムで DLC を使用するには、一般に、サード パーティ製のソフトウェアが必要です。 そのようなソフトウェアは、通常ブラザー プリント／ファックス サーバーをサポートしています。 システムへの DLC プロトコルのインストール方法は、ソフトウェア製造元のマニュアルをご参照ください。

プロトコルのインストールが終了したら、前のセクションの Windows® NT® の場合と同様にして、ネットワーク ポートを作成します。 プリント／ファックス サーバーの MAC アドレス（Ethernet アドレス）は、設定作業中に自動的に表示されます。

最後の手順は、通常のオペレーティング システムでのプリンタ設定方法でプリンタを作成することです。 プリンタを LPT1 パラレル ポートに接続するのではなく、作成したネットワーク ポートに接続する点だけが異なります。

プリンタを大量に又は容量の大きなものを印刷する場合、ブラザーでは DLC プロトコルを Windows® for Workgroup 3.11 と共にピア ツー ピア構成で使用することはお勧めしません。これは、ジョブがプリント スプーラのタイムアウトにより拒否されてしまう場合があるためです。こうした状況における最良の解決法は、1 台のパソコンをネットワーク印刷ジョブを処理するためのサーバーとして構成することです。他のすべてのパソコンはそれぞれの印刷ジョブをサーバー パソコンへ NetBEUI または TCP/IP を使用して送り、サーバー パソコンは DLC を使用して印刷ジョブをブラザー プリント/ファックス サーバーへ送ります。

第 12章

トラブルシューティング

第 12 章

12

トラブルシューティング

概要

この章では、ブラザー プリント/FAX サーバーの使用上発生する可能性のある問題と、その解決方法について説明します。 この章は次のセクションで構成されています。

1. インストールについての問題
2. 時折発生する問題
3. プロトコル固有の問題
4. I-FAX のトラブルシューティング

インストールについての問題

ネットワークを通じて印刷することができない場合は、次の項目をチェックします。

1. プリンタの電源がオンで、オンラインであり、印刷できるようになっていることを確認します。
   設定情報を印刷し、プリンタとその設定が正しいことを確認します。プリント/FAX サーバーの設定情報の印刷方法は、『NC-8100ｈクイックネットワークセットアップガイド』 をご参照ください。 設定情報が印刷されない場合は、次の項目をチェックします。
   a. プリンタのフロント パネルにあるアラーム LED が点灯または点滅し、背面パネルの UTP（イーサネット）コネクタの近くにある LED がすべて消灯しているか、オレンジ色の（F）LED が点滅している場合は、ネットワーク ファームウェアに異常のある可能性があります。
   b. この場合は、プリンタの背面パネルにある「TEST」スイッチを 5 秒間以上押し、プリント/FAX サーバーの工場出荷時のデフォルト設定にリセットしてみます。 その後で、プリンタの電源を入れ直し、設定ページを印刷してみます。
2. 設定情報は印刷できるのに通常のドキュメントが印刷できない場合は、次の手順を実行します。

次のどの手順を実行しても印刷できない場合は、ハードウェアまたはネットワークに問題があると考えられます。

a. **TCP/IP を使用している場合**
ホスト オペレーティング システムから次のコマンドを実行し、プリント/FAX サーバーへのpingを行ってみます。

Ping ipaddress

ipaddressはプリント/FAX サーバーのIPアドレスです。 プリント/FAX サーバーにIPアドレスがロードされるまでに、IPアドレスの設定後最大2分間かかることがあります。 応答が正しく返される場合は、UNIX、TCP/IP Windows NT/LAN Server (TCP/IP)、Windows98/95/Me ピアツーピア印刷（LPR）、インターネット印刷、またはウェブ ブラウザのトラブルシューティングのセクションに進みます。 応答が返らない場合は、手順3に進み、次にTCP/IPトラブルシューティングのセクションに進みます。

b. **Novell システムを使用している場合**
ネットワーク上にプリント/FAX サーバーが存在しているかどうかをチェックします。 SUPERVISOR（スーパバイザ権限のあるユーザーではない）またはADMIN（Netware 4以降のサーバーの場合）としてログインし、PCONSOLEまたはNWADMINを実行し、[PRINT SERVER INFORMATION（プリント/FAX サーバー情報）] を選択し、プリント サーバーの名称を選択します。 このプリント サーバー名が前に入力した名称であることを確認します。 [Print Server Status and Control（プリント/FAX サーバーのステータスと制御）] がメニューに表示されている場合は、ブラザー プリント/FAX サーバーがネットワークから認識されています。 Novel NetWareのインストールのトラブルシューティングのセクションに進みます。 それ以外の場合は手順3に進みます。

c. **Apple Talk を使用している場合**
[セレクタ] の [HL-1200/MFL-Pro] アイコンの下にプリント/FAX サーバー名が表示されていることを確認します。 表示されている場合は正しく接続されています。 Apple Talk for Macintoshのセクションに進みます。 表示されていない場合は手順3に進みます。

3. 手順 2 で接続できなかった場合は、次の項目をチェックします。
   a. プリンタの電源がオンで、オンラインになっていることを確認します。
   b. 接続ケーブルとネットワークとの接続をチェックし、設定ページを印刷します。 <Network Statics>セクションに<Bytes Transmitted>でデータがあるかどうかを調べます。
   c. LED の表示をチェックします。

   NC-3000/4000シリーズのプリント/FAX サーバーには3個のLEDがあります。 このLEDを使用して、問題の診断を行うことができます。

   - L- LED（緑色）ー接続状態の表示
     このLEDは、ネットワークとの接続が有効である場合に点灯します（10BaseTまたは100BaseTX）。 ネットワークと接続されていない場合は消灯します。
   - F-LED（オレンジ色）ー接続状態の表示
     このLEDは、プリント/FAX サーバーが100BaseTX Fast Ethernetネットワークと接続している場合に点灯します。 プリント/FAX サーバーが10BaseTネットワークと接続している場合には消灯します。
   - A- LED（緑色）ー送受信状態の表示
     このLEDは送受信状態と同期して点滅します。

4. リピータまたはハブを使用している場合は、そのリピータまたはハブの SQE（ハートビート）をオフにしてください。 また、他のハブをお持ちか、またはリピータマルチポートの場合は、プリント/FAX サーバーを別のポートや他のハブまたはリピータで試し、元の接続ポートが機能していたかどうかをチェックします。
5. プリント/FAX サーバーとホスト コンピュータとの間にブリッジまたはルーターが存在する場合は、ホストからプリント/FAX サーバーへのデータの送受信ができるように設定されていることを確認します。例えば、ブリッジは特定のイーサネットアドレスのデータだけが通過できるように設定されていることがあり（フィルタリング）、そのような場合にはブラザー プリント/FAX サーバーのアドレスが含まれるように設定する必要があります。 また、ルーターは特定のプロトコルだけを通過させるように設定されていることがあり、プリント/FAX サーバーで使用するプロトコルが通過できるように設定されていることを確認する必要があります。
6. 印刷ジョブがキューを出ているのに印刷されない場合は、テキストジョブを PostScript プリンタに出力していないかどうかをチェックします。 自動言語切り換え機能のあるプリンタを使用している場合は、プリンタが強制的に PostScript モードに切り換えられていないかどうかをチェックします。

時折発生する問題

時々プリント/FAX サーバーとプリンタに問題が発生する場合は、次の項目をチェックします。

1. サイズの小さなジョブの印刷には問題がないのに、サイズの大きなグラフィック ジョブの印刷品質に問題があったり不完全に印刷される場合は、プリンタに搭載されているメモリの量や、最新のプリンタドライバがコンピュータにインストールされているかどうかをチェックします。 プリンタの最新ドライバは、http://solutions.brother.co.jpからダウンロードできます。
2. その他、時折発生する問題の原因は、この章の各プロトコルのトラブルシューティングのセクションをご参照ください。

TCP/IPのトラブルシューティング

ハードウェアとネットワークのチェックでは問題がないにも関わらず、TCP/IP を使用してプリント/FAX サーバーに正しく印刷出力を行うことができない場合は、次の項目をチェックします。

設定エラーの可能性を除去するため、まず、次の手順を実行することをお勧めします。

プリンタの電源を入れなおす。
セットアップ エラーの可能性を除去するため、オペレーティングシステム上のプリント/FAX サーバー設定を削除して作成し直し、新しい印刷キューを作成する。

1. IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生することがあります。プリント/FAX サーバーに IP アドレスが正しくロードされていることを確認します（設定ページを印刷）。 ネットワーク上のノードで、このアドレスが使用されていないことを確認します。 TCP/IP 印刷の問題で最も多い原因は IP アドレスの重複です。
2. IP アドレスの入力に、TELNET、BRCONFIG、NCP、ccr を使用した場合は、<CTRL>+<D>キーを押すか EXIT コマンドを入力して正しくリモート コンソールを終了していること、およびプリンタの電源を入れ直したことを確認します。 IP アドレスのロードには設定後最大 2 分間程度かかることがあります。
3. TCP/IP プロトコルがプリント/FAX サーバーで使用されるように設定されていることを確認します。
4. rarp を使用した場合は、ワークステーションで、rarpd、rarpd-a、または等価のコマンドを使用して rarp デーモンを起動していることを確認します。 /etc/ethers ファイルに、正しいイーサネットアドレスが記述されていること、プリント/FAX サーバー名が/etc/hosts ファイル内の名称と一致していることを確認します。
5. bootp を使用した場合は、ワークステーションで bootp デーモンを起動し、/etc/bootptab ファイルが正しく設定され（エントリから # が削除されているなど）、bootp が有効になっていることを確認します。
6. また、ホスト コンピュータとプリント/FAX サーバーが、どちらも同じサブネット上に存在すること、サブネットが異なる場合は、両デバイス間でのデータの送受信が行えるようにルーターが設定されていることを確認します。

UNIXのトラブルシューティング

1. /etc/printcap ファイルを使用する場合は、そのファイルが正しく記述されていることを確認します。 特にコロン（:）やバックスラッシュ（\）文字が脱落していないかどうかをチェックします。 このファイルでは小さなエラーが重大な結果を生じます。/usr/spool ディレクトリをチェックし、有効なスプール ディレクトリが作成されていることを確認します。
2. Linux オペレーティング システムを使用している場合は、Linux に含まれている X-Window 印刷ツール プログラムで、lpd 操作用の etc/printcap ファイルが正しく設定されていない場合があります。 その場合は、etc/printcap ファイルを編集し、次のプリンタのエントリ行を編集します。

   エントリが、次の場合
   :lp = /dev/null: ￥
   次のように変更します。
   :lp = :￥

3. Berkeley ベースの UNIX を使用している場合は、そのシステムで lpc start printer コマンドを使用してデーモンが起動されていることを確認します。 この printer はローカル プリンタ キューの名称です。
4. AT&T ベースの UNIX を使用している場合は、プリンタが有効になっていることを確認します。 コマンドは enable printer で、printer はローカル プリンタ キューの名称です。
5. ホスト コンピュータ上で、lpr/lpd リモート ライン プリンタ サービスが実行されていることを確認します。 このサービスの実行方法の詳細は、ホスト コンピュータのマニュアルをご参照ください。
6. 一度に複数のジョブを印刷する際に問題が発生する場合は、TELNET や BRConfig の SET IP TIMEOUT コマンド または BRAdmin Professional やウェブブラウザを使用して、IP タイムアウトの値を増やしてみてください。
7. テキスト ジョブと PCL ジョブを同時に実行する場合は、サービス（リモート プリンタ）の EOT を文字列番号 2（<ESC>E）に設定してみてください。 例を次に示します。

   SET SERVICE BRN_xxxxxx_P1 EOT 2

8. PostScript ジョブの同時実行が正しく行われない場合は、サービス（リモート プリンタ）の EOT を文字列番号 3（<Ctrl>+<D>）に設定してみてください。 例を次に示します。

   SET SERVICE BRN_xxxxxx_P1 EOT 3

9. テキスト ファイルの行が不揃いになる場合は、/etc/printcap ファイルのリモート プリンタ（rp）名が TEXT に指定されているかどうかをチェックします。
10. Sun Solaris V2.4 以前には、プリント/FAX サーバーを使用して長い印刷ジョブを実行するとエラーが発生するバグがあります。 長い印刷ジョブ（1MB 以上）を実行するとエラーが発生する場合は、etc/printcap ファイルのエントリとして行 mx#0 を追加します。
11. DEC TCP/IP Service for VMS (UCX) から印刷を行うことができない場合は、使用しているバージョンが 2.0B 以降であるかどうかを調べます。 これ以前のバージョンでは、ブラザー プリント/FAX サーバーは正しく動作しません。

Windows NT/LAN Server (TCP/IP) のトラブルシューティング

Windows NT または LAN Server での印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. Windows NT システムまたは LAN Server ファイル サーバーに、TCP/IP および TCP/IP 印刷サービスがインストールされ、実行されていることを確認します。
2. DHCP を使用するなどして、プリント/FAX サーバーの IP アドレスが確定していない場合は、[LPD を提供しているサーバーの名称またはアドレス:] ボックスに、プリント/FAX サーバーの NetBIOS 名を入力します。

Windows 95/98/Me ピアツーピア 印刷（LPR）のトラブルシューティング

Windows 95/98/Me でのピアツーピア（LPR）印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアが正しくインストールされ、第 3 章の説明に従って正しく設定されていることを確認します。

ブラザーピアツーピア（LPR）ソフトウェアのインストールの際に、ポート名を入力する画面が表示されないことがあります。 Windows 95/98/Me コンピュータで、この現象が発生することがあります。 その場合は、<ALT>+<TAB>キーを押すと表示されます。

Windows 95/98/MeでのHP JetDirect Port印刷のトラブルシューティング

Windows 95/98/Me での HP JetDirect Port 印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. Windows 95/98/Me にインストールされた JetAdmin の下に、ブラザープリント/FAX サーバーが表示されまない場合は、次の手順でソフトウェアを再インストールします。

   - まず[コントロールパネル]の[ネットワーク]から、IPX/SPX 互換プロトコル（または、JetAdmin の最近のバージョンを使用している場合は TCP/IP プロトコル）、Microsoft ネットワーク クライアント、およびネットワーク アダプタ カード ドライバをインストールします。
   - 最新の HP JetAdmin ソフトウェアをインストールします。
   - システムを再起動します。

Windows 95/98/Me/NT 4.0 ピアツーピア印刷（NetBIOS）のトラブルシューティング

Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000 のピアツーピア ネットワーク（NetBIOS）での印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアが正しくインストールされているか、第 4 章 NetBIOS ピアツーピア印の章の説明に従って正しく設定されていることを確認します。 ソフトウェアのインストールの際に、ポート名を入力する画面が表示されないことがあります。 Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000 コンピュータで、この現象が発生することがあります。 その場合は、<ALT>+<TAB>キーを押すと表示されます。
2. プリント/FAX サーバーが、ネットワーク内のコンピュータと同じワークグループまたはドメインに所属するように設定されていることを確認します。 プリント/FAX サーバーが「ネットワークコンピュータ」として表示されるまでに、数分かかることがあります。

ブラザー インターネット印刷のトラブルシューティング

1. 送信側のコンピュータから受信側のプリント/FAX サーバーに電子メールを送信できるかどうかを確認してください。 プリント/FAX サーバーと同じリモート サイトのユーザーに、送信側コンピュータから電子メールを送信してみます。 これが正しく実行できなければ、送信側コンピュータ、送信側の電子メール サーバー、または受信側のリモート POP3 サーバーの電子メール設定に問題があります。送信側コンピュータとリモート プリント/FAX サーバーの電子メール パラメータが、電子メール サーバーに設定されているパラメータと一致しているかどうかを再チェックします。

   小さなファイルの印刷には問題がなく大きなファイルの印刷に問題がある場合は、おそらく電子メール システムに原因があります。 電子メール システムによっては、大きなファイルの印刷時に問題の発生するものがあります。 ファイルが宛先に届かない場合も、電子メール システムに原因があると考えられます。このような場合には、送信側コンピュータで分割メール機能を使用することができます。 この機能を使用すると、電子メールが細かく分割して処理されるため、ほとんどの電子メール サーバーで処理することができます。 この機能の設定は、ブラザー インターネット印刷の [ポートの設定] 画面で行います。

Windows 95/98/Me/2000のFTPのトラブルシューティング

ポート番号を 631 以外の番号に変更する

IPP 印刷にポート 631 を使用すると、印刷データがファイアウォールを通過できない場合があります。 このような場合には、ポート番号を変更するか（ポート 80 など）、ポート 631 を使用できるようにファイアウォールの設定を変更します。
ポート 80（標準 HTTP ポート）を使用するプリンタに、IPP を使用して印刷ジョブを送信する場合、Windows 2000 システムでの設定時に、次のデータを入力します。

http://ip_address/ipp

Windows 2000 での［詳細］オプションが使用できない

http://ip_address:631/ipp の URL を使用している場合は、Windows 2000 での [詳細] オプションは使用できません。 [詳細] オプションを使用するには、次の URL を使用してください。

http://ip_address:631 or http://ip_address:631/ipp, the “Get More Info” option in Windows 2000 will not function. If you wish to use the “Get More Info” option use the following URL:

http://ip_address

これで、Windows 2000 とブラザー プリント/FAX サーバーとの通信にポート 80 が使用できます。

Windows 95/98/Me クライアントが Windows 2000 システムからドライバを取得できない

クライアント コンピュータで、バージョン 4.0 以降の Internet Explorer を使用し、Microsoft インターネット印刷サービス ソフトウェアがインストールされているかどうかをチェックします。

Novell NetWareのトラブルシューティング

ハードウェアとソフトウェアのチェック（前述）に問題がないにも関わらず、NetWare から印刷を行うことができない場合は、ブラザー プリント/FAX サーバーがサーバー キューに接続されているかどうかを確認します。PCONSOLE を実行し、[PRINT QUEUE INFORMATION（印刷キュー情報）] を選択して、[CURRENTLY ATTACHED SERVERS（現在接続しているサーバー）] を選択します。 プリント/FAX サーバーが接続先サーバーのリストに表示されていない場合は、次の項目をチェックします。

設定エラーの可能性を除去するため、まず、次の手順の実行をお勧めします。
- プリンタの電源を入れ直すことで、強制的に Netware キューのスキャンを実行する。
- セットアップ エラーの可能性を除去するため、プリント/FAX サーバーを削除して再作成し、新しい印刷キューを作成する。

1. ログイン パスワードを変更した場合は、ブラザー プリント/FAX サーバーとファイル サーバーの両方のパスワードを変更する必要があります。 プリント/FAX サーバーのパスワードは、BRConfig ソフトウェアの SET NETWARE PASSWORD コマンドを使用するか、ウェブ ブラウザまたは BRAdmin Professional を使用して変更します。 ファイル サーバーのパスワードは、PCONSOLE のプリント/FAX サーバー情報パスワード変更コマンドを使用して変更します。
2. 印刷キューの作成に BRAdmin Professional ではなく PCONSOLE を使用した場合は、少なくとも 1 つのファイル サーバーを SET NETWARE SERVER servername ENABLED コマンドを使用して有効にしたかどうかを確認します。
3. NetWare のユーザー制限を超えていないかどうかをチェックします。
4. PCONSOLE で使用したプリント/FAX サーバー名が、プリント/FAX サーバーに設定されている名称と完全に一致しているかどうか、また、印刷キューのキュー サーバーとして定義されているかどうかを確認します。
5. ネットワーク上の別々のサーバーで、802.3 と Ethernet II フレームの両方を実行している場合は、プリント/FAX サーバーと目的のサーバーが接続できないことがあります。 プリント/FAX サーバーのリモート コンソールから SET NETWARE FRAME コマンドを使用するか BRAdmin Professional を使用して、フレームの種類を強制的に 1 つにしてください。
6. DOS CAPTURE ステートメントを使用しているときに、印刷ジョブの一部が失われる場合は、CAPTURE ステートメントの TIMEOUT パラメータの値を大きくしてみてください（Windows の場合は 50 秒以上）。

AppleTalkのトラブルシューティング

ハードウェアとソフトウェアのチェック（前述）に問題がないにも関わらず、Macintosh コンピュータの AppleTalk から印刷を行うことができない場合は、次の項目をチェックします。

1. Phase 2 AppleTalk が実行されていて、Macintosh の [ネットワーク コントロール パネル] でネットワーク インターフェイスが正しく選択されていることを確認します。

2. AppleTalk プロトコルがプリント/FAX サーバーで使用されるように設定されていることを確認します。

3. 大規模ネットワークの場合は、Laser Writer V8.xx または等価のドライバがインストールされていることを確認します。 以前のバージョンでは PostScript エラーの原因となることがあります。 [セレクタ] の [設定] ボタンで [プリンタ情報] を選択したときに、プリンタ情報が正しく表示されるかどうかを確認します。

4. [セレクタ] で Printer Description File（PPD）が正しく選択されていることを確認します。 PPD が正しくないと PostScript エラーの原因となります。

5. AppleTalk ゾーンが正しく選択されているかどうかをチェックします。プリント/FAX サーバーはルーターのブロードキャストからゾーン情報を取得するため、その情報が目的のゾーンでない場合があります。その場合は、プリント/FAX サーバーが [セレクタ] に表示されません。このような場合には、BRAdmin Professional、ウェブ ブラウザ、または TELNET.BRAdmin の SET APPLETALK ZONE コマンドを使用して、ゾーン名を強制的に割り当てる必要があります。

6. プリント/FAX サーバーへの印刷に必要な Laser Prep バージョンが、すべての Macintosh コンピュータで同一であることを確認します。

DLC/LLCのトラブルシューティング

DLC/LLC での印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. BRAdmin Professional、ウェブ ブラウザ、または TELNET を使用して、DLC/LLC プロトコルが有効になっていることを確認します。

2. インサツソフトウェアに設定してある MAC アドレスが、印刷設定ページのものと一致していることを確認します。

I-FAXのトラブルシューティング

1. 送信の際のエラーにより、文書が正しく届けられなかった場合はメールサーバーはエラーメッセージを返信します。エラーメッセージは FAX/MFC によりプリントアウトされます。
2. 「サポートシテイナイ　データケイシキ」のメッセージが印字された場合、受信したメールがテキスト形式でなかった、TIFF-F ファイル以外の添付であった、またはデジタル署名が含まれていたかが考えられます。これらのデータは受けられませんので、送信側で設定を変更してください。また、HTML 形式のデータは受信できません。ＭＦＣが受信できるのはテキスト形式のメールに TIFF-F が添付されている形式のみです。
3. 受信側のメールシステムが MIME 形式をサポートしてない場合はファクス文書は正しく送られません。メールサーバーもエラーメッセージを返さないことがありますのでご注意ください。
4. メール文書の容量があまりにも大きい場合、ネットワークの管理者がメールサーバーに１メールあたりの容量制限や添付ファイル制限を設けていた場合、正しく送受信できないことがあります。その場合は文書を分割して送信する必要があります。
5. メールを受信できない場合はポーリング（メールを定期的に確認する設定）が正しく設定されているか、POP サーバーの設定が正しいかをご確認ください。
6. メールを受信できない場合、POP3 設定やメールボックス名、パスワードが正しいかをご確認ください。大文字、小文字は区別されますのでご注意ください。
7. リレー配信が正しく行えない場合、リレー配信の設定（特に中継側で許可ドメインの登録）がきちんと出来ているかをご確認ください。
8. リレー配信機能とファクス転送機能は同時に使用できません。
9. リレー配信機能で同報できる配信先は最大 48 件までです。配信先がこれよりも多い場合は分割してお送りください。
10. MFC が POP サーバーから一度に取得できるメール数は 32 件です。それ以上のメールが存在する場合、取得されずにサーバーに残ったメールは次回のポーリング時に取得されます。
11. NC-8100h プリント/FAX サーバーは、本体メモリの一部を使用して動作します。一度に送信またはメモリ受信できる文書数に若干影響することがありますのでご了承ください。

ウェブ ブラウザのトラブルシューティング

1. ウェブ ブラウザを使用してプリント/FAX サーバーに接続できない場合は、ブラウザのプロキシの設定をチェックしてください。 プロキシを使用しない設定をチェックし、必要ならプリント/FAX サーバーの IP アドレスを入力します。 これで、プリント/FAX サーバーの接続時に、毎回、コンピュータが ISP やプロキシ サーバーへの接続を試行することはなくなります。

2. 使用しているブラウザが適当かどうかをチェックします。 Netscape Navigator バージョン 4.0 以降または Microsoft Internet Explorer バージョン 4.0 以降の使用をお勧めします。

第 13章

ネットワーク PC ファクス

ネットワーク PC ファクス ソフトウエアの インストールと 使用方法

第 13 章

13

ネットワーク PC ファクス

ネットワーク PC ファクス
ソフトウエアのインストールと
使用方法

概要

ネットワーク PC ファクスを使えばどのようなアプリケーションからもプリンタに印刷する感覚（アプリケーションから印刷を実行、Brother PC -FAX ドライバを選択すると PC FAX ウインドウが立ち上がってきます）で MFC から通常のファクス機器に文書を送信できます。送付書をつけることも可能で、PC 上で送付先の電話帳を管理できるので非常に便利です。

クイックガイド

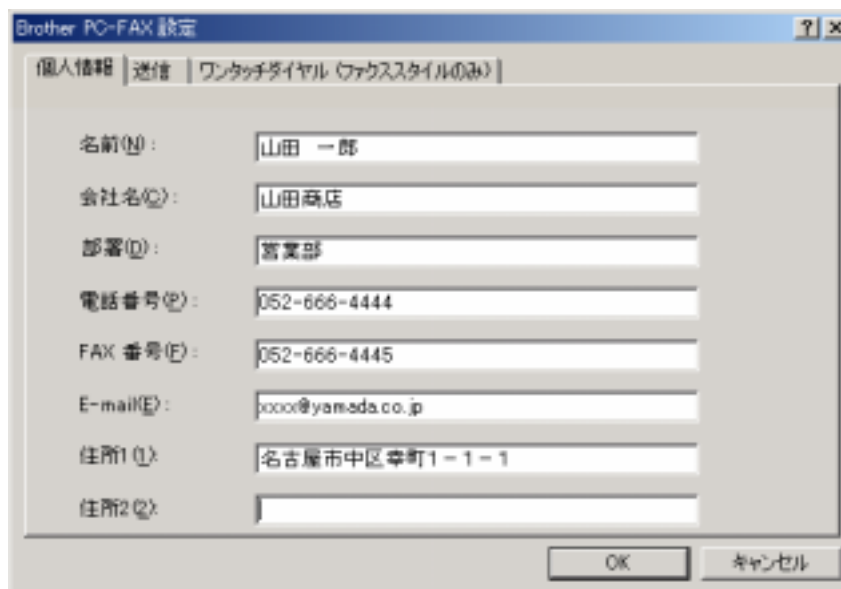
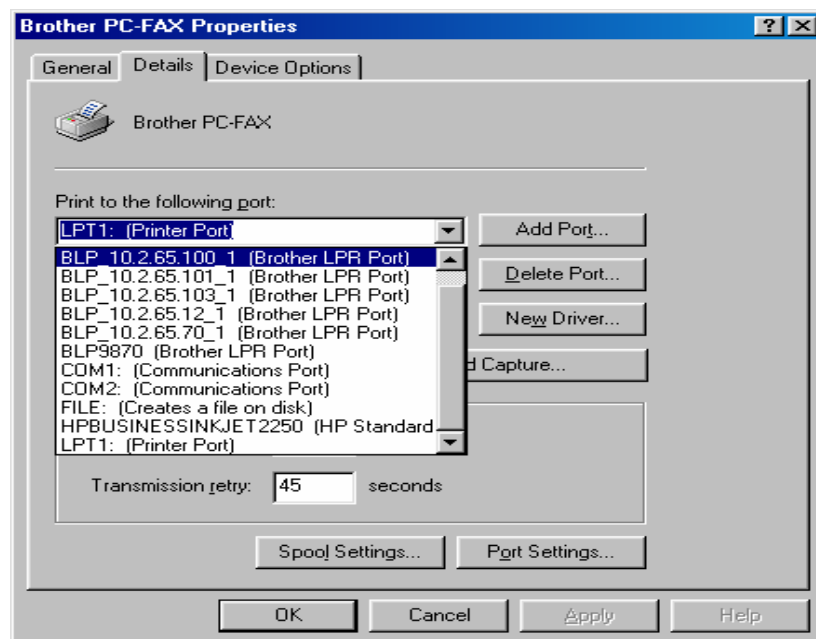
1. PC FAX ウインドウの設定メニューの送信タブでネットワーク PC-FAX が「使用する」になっていることを確認してください。
2. ファクス文書を E メールとして PC へ送信する場合は送信先の欄にメールアドレスを入力する（又は予めメールアドレスを設定した電話帳からメンバを選択する）ことで送信可能です。
3. ファクス文書をインターネットファクス機器へ送信する場合は送信先の欄に MFC の E メールアドレスを入力する（又は予めメールアドレスを設定した電話帳からメンバを選択する）ことで送信可能です。
4. ネットワーク PC ファクスを使用して通常の FAX 機器に電話線を通じてファクスを送信するには送信先の欄に送付先の FAX 番号を入力してください（又は予め FAX 番号を設定した電話帳からメンバを選択する）。

ネットワークPCファクスのインストール

重要な情報
インストーラが自動的に起動しない場合はスタートメニュから「ファイル名を指定して実行」を選び「X:￥setup.exe」（XはＣＤドライブのドライブレター）と入力して実行してください。

MFC 同梱の CD-ROM を CD ドライブに挿入すると自動的にインストーラが起動します。
次に、バンドルソフトウエア、ネットワークボード(NC-8100h)用ソフトウエアの順に選択します。その後ネットワーク PC FAX を選択します。インストールが終了後、画面の指示に従って再起動してください。

もう一度 MFC 同梱の CD-ROM を CD ドライブに挿入し自動的にインストーラを立ち上げます。次に、バンドルソフトウエア、ネットワークボード(NC-8100h)用ソフトウエアの順に選択します。その後ネットワークプリントソフトウエアを選択します。インストール中に NC-8100h の IP アドレスを要求されますので入力してください。不明な場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

注意：MFC をネットワークプリンタとして既に使用している場合はネットワークプリントソフトウエア は既に導入済みですのでここでのインストールの必要ありません。

スタートメニュより、設定→プリンタと選択して、その中の Brother PC FAX ドライバアイコンを右クリックで選択し、プロパティを選んでください。
ウインドウが開いたら「詳細」タブをクリックしてください。（OS によって若干異なります。Windows®2000 ではポートタブです。）

上記の 「印刷先のポート （OS によっては表現が若干異なります）」の中に Brother LPR Port が既に存在する場合、これを使用するポートとして設定できます。複数の Brother LPR Port が存在する場合は、IP アドレスの正しいものを選択してください（不明の場合は管理者にお尋ねください）。正しいものが存在しない場合は「ポートの追加」から Brother LPR Port を追加し、正しい IP アドレスを割り当ててください。

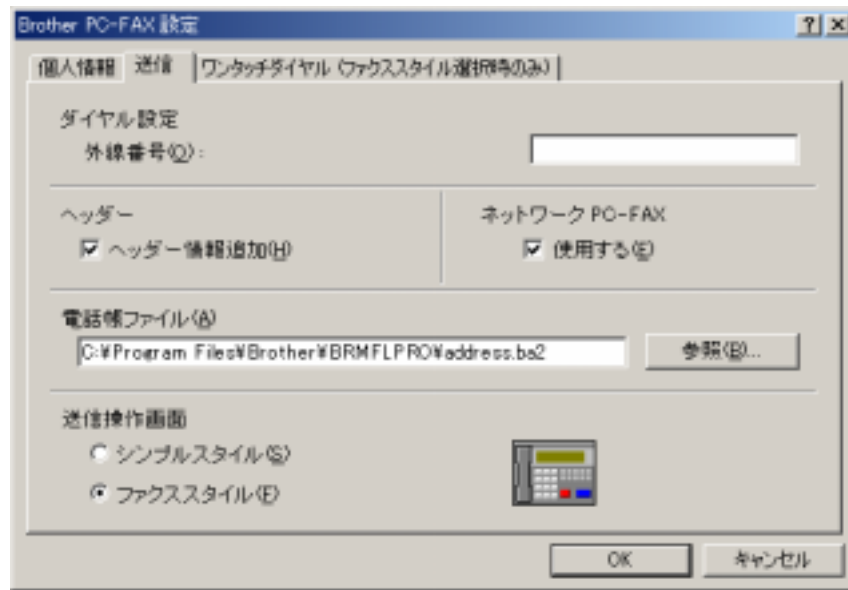
個人情報の登録

1. スタートメニューから[プログラム]→[Brother]→[Brother MFL-Pro J]→[PC-FAX 設定]の順にたどるか PC FAX 送信時のダイヤログボックスでアイコンをクリックし、PC-FAX 設定ダイヤログボックスを開きます。

2. 各欄に個人情報の入力を完了してください。
   この情報は送付書やファクスのヘッダを印刷するときに必要です。

3. OK ボタンを押して登録します。

送信情報の設定

下記送信タブから送信時の設定が出来ます。

重要な情報
ネットワーク PC ファクスを使用するにはネットワーク PC FAX チェックボックスがチェックされた状態になっている必要があります。

このソフトウエアは USB やパラレルポートで PC に接続されている場合と LAN 環境でネットワーク経由で PC に接続されている場合での使用が想定されています。ネットワーク PC ファクス機能を使用するためには必ずネットワーク PC-FAX チェックボックスがチェックされた状態であることを確認してください。

ヘッダのチェックボックス（ヘッダー情報追加）をチェックすると、個人情報や件名の入ったページもあわせて送信します。

外線番号が必要な場合はダイヤル設定に入力してください。

PC-FAX には下記二種類のインターフェースが用意されています。

ファクススタイル

電話帳の保存先は PC が通常アクセス可能な範囲でどこでも設定できます。ネットワーク共有フォルダを指定しておくと、ひとつの電話帳を複数のユーザで共有することができます。保存先がローカルドライブだと、電話帳の管理を個別に行うことができます。

シンプルスタイルからPCファクスを送信する

1. WORD や EXCEL などのアプリケーションで文書を作成してください。
2. ファイルメニューから「印刷」を選んでください。
3. 下記のウインドウが開きます。

4. ドロップダウンリストから Brother PC FAX を選択し、OK を押してください。
5. 下記の FAX 送信ウインドウが開きます。

6. 送信先のフィールドに直接送付左記のファクス番号やアドレスを入力するか、送信先ボタンをクリックして電話帳から送付先のメンバを選択してください。消去ボタンでフィールド内を消去できます（電話帳、グループについては後述）。
7. 送付書を添付するには **送付書使用**チェックボックスをチェックしてください。
8. （送信）アイコンをクリックして送信します。
9. （キャンセル）アイコンで送信をキャンセルできます。

ファクススタイルからPCファクスを送信する

1. WORD や EXCEL などのアプリケーションで文書を作成してください。

2. ファイルメニューから「印刷」を選んでください。

3. 下記のウインドウが開きます。

4. ドロップダウンリストから Brother PC FAX を選択し、OK を押してください。

5. 下記のいずれかの方法で送信先を入力してください。
   a. テンキーまたはウインドウのダイヤルパッドを使用して番号の入力。
   b. ワンタッチダイヤル（予め登録が必要）をクリック。
   c. 電話帳ボタンをクリックしてメンバまたはグループを入力する（登録方法は後述）。

消去ボタンで入力を取り消すことが出来ます。

6. 送付書をあわせて送付する場合、**送付所使用を**クリックしてください。（カバーページは作成できます）

7. 送信ボタンをクリックして送信します。.

8. 送信をキャンセルする場合は中止ボタンを押してください。

再ダイヤル:
再ダイヤルキーで最近ファクスを送った 5 名までを呼び出せます。

電話帳

スタートメニュから[プログラム]→[Brother]→[Brother MFL Pro J]→[電話帳]を選択することでアドレス帳ダイヤログボックスが開きます。

電話帳にメンバを登録する

このダイヤログで、メンバやグループの追加、編集、削除が可能です。

1. このダイヤログボックスの アイコンをクリックします。
   下記のウィンドウが開きます。

Brother Address Book メンバー設定
名前(N):　敬称(T):
会社名(O):
部署(D):　役職(J):
国/地域(R):　郵便番号(Z):
都道府県(V):　市町村(C):
番地(S):
勤務先電話番号(B):　自宅電話番号(H):
携帯電話(P):
ファクス(F):
E-Mail(E):
MFC E-Mail アドレス(M)
決定　キャンセル

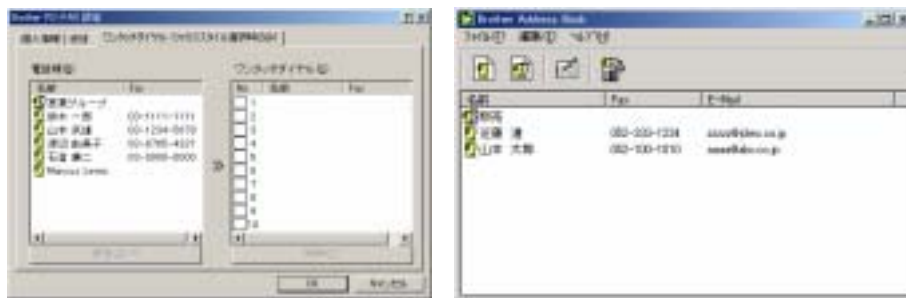
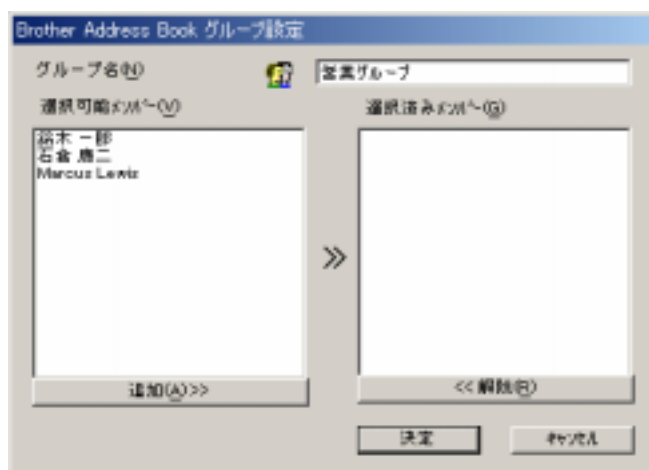
重要な情報
右のウインドウ内で通信時の既定値に設定したい通信手段に必ずチェックを入れてください。メンバ単位で設定可能です。

2. 上記フォームの各テキストボックスに追加するメンバの情報を入力します。

名前は必須項目です。個人や MFC 本体の E メールアドレスも該当欄に入力可能です（重要な情報参照）。OK ボタンをクリックすると登録が完了します。

メンバのグループを作成する

複数のメンバに何度もファクスを送信する必要がある場合などは、メンバのグループを作成しておくと便利です。

1. 電話帳のウインドウで、[新規グループ]ボタンをクリックしてください。

2. グループ作成ウインドウが開きます。

3. グループ名の欄に作成したいグループの名前を入力してください。
4. 左のウインドウにリストされているメンバの中からグループに加えたいメンバを選択して、追加ボタンをクリックしてください。
5. メンバが右のウインドウに表示されます。これでメンバがグループに加えられました。
6. 4、5 を繰り返して必要なメンバを登録し終わったら OK を押してグループ作成完了です。

メンバ情報の編集（メンバ、グループの編集）

1. 編集したいメンバまたはグループを選択してください。
2. （編集）アイコンをクリックします。
3. メンバ、またはグループのウインドウが開きますので編集を開始してください。
4. **OK** ボタンをクリックし、登録してください。

メンバやグループの削除

1. 削除したいメンバやグループを選択してください。
2. （削除）アイコンをクリックします。
3. ダイヤログボックスが表示されますので、消去してよければ OK を押してください。

アドレス帳電話帳のエクスポート

テキスト形式 (*.csv)でアドレス帳の内容をエクスポート出来ます。

(1) CSV（テキスト形式テーブルファイル）ファイルを出力
電話帳を開き、「ファイル」→「エクスポート」→「Text」を選択してください
1. エクスポートしたいフィールド名を表示させたい順に左ウインドウから選択し、追加を押してください。
2. 区切り文字として、タブかコンマかのいずれかを選択します。
3. OK ボタンを押します。
4. ファイル名を入力し、SAVE（保存）ボタンを押してください。

(2) vCard で出力する場合
1. アドレス帳を開き、予め出力したいメンバを選択してハイライトしておきます。
2. 「ファイル」→「エクスポート」→「vCard」を選択してください。
3. ファイル名を入力し、SAVE（保存）ボタンを押してください。

ワンタッチダイヤルの設定

ワンタッチダイヤルタブから PC-FAX のワンタッチダイヤルへの登録ができます。

ワンタッチダイヤルへの登録方法

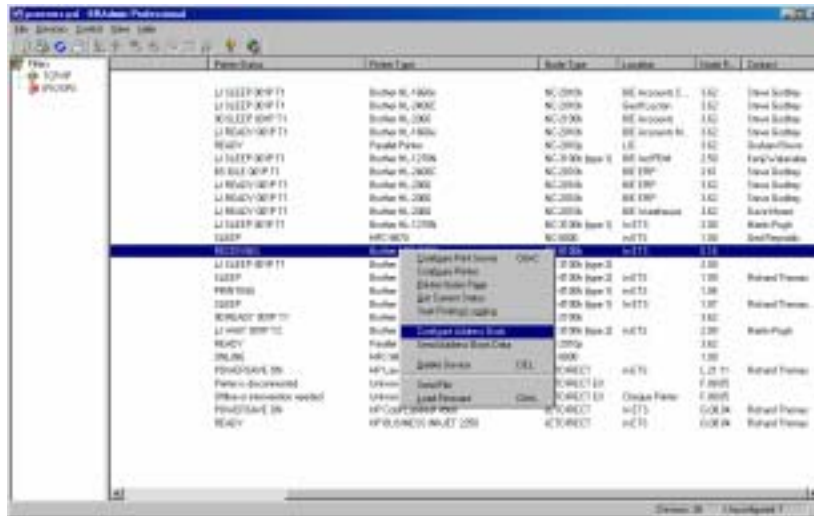
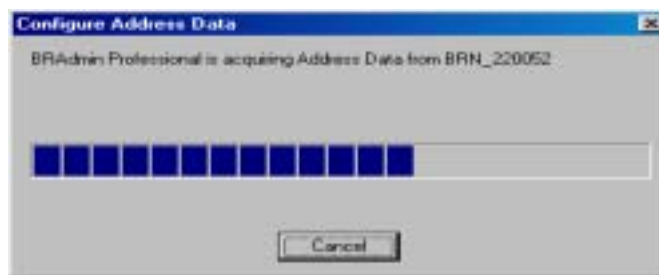
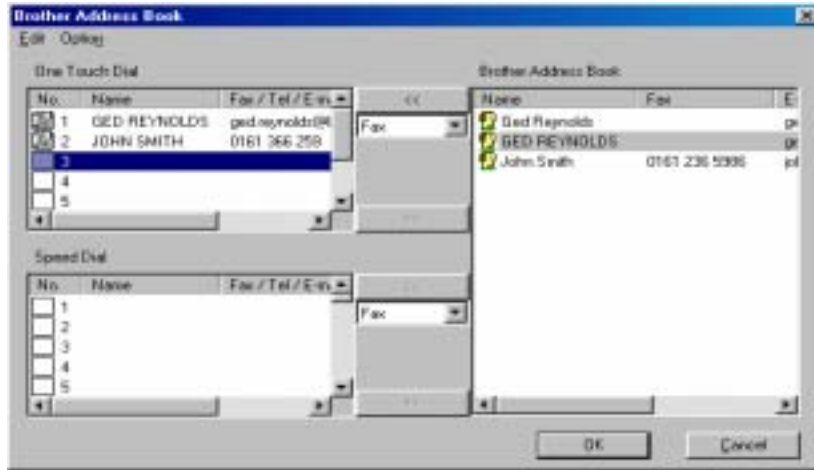
1. 右画面からメンバを割り当てたい番号を選択してください。
2. 左画面で割り当てるメンバ（グループ）を選択してください。
3. ADD ボタンを押して割り当て完了です。

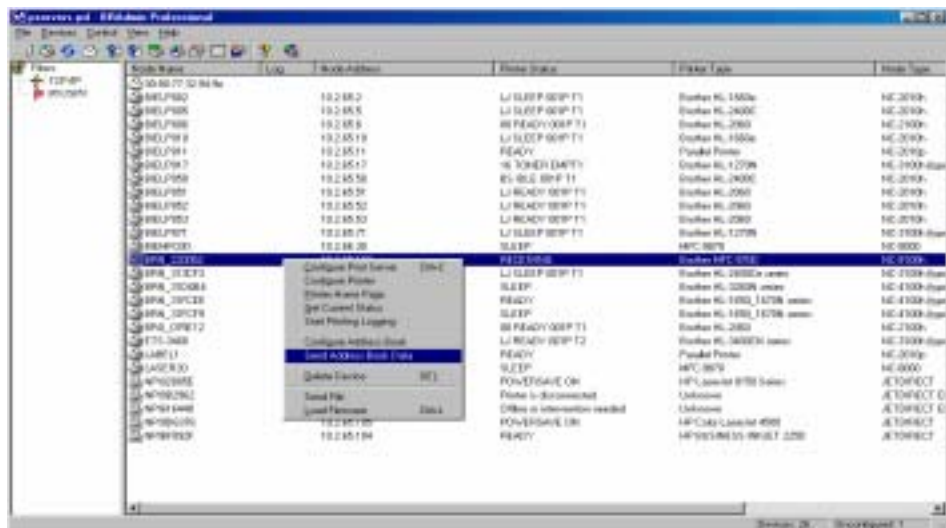
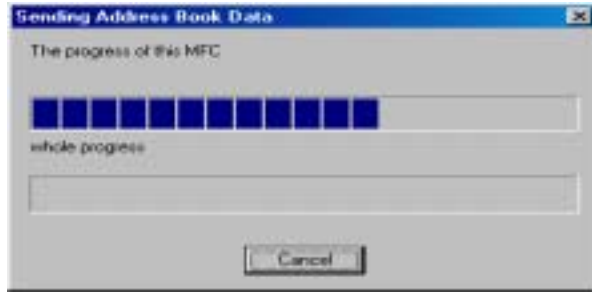
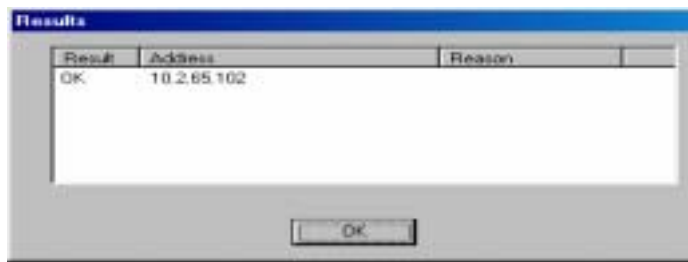
ワンタッチダイヤルの消去

1. 消去したいワンタッチダイヤルの番号を右画面から選択してください。
2. 削除ボタンを押下すると、消去できます。

ネットワーク経由で 他のMFCのアドレス帳を更新する

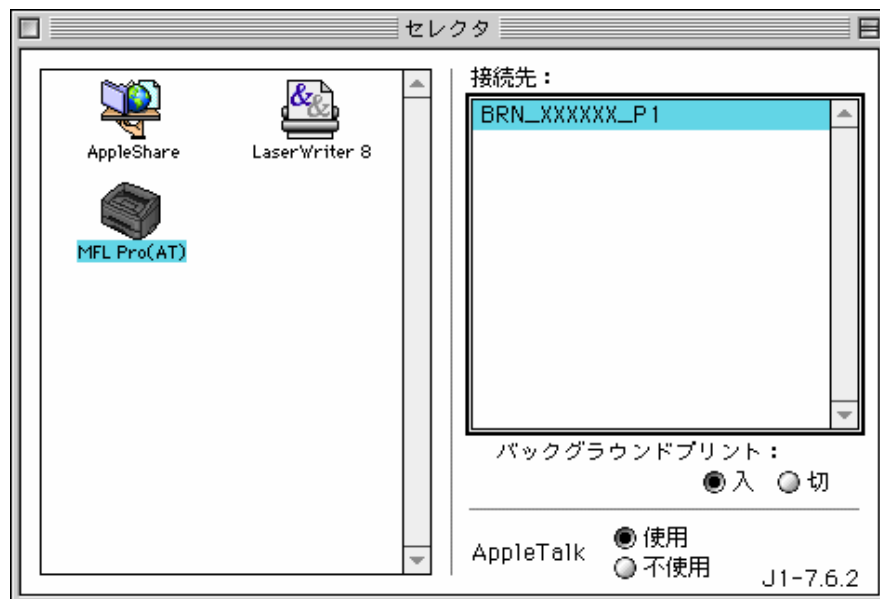
ネットワーク上の MFC の設定やアドレス帳の同期を取ることが出来ます。

ネットワーク PC-FAX が BRAdmin をインストールしてある PC にインストールされていると、BRAdmin でこの機能が使用可能になります。ネットワーク上のＭＦＣを BRAdmin のメイン画面上で選択し、右クリックします。ポップアップメニュー内には「ダイヤルリストのインポート」というメニューが追加されており、このメニューを使用することでアドレス帳の設定が可能です。

このメニューをクリックすると、BRAdmin は選択された機器から（アドレス帳が登録されていれば）ファクス番号等をダウンロードし、PC-FAX のアドレス帳画面内でデータの受け渡しが可能になります。

下記の左画面は MFC 側の短縮ダイヤルとワンタッチダイヤルの読み込まれたデータで、右画面は PC-FAX のアドレス帳です。画面内のメンバを[<<]または[>>]ボタンを使用して自由に割り当てが可能です。変更を終了するには OK ボタンを押してください。

このように作成したデータはローカル PC の BRAdmin のインストールフォルダに一時ファイルとして保管されており、下記の手順でネットワーク上の他の MFC にアップロードすることが出来ます。

アップロード方法
BRAdmin のメイン画面でアドレス帳をアップデートしたい MFC を選択し（SHIFT キーを押しながら操作することで複数選択も可能）、その状態で右クリックし、ポップアップメニュから「ダイヤルリストの送信」を選択すると一時ファイルとして保存されていたデータを MFC に転送します（パスワードの入力が必要です）。

転送の進捗は次のウインドウで確認できます。

下記のウインドウが表示されると選択された MFC のアドレス帳の更新は終了しました。

Macintosh® のアプリケーションから Faxを送信する

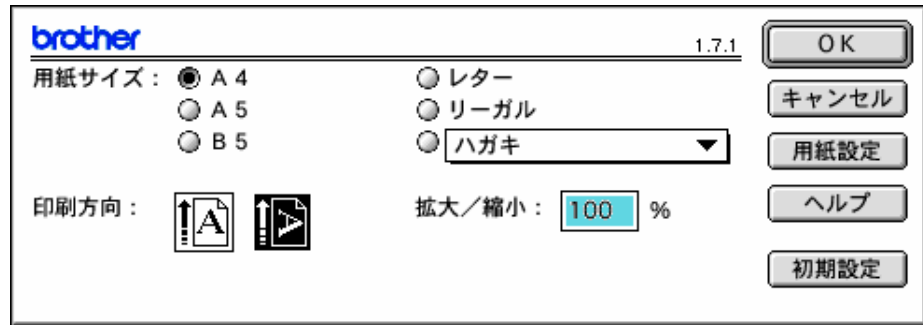
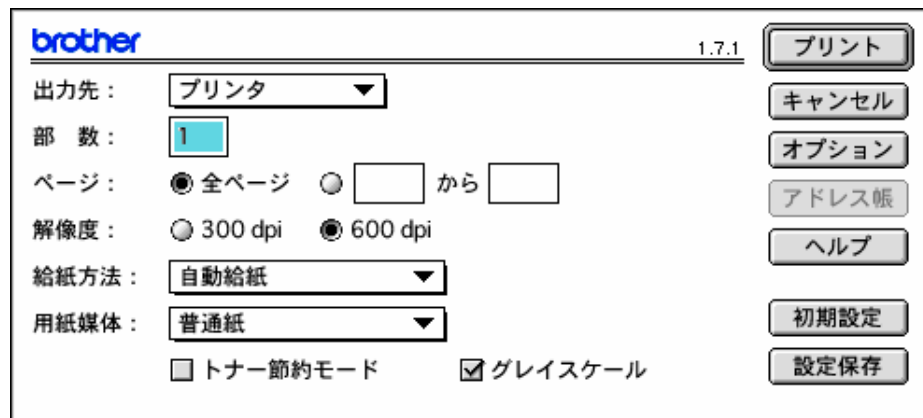
デバイスの選択方法

ネットワークプリンタドライバのインストール後、下記の手順に従い PC FAX のドライバの選択をしてください。

1.　アップルメニューから「セレクタ」を選択してください。

2. MFL Pro(AT)のアイコンを選択します。右のウインドウから接続先を選択してください。

   AppleTalk®で接続するためには、接続先リストボックスにプリンタのAppleTalk®サービス名が表示されている必要があります。 出荷時の設定は、BRN_XXXXXX_P1 です。XXXXXX はプリンタのネットワークカードの MAC アドレス（Ethernet アドレス）の下 6 桁です。（設定内容リストをプリントアウトすることで、MAC アドレスを調べることができます。詳しくは、ネットワークのクイックセットアップガイドをご覧ください。）

Macintosh® のアプリケーションから直接 FAX を送信する

3. アプリケーションで文書などの作成後、そのアプリケーションの「ファイル」メニューから「ページ設定」を選択してください。紙のサイズ、印刷の向き、拡大縮小の設定が出来ます。設定完了後 OK ボタンを押してください。

4. アプリケーションの「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。

5. 4.でプリンタが選ばれていた場合は ファクシミリを選択してください。

この選択で、**Fax 送信**ボタンと **アドレス帳** ボタンが使用可能になります。

6. Fax 送信ボタンをクリックしてください。下記のようなウインドウが表示されます。

このウインドウには 2 つのリストウインドウがあり、左のウインドウには既に登録されているメンバのリスト、右のウインドウには送信先のメンバが表示されます。

7. 送信先の設定方法は、左上の「ファクス番号入力」ボックスに直接番号を入力するか、既に登録されているメンバやグループを選択し、[>>]ボタンで右の送信先リストボックスに登録します。

   注意：シフトキーと CTRL キーを使用することで複数の登録メンバを一括で処理できます。

8. 下の「新規作成」ボタンでメンバの新規作成、「新規グループ」ボタンでグループを新規作成できます（作成方法は「アドレス帳の設定」をお読みください）。

9. 送信先を設定完了後、「Fax 送信」ボタンでファクス送信します。

注意: ページボックスを使用すると、特定のページだけを範囲指定できます。

アドレス帳の設定

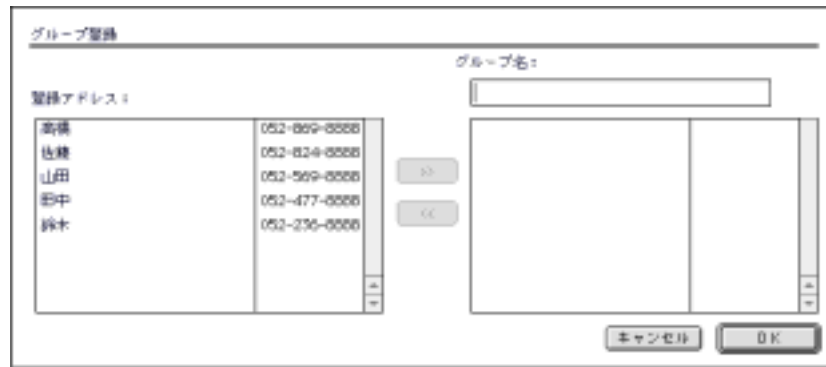
新しいメンバを登録する

1. 新しいメンバをアドレス帳に登録する場合、ファクス送信時の送付先設定ウインドウの「アドレス帳」ボタンを押してください。下記のウインドウが開きます。

2. 「新規作成」ボタンを押してください。下記のウインドウが表示されます。

3. 必要な項目を入力してください。
4. OK ボタンで登録できます。

新しいグループの作成

1. 新しいグループ（既に登録されている複数のメンバにより構成されます）をアドレス帳に登録する場合、ファクス送信時の送付先設定ウインドウの「新規グループ」ボタンを押してください。下記のウインドウが開きます。

2. 「グループ名」ボックスに任意のグループ名を入力してください。
3. 既に登録されているメンバが左のウインドウにリストされていますので、グループに割り当てたいメンバを選択して[>>]を押してください。
   グループに入ったメンバは右のウインドウに表示されます。
4. OK ボタンを押すと、グループ作成完了です。

付録

付録

付録 A

一般情報

FAX/プリント サーバーの設定を変更するには、次のいずれかの方法を使用します。

- ブラザーユーティリティ（Windows 95 以降）
- HTTP（ウェブ ブラウザを使用）
- TELNET（コマンド ユーティリティ）
- ブラザーBRCONFIG NetWare ユーティリティ（コマンド ユーティリティ）
- DEC NCP または NCL ユーティリティ

BRAdmin Professional**（推奨）**
ブラザーBRAdmin Professional では、TCP/IP または IPX/SPX プロトコルを使用することができます。 このユーティリティを使用すると、ネットワークとプリンタの設定をグラフィカルに管理できます。 また、FAX/プリント サーバーのファームウェアのアップグレードにも使用できます。

HTTP**（推奨）**
使い慣れたウェブ ブラウザを使用して、ブラザー FAX/プリント サーバーに接続し、FAX/プリント サーバーのパラメータの設定を行うことができます。
JetAdmin または WebJetAdmin
ブラザーFAX/ プリント サーバーは HP の JetAdmin および WebJetAdmin と互換性があります。

TELNET
TELNETを使用して、UNIX、Windows NT、およびほとんどのTCP/IPシステムからFAX/プリント サーバーに接続できます。 システムのコマンド プロンプトで、TELNET ipaddressと入力します。 このipaddressはFAX/プリント サーバーのIPアドレスです。 FAX/プリント サーバーに接続したら、<RETURN>または<ENTER>キーを押します。 # プロンプトでパスワードを入力し（デフォルトのパスワードはaccessです）、Enter Username> プロンプトで任意の名前を入力します。 Local> プロンプトが表示されたら、コマンドを入力することができます。
コマンド プロンプトでHELPを入力すると、サポートされているコマンドのリストが表示されます。 サポートされているコマンドの完全なリストと各コマンドの説明が、commands.pdfファイルに用意されています。

BRCONFIG
ブラザーBRCONFIGユーティリティは、BRAdmin Professionalと共にインストールされる、DOS用ユーティリティです。 ブラザーBRCONFIG NetWareユーティリティを使用してFAX/プリント サーバーに接続するには、ブラザーBRAdmin ProfessionalからBRCONFIGユーティリティを選択するか、ブラザーBRAdmin Professionalユーティリティ ディスケットをドライブAに挿入し、DOSのシステム プロンプトでA:BRCONFIGと入力します。FAX/プリント サーバーが1つしかない場合は、直ちにそのサーバーに接続します。 複数のFAX/プリント サーバーが存在する場合は、使用可能なFAX/プリント サーバーのリストが表示されます。 接続するFAX/プリント サーバーの番号を入力します。 FAX/プリント サーバーに接続したら、# プロンプトでパスワードを入力し（デフォルトのパスワードはaccessです）、Enter Username> プロンプトで任意の名前を入力します。 Local> プロンプトが表示されたら、コマンドを入力することができます。 BRCONFIGを使用するには、IPXプロトコルを実行しているNovell Serverと、そのサーバーへのアクティブな接続が必要です。
コマンド プロンプトでHELPコマンドを入力すると、サポートされているコマンドのリストが表示されます。 サポートされているコマンドの完全なリストと各コマンドの説明が、commands.pdfファイルに用意されています。

コマンド リストおよびファームウェアのアップグレードは、製品CDに付属のCD-ROMに格納されているcommands.pdfをご参照ください。

付録 B
サービスの使用

概要

ブラザー FAX/プリントサーバーへの印刷を行うコンピュータからアクセスすることのできるリソースをサービスと呼びます。 ブラザー FAX/プリントサーバーには、次の定義済みサービスが用意されています。 ブラザー FAX/プリントサーバーのリモート コンソールで SHOW SERVICE コマンドを実行すると、使用可能なサービスのリストが表示されます。

サービス	説明
BINARY_P1	TCP/IP バイナリおよび LAT サービス
TEXT_P1	TCP/IP テキスト サービス（LF の後に CR を追加）
POSTSCRIPT_P1	PostScript サービス（PJL 互換プリンタなら PostScript モードへ切り換えて印刷する）
PCL_P1	PCL サービス（PJL 互換プリンタなら PCL モードへ切り換えて印刷する）
BRN_xxxxxx_P1_AT	Mac OS 8.6 以降の AppleTalk および LPD サービス
BRN_xxxxxx_P1	NetWare サービスと NetBIOS サービス（下位互換のため TCP/IP と LAT が使用可能）

xxxxxx は Ethernet アドレスの最後の 6 桁です（BRN_310107_P1 など）。
サービスとその定義方法の詳細は、製品 CD に付属の CD-ROM に格納されている commands.pdf をご参照ください。

付録 C

FAX/プリントサーバーのファームウェアのアップグレード

概要

FAX/プリント サーバーのファームウェアは、フラッシュ メモリに格納されています。 そのため、適合するアップデート ファイルをダウンロードして、ファームウェアのアップグレードを行うことができます。 最新のファームウェア アップデートを入手するには、ブラザーの WWW サーバーhttp://solutions.brother.co.jp をご利用ください。

ファームウエアをアップデートする前に

用意されているソフトウェア バージョンによっては、FAX/プリントサーバーの設定が自動的に工場設定にリセットされることがあります。 そのため、ファームウェアのアップグレードを実行する前に設定ページを印刷し、FAX/プリントサーバーの現在の設定を必ず記録に残しておいてください。 設定ページを印刷する方法は、『クイックネットワークセットアップガイド』 をご参照ください。
ファームウエアのアップデート作業を行う場合は、POP サーバーへのオートポーリングを OFF にしてください。POP サーバーへのオートポーリング設定は、ウェブブラウザマネジメントユーティリティ、または本体フロントパネルより行うことが出来ます。
また、アップデート作業中にネットワーク印字は行わないでください。
ファームウエアアップデート終了後、本体は自動的に再起動します。電源は絶対に切らないでください。万が一終了後 5 分以上経過しても再起動しない場合は、電源を一度抜き、5 秒間放置した後に電源を入れなおし、手動で再起動させてください。

ブラザー FAX/プリントサーバーのファームウェアをアップグレードする
方法は、次の 3 種類があります。

1. BRAdmin Professional を使用する（推奨）。
2. FTP プロトコルを使用する（Macintosh または Unix ネットワークの場合に推奨）。
3. 他のシステムを使用する（Novell または Unix システムで、新しいファームウェア ファイルを FAX/プリントサーバーに送るなど）。

ファームウェアの再ロードにBRAdmin Professionalを使用する

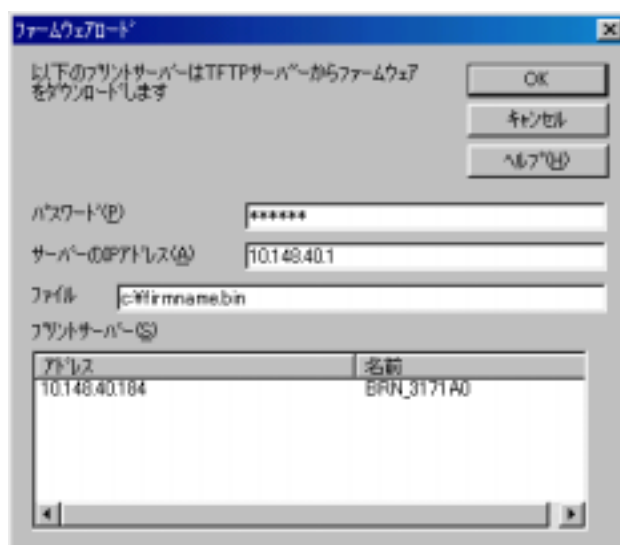
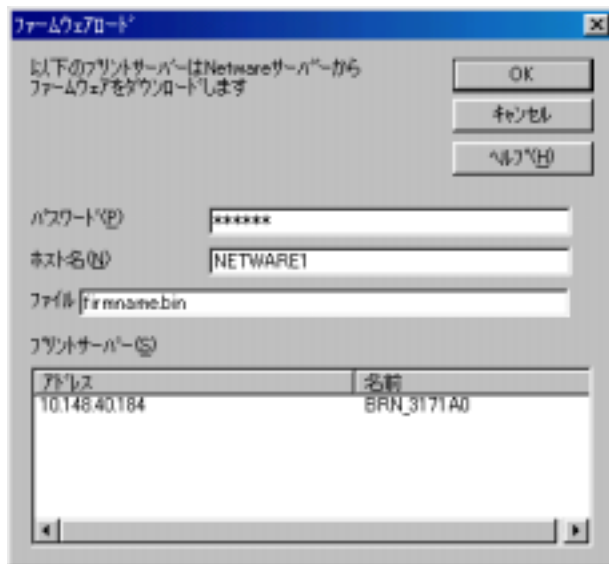
BRAdmin Professional を使用すると、ブラザー FAX/プリントサーバーの再プログラムを簡単に実行できます。

1. BRAdmin Professional を起動します。
2. 目的の FAX/プリントサーバーを反転表示にします。 [コントロール] メニューの [ファームウェアのロード] を選択します。 複数の FAX/プリントサーバーを選択するには、<CTRL>キーまたは<SHIFT>キーを押したまま、必要な FAX/プリントサーバーを選択します。

新しいソフトウェア バージョンを FAX/プリントサーバーに送る方法は 3 種類あります。 どの方法を選択した場合でも、FAX/プリントサーバーのパスワードを入力する必要があります。 FAX/プリントサーバーのデフォルト パスワードは access です。

3. TFTP PUT (ホストから)

コンピュータに TCP/IP がすでにインストールされている場合は、この方法を使用してください。
BRAdmin Professional は TFTP プロトコルで新しいファームウェアデータを FAX/プリントサーバーに送ります。

4. TFTP GET（サーバーから）
   ネットワークにTFTPサーバーがインストールされている場合は（Unixシステムの多くはTFTPをサポートしています）、この方法を使用することができます。 新しいファームウェア ファイルは、TFTPサーバーの/tftpboot/firmname.blfディレクトリに格納されている必要があります。 FAX/プリントサーバーは、コンピュータからの指示により指定されたTFTPサーバーからファームウェア データを読み出します。 ファイル名を正しく指定しないとアップグレードは失敗します。 また、ファームウェア ファイルが、FAX/プリントサーバーで読めるように設定されている必要があります。 Unixシステムでは、chmodコマンドを使用して、ファイルの属性を指定できます。 たとえば、コマンドchmod 666 filename を使用すると、だれでもこのfilenameファイルにアクセスできます。 また、UnixサーバーでTFTPサービスが実行されている必要があります。

5. Netware GET（サーバーから）
   ネットワークにIPX/SPXを実行するNetwareサーバーが存在し、新しいファームウェア ファイルがサーバーのSYS/Loginディレクトリに格納されている必要があります。 この方法では、コンピュータの指示により、FAX/プリントサーバーが指定されたNetwareサーバーからファームウェア データを読み出します。 FAX/プリントサーバーはNetwareサーバーに接続して、ファームウェアを直接読み取ります。

ファームウエアアップデート終了後、本体は自動的に再起動します。電源は絶対に切らないでください。万が一終了後5分以上経過しても再起動しない場合は、電源を一度抜き、5秒間放置した後に電源を入れなおし、手動で再起動させてください。

FTPプロトコルを使用してコマンドプロンプトから再ロードを実行する

ログオン時に FAX/プリントサーバー パスワードをユーザー名として指定すると、FAX/プリントサーバーまたはプリンタ（この機能がサポートされている場合）のファームウェアをアップグレードできるようになります。 次の例では、cambridge が FAX/プリントサーバーのパスワードです。
メッセージ「226 Data Transfer OK/Entering FirmWareUpdate mode.」が表示されたら、間違いなくファームウェア ファイルが FAX/プリントサーバーに転送されています。 このメッセージが表示されない場合は、プリンタに送られているファイルは無視されるか、プリンタから無意味な印刷出力が行われます。

FTP クライアントをバイナリ通信モードに切り換えるには、bin コマンドを使用しなければなりません。 bin コマンドを指定しないと、アップグレードが正しく行われません。

下記は新しいファームウエアのファイル名は[brnt261.blf200]で、D:\ドライブルートに保存されている場合の操作例です。また、この機器の IP アドレスは 220.0.250.200 と仮定しています。

```
D:\>ftp
ftp> open 220.0.250.200
Connected to 220.0.250.200
220 FTP print service:V-1.05/Use the network password for the ID if updating.
User (220.0.250.200:(none)): cambridge
230 User cambridge logged in.
ftp> bin
200 Ready command OK.
ftp> hash
Hash mark printing on ftp: (2048 bytes/hash mark) .
ftp> send brnt261.blf200
Ready command OK.
150 Transfer Start
#####################################################
#####################################################
#####################################################
#####################################################
226 Data Transfer OK/Entering FirmWareUpdate mode.
ftp: 1498053 bytes sent in 8.52Seconds 175.77Kbytes/sec.
```

ファームウエアアップデート終了後、本体は自動的に再起動します。電源は絶対に切らないでください。万が一終了後 5 分以上経過しても再起動しない場合は、電源を一度抜き、5 秒間放置した後に電源を入れなおし、手動で再起動させてください。

機能表とデフォルト設定

レベル 1	レベル 2	オプション	工場出荷時設定
1.TCP/IP ｾｯﾃｲ	1.IP ｼｭﾄｸ ﾎｳﾎｳ	AUTO/STATIC/RARP/BOOTP/DHCP	AUTO
	2.IP ｱﾄﾞﾚｽ	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	192.000.000.192
	3.ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	000.000.000.000
	4.ｹﾞｰﾄｳｴｲ	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	000.000.000.000
	5.ﾎｽﾄ ﾒｲ	(最大 15 文字)	BRN_XXXXXX
		BRN_XXXXXX=(ｲｰｻﾈｯﾄｱﾄﾞﾚｽの最後 6 文字以内)	
	6.WINS ｾｯﾃｲ	AUTO/STATIC/ｵﾌ	AUTO
	7.WINS ｻｰﾊﾞｰ	ﾌﾟﾗｲﾏﾘ/ｾｶﾝﾀﾞﾘ	
		000.000.000.000/000.000.000.000	000.000.000.000
	8.DNS ｻｰﾊﾞｰ	ﾌﾟﾗｲﾏﾘ/ｾｶﾝﾀﾞﾘ	
		000.000.000.000/000.000.000.000	000.000.000.000
2.ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ ｾｯﾃｲ	1.ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ	(最大 60 文字)	
	2.SMTP ｻｰﾊﾞｰ	IP ｱﾄﾞﾚｽ / ｻｰﾊﾞｰﾒｲ	
		[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	000.000.000.000
		/ ｻｰﾊﾞｰﾒｲ (最大 30 文字)	
	3.POP3 ｻｰﾊﾞｰ	IP ｱﾄﾞﾚｽ / ｻｰﾊﾞｰﾒｲ	
		[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	000.000.000.000
		/ ｻｰﾊﾞｰﾒｲ (最大 30 文字)	
	4.ﾒｰﾙ ﾎﾞｯｸｽ ﾒｲ	(最大 20 文字)	
	5.ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:******	
		ｶｸﾆﾝ:******	
		(最大 20 文字)	
3.ﾒｰﾙ ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ	1.ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ	ON/OFF	ON
	2.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｶﾝｶｸ	01 - 60 分	10 ﾌﾝ
	3.ﾍｯﾀﾞ ｲﾝｻﾂ	ｽﾍﾞﾃ / ﾍｯﾀﾞ ﾉﾐ / ﾅｼ	ﾅｼ
	4.ｴﾗｰ ﾒｰﾙ ｻｸｼﾞｮ	ｵﾝ/ｵﾌ	ON
	5.ｼﾞｭｼﾝ ｶｸﾆﾝ	ｵﾝ/MDN/ｵﾌ	OFF
4.ﾒｰﾙ ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ	1.ﾒｰﾙ ﾀｲﾄﾙ	(最大 40 文字/半角英数文字のみ有効)	Internet FAX Job
	2.ｻｲｽﾞ ｾｲｹﾞﾝ	ON/OFF	OFF
	3.ｼﾞｭｼﾝｶｸﾆﾝﾖｳｷｭｳ	ON/OFF	OFF
5.ﾘﾚｰ ｾｯﾃｲ	1 ﾘﾚｰ ｷｮｶ	ON/OFF	OFF
	2.ｷｮｶ ﾄﾞﾒｲﾝ	ﾘﾚｰ XX:	01
		XX=01-10	
		ﾘﾚｰ 01*YYYYY	
		YYYYY=(最大 30 文字)	
	3.ﾘﾚｰ ﾚﾎﾟｰﾄ	ON/OFF	OFF
6.ｿﾉﾀ ｾｯﾃｲ	1.NETWARE	ON/OFF *1	ON
	2.NET FRAME *1	AUTO/8023/ENET/8022/SNAP	AUTO
	3.APPLETALK	ON/OFF	ON
	4.DLC/LLC	ON/OFF	ON
	5.NET BIOS/IP	ON/OFF	ON
	6.ｲｰｻﾈｯﾄ	AUTO/100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD	AUTO
	7.ﾀｲﾑ ｿﾞｰﾝ	GMTXXX:XX	GMT+9:00
		XXX:XX=-12:00/-11:30.....+11:30/+12:00	
7.ﾈｯﾄﾜｰｸｽｷｬﾝ		ﾌｧｲﾙﾀｲﾌﾟ	
		PDF/JPEG	PDF

*1: ［NETWARE］が“ON”の時、［NET FRAME］の設定が有効になります。

索引

あ

い

う

て

ね

ひ

ふ

わ